

苫前町地域公共交通計画

アンケート調査結果報告書

令和 8 年 2 月

苫前町

目次

1. 調査概要	1
1-1. 目的.....	1
1-2. アンケートの概要.....	1
1-3. 調査の実施方法.....	2
1-4. 調査のスケジュール.....	2
1-5. 配付・回収結果.....	2
1-6. アンケート結果概要.....	3
2. アンケート集計分析結果	5
2-1. 個人属性等（問1）.....	5
（1）居住地域(Q1).....	5
（2）中学生以下の子どもの有無・人数(Q2).....	5
（3）年齢(Q3).....	6
（4）性別(Q4).....	6
（5）職業(Q5).....	7
（6）運転免許証と車の保有状況(Q6).....	7
（7）車を運転する方への質問(Q7).....	10
（8）通信環境等(Q8).....	16
2-2. 交通実態（問2）.....	18
（1）公共交通等の利用状況等(Q9).....	18
（2）一週間の外出状況(Q10).....	19
2-3. 今後の公共交通への要望（問3）.....	32
（1）自家用車に頼らない生活を送る場合の公共交通サービス水準(Q11).....	32
（2）望まれる公共交通の内容(Q12-1).....	35
（3）望まれる公共交通の利用時期(Q12-2).....	45
（4）望まれる公共交通の利用頻度(Q12-3).....	47
（5）中学生以下の子どもの利用(Q12-4).....	49
（6）町民自らが支える公共交通.....	51
（7）その他の公共交通についての意見.....	53
3. アンケート調査票	55

1. 調査概要

1-1. 目的

公共交通アンケート調査の目的は、公共交通を含めた生活交通の実態及び公共交通の利用者ニーズを把握することにより、地域公共交通計画立案の基礎データを収集することを目的とします。

1-2. アンケートの概要

アンケート調査は、苫前町の住民を対象とした調査を行いました。

アンケート調査票の概要は下表のとおりですが、調査票は巻末をご覧ください。

図表 1-1 アンケート調査の概要

調査の種類	各アンケート調査の概要
住民アンケート調査	<p>【個人属性】</p> <ul style="list-style-type: none">・居住地域、子どもの人数、年齢、性別、職業・運転免許証と車の保有、運転への不安、便利な公共交通の利用・通信環境と使用状況 <p>【交通実態】</p> <ul style="list-style-type: none">・長い期間の公共交通等使用頻度・一週間の外出状況(目的、外出先、行き帰りの交通手段、アクセス施設) <p>【今後の公共交通への要望】</p> <ul style="list-style-type: none">・自家用車に頼らない生活を送る場合の公共交通サービス水準・望まれる公共交通の内容(乗り降りする場所、車両の大きさと他の人との乗車、乗車方法、支払方法、サービスが実現した場合の利用時期、利用頻度)・子どもの利用要望、目的、頻度・町民自らが支える公共交通・その他自由意見

1-3. 調査の実施方法

調査の実施方法は、下表のとおりです。

図表 1-2 アンケート調査の実施方法

調査の種類	実施方法
住民アンケート調査	【配付】 広報 10 月号への折込にて配付 【回収】 普通郵便、あるいは Web 回答

1-4. 調査のスケジュール

調査のスケジュールは、下表のとおりです。

図表 1-3 アンケート調査のスケジュール

調査の種類	配付日	回収期日
住民アンケート調査	令和 7 年 8 月 26 日(火)	令和 7 年 10 月 10 日(金)

1-5. 配付・回収結果

アンケートの配付・回収結果は、下表のとおりです。

図表 1-4 アンケート調査の配付・回収結果

調査の種類	配布数	回収数
住民アンケート調査	1,252 件	197 件(回収率 15.7%) うち Web 回答数 50 件 個人回答数 309 人(1.57 人/件)

1-6. アンケート結果概要

住民アンケート調査結果の概要は、以下のとおりです。

質問項目	結果概要
問1 個人属性等	
Q1 居住地	・「苫前・旭」が4割弱と最も多く、次いで「古丹別」が3割強
Q2 中学生以下の子どもの有無・人数	・「子どもがいる」世帯は1割
Q3 年齢	・「65～74歳」が3割と最も多く、次いで「75～84歳」と「50～64歳」が2割で、65歳以上の割合は6割
Q4 性別	・「女性」が「男性」を上回る
Q5 職業	・「働いていない」が4割弱と最も多く、次いで「農業・林業・漁業」が2割弱
Q6 運転免許証と車の保有状況	・「免許証と車を持っている」が7割と最も多く、次いで「免許証は持っていない」が1割強
Q7 車を運転する方への質問	
Q7-1 運転への不安	・「冬や長距離運転が不安」が6割弱と最も多く、次いで「不安はない」が3割強
Q7-2 自宅前まで行く便利な公共交通の利用	・「今はまだ利用しない」が6割と最も多く、次いで「運転に不安を感じる時は利用する」が3割強
Q8 通信環境等	
①固定電話、携帯電話及びスマートフォンの保有状況	・「スマホなど」が7割強と最も多く、次いで「ガラケーなど」が1割強
②携帯電話やスマートフォンの使用状況	・「通話機能」の使用が9割強と最も多く、次いで「②メール」が6割弱、「③SNS」が5割強
問2 交通実態	
Q9 公共交通等の利用状況等	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての交通手段において「利用しない」が最も多く、このうち「へき地患者輸送バス」は3割弱が「知らない」 ・「利用する」は「特急はぼろ号」が4割と最も多く、次いで「幌延留萌線、羽幌留萌線、初山別留萌線」が3割弱、「にこにこタクシー」が2割強 ・「利用する」の内訳は「年に数回」がほとんど
Q10 一週間の外出状況	
Q10-1 ①外出目的	・「通勤」が5割弱と最も多く、次いで「買物」が2割、「その他の私用」が1割強
Q10-2 ②行き先	・「苫前・旭」が最も多く、次いで「羽幌町」、「古丹別」の順
Q10-3 ③交通手段	<ul style="list-style-type: none"> ・「自家用車(自分で運転)」が6割強と最も多く、次いで「徒歩・自転車」が1割強、「自家用車(家族などによる送迎)」が1割 ・公共交通等は「沿岸バス幌延留萌線・羽幌留萌線・初山別留萌線」が最も多く、次いで「沿岸バス特急はぼろ号」、「沿岸バス上平古丹別線」の順
Q10-4 ④主要な公共・公益施設等へのアクセス	・「セイコーマートむらい苫前店」が最も多く、次いで「苫前町役場」、「セイコーマート古丹別店」の順

質問項目	結果概要
問3 今後の公共交通への要望	
Q11 自家用車に頼らない生活を送る場合の公共交通サービス水準	・「自宅や施設間を予約運行」が 3 割弱と最も多く、次いで「路線バス程度」が 2 割強
Q12-1 望まれる公共交通の内容	
①乗り降りする場所	・「自宅や施設前」が 4 割弱と最も多く、次いで「密に配置した停留所」が 2 割弱
②車両の大きさと他人との乗車	・「小型バス乗合利用」が 4 割弱と最も多く、次いで「どれでも良い」が 3 割弱
③乗車(利用)方法	・「電話での予約」が 4 割と最も多く、次いで「予約なし」が 2 割強
④決済方法	・「①現金」のみ「可」が 5 割強
Q12-2 望まれる公共交通の利用時期	・「10 年以内」が 3 割強と最も多く、次いで「5 年以内」と「すぐにでも」が 2 割強
Q12-3 望まれる公共交通の利用頻度	・「月に数回」が 4 割強と最も多く、次いで「週に数回」が 16.2%
Q12-4 中学生以下の子どもの利用	
Q12-4-1 ①中学生以下の子どもの利用可否	・「利用させたいと思う」が 5 割
Q12-4-2 ②中学生以下の子どもの利用目的	・「部活」が 6 割
Q12-4-3 ③中学生以下の子どもの利用頻度	・「週に数日程度」が 5 割
町民自らが支える公共交通	・「難しい」が 7 割強と最も多く、次いで「賃金を貰えるのであれば参加」が 2 割弱 ・「賃金を貰えるのであれば参加」と「ボランティアとして参加」の回答者数は 44 人
その他の公共交通についての意見	
○沿岸バス(10 件)	・上平古丹別線と特急はぼろ号等の円滑な乗継(6 件)
○公共交通全般(9 件)	・苫前と古丹別の直接アクセス(3 件) ・交通空白の解消
○にこにこタクシー(7 件)	・運賃負担の軽減(2 件) ・制度に対する感謝(2 件) ・帰りの道立病院以外の乗車場所の増設 ・営業台数の増加
○買物のための公共交通(3 件)	○デマンドバス(2 件)
○無料送迎(2 件)	○住民ドライバー(2 件)
○移動手段の確保	○コミュニティバス
○早朝の交通手段	

2. アンケート集計分析結果

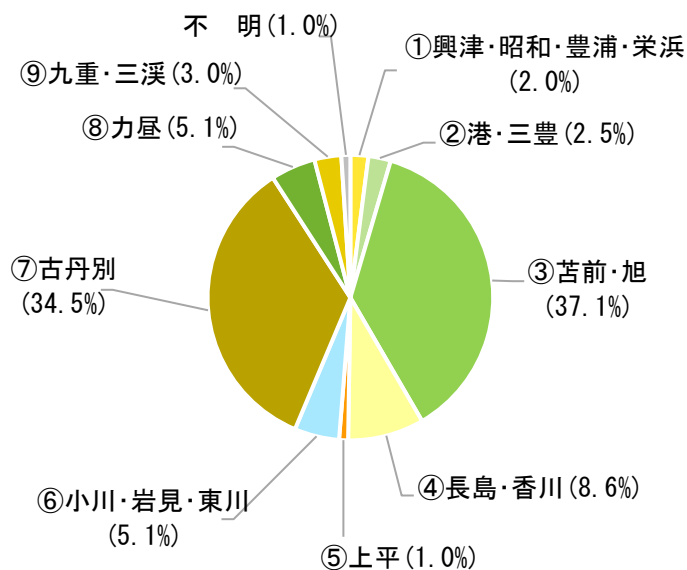
2-1. 個人属性等（問1）

(1) 居住地域（Q1）

回答世帯の居住地域は「③苫前・旭」が37.1%と最も多く、次いで「⑦古丹別」が34.5%、「④長島・香川」が8.6%の順となっています。

図表 2-1 居住地域

項目	件数
①興津・昭和・豊浦・栄浜	4
②港・三豊	5
③苫前・旭	73
④長島・香川	17
⑤上平	2
⑥小川・岩見・東川	10
⑦古丹別	68
⑧力昼	10
⑨九重・三溪	6
不明	2
合計	197



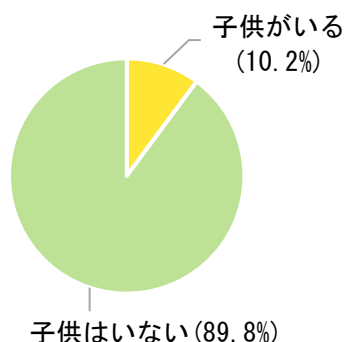
(2) 中学生以下の子どもの有無・人数（Q2）

中学生以下の子どもは回答世帯の10.2%が「子どもがいる」としています。

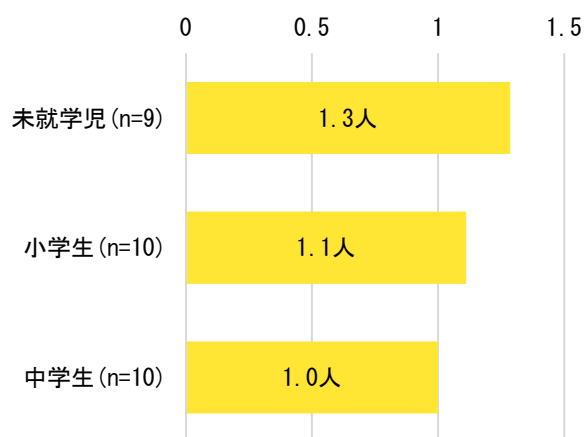
また子どもがいる世帯の子どもの人数は、未就学児が1.3人／世帯、小学生は1.1人／世帯及び中学生は1.0人／世帯となっています。

図表 2-2 中学生以下の子どもの有無

項目	件数
子供がいる	20
子供はいない	177
合計	197



図表 2-3 中学生以下の子どもの人数

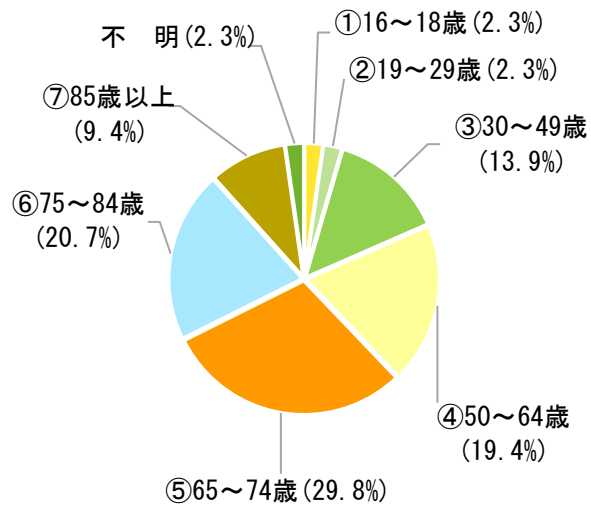


(3) 年齢 (Q3)

回答者の年齢は「⑤65～74歳」が29.8%と最も多く、次いで「⑥75～84歳」が20.7%、「50～64歳」が19.4%の順となっています。65歳以上の割合は59.9%となっています。

図表 2-4 年齢

項目	件数
①16～18歳	7
②19～29歳	7
③30～49歳	43
④50～64歳	60
⑤65～74歳	92
⑥75～84歳	64
⑦85歳以上	29
不明	7
合計	309

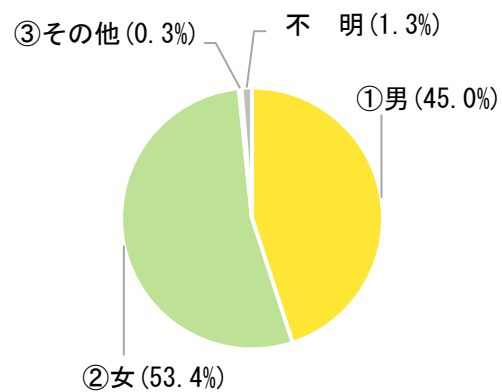


(4) 性別 (Q4)

回答者の性別は「②女性」が53.4%と、「①男性」の45.0%を上回っています。

図表 2-5 回答者の職業

項目	件数
①男	139
②女	165
③その他	1
不明	4
合計	309

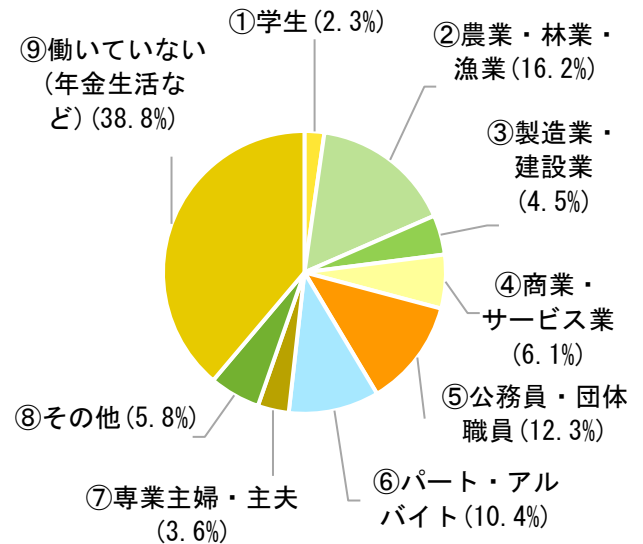


(5) 職業 (Q5)

回答者の職業は「⑨働いていない」が38.8%と最も多く、次いで「②農業・林業・漁業」が16.2%、「⑤公務員・団体職員」が12.3%の順となっています。

図表 2-6 職業

項目	件数
①学生	7
②農業・林業・漁業	50
③製造業・建設業	14
④商業・サービス業	19
⑤公務員・団体職員	38
⑥パート・アルバイト	32
⑦専業主婦・主夫	11
⑧その他	18
⑨働いていない(年金生活など)	120
合計	309

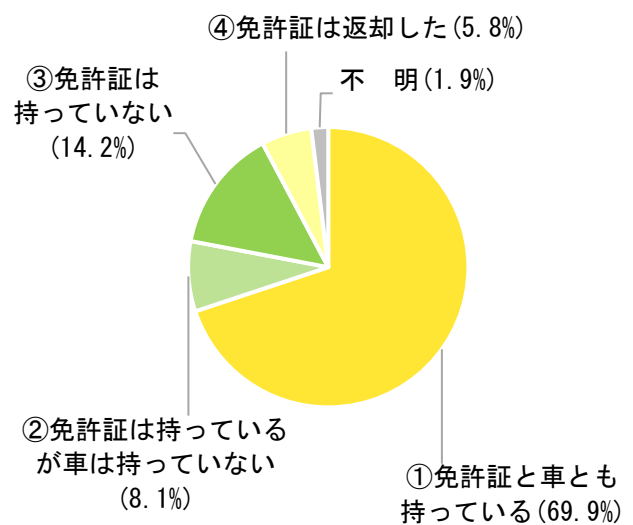


(6) 運転免許証と車の保有状況 (Q6)

回答者の運転免許証と車の保有状況は「①免許証と車を持っている」が69.9%と最も多く、次いで「③免許証は持っていない」が14.2%、「②免許証のみ持っている」が8.1%の順となっています。

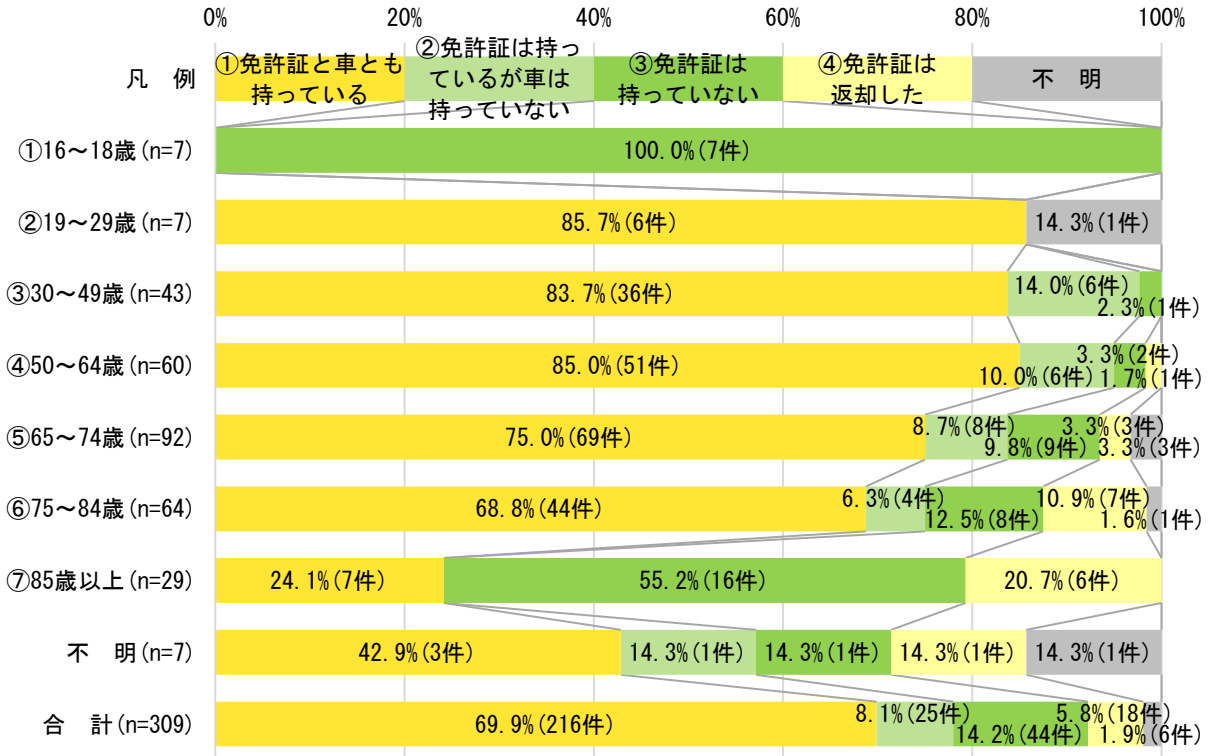
図表 2-7 運転免許証と車の保有状況

項目	件数
①免許証と車とも持っている	216
②免許証は持っているが車は持っていない	25
③免許証は持っていない	44
④免許証は返却した	18
不明	6
合計	309



【年齢別】

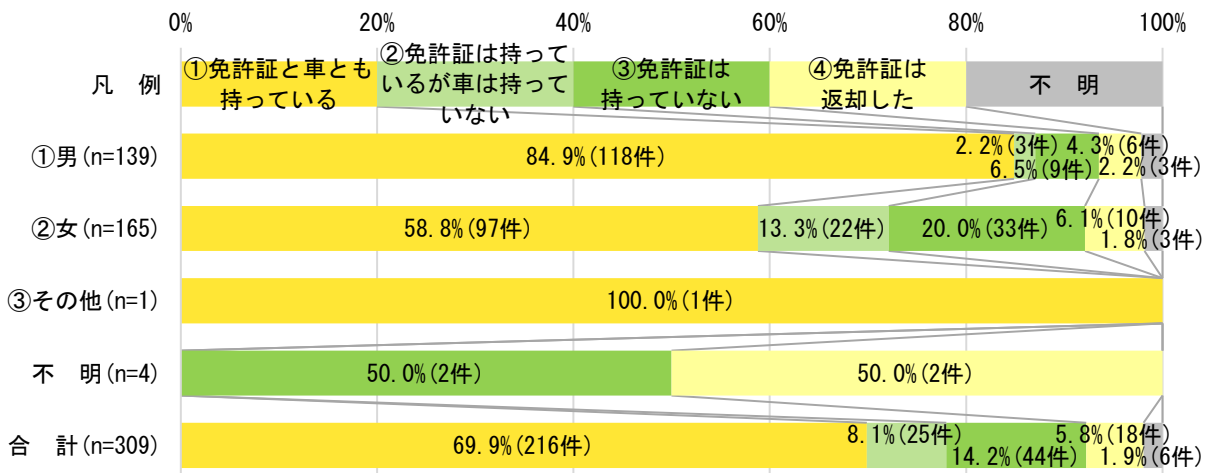
免許証及び車の保有状況を年齢別に見ると、「⑦85歳以上」は「③免許証は持っていない」と「④免許証は返納した」の合計は8割弱と他の年齢層よりも大きく増加しています。



図表 2-8 運転免許証と車の保有状況（年齢別）

【性別】

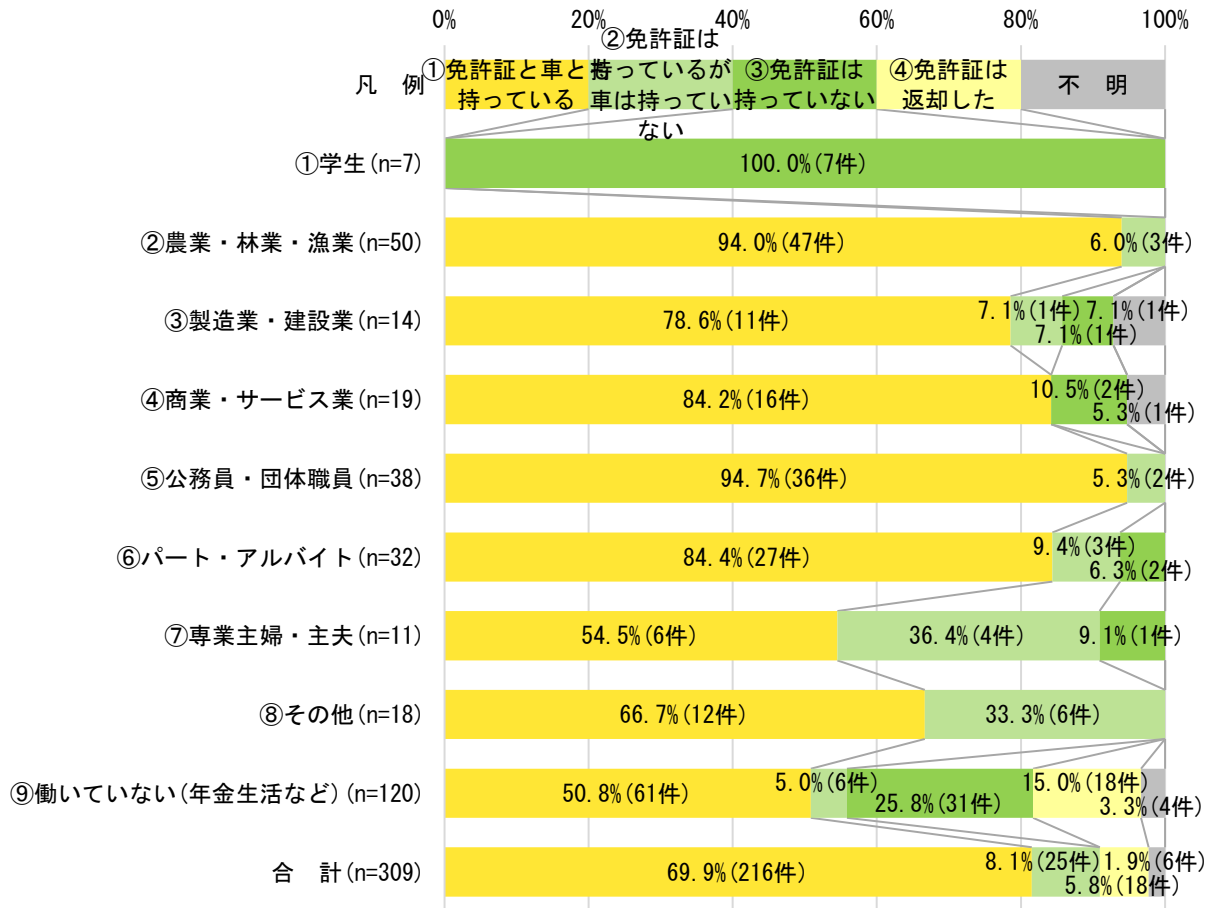
免許証及び車の保有状況を性別に見ると、「②女性」は「①男性」よりも「②免許証は持っているが車は持っていない」と「③免許証は持っていない」が多くなっています。



図表 2-9 運転免許証と車の保有状況（性別）

【職業別】

免許証及び車の保有状況を職業別に見ると、「⑦専業主婦・主夫」と「⑧その他」で「②免許証は持っているが車は持っていない」が多く、「⑨働いていない」で「③免許証は持っていない」が多くなっています。



図表 2-10 運転免許証と車の保有状況（職業別）

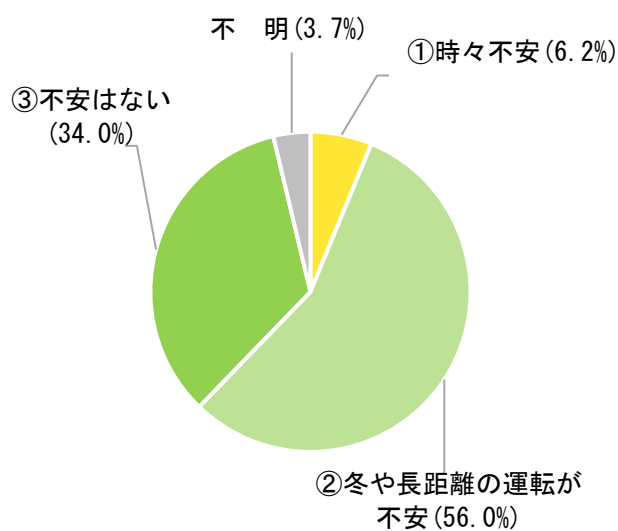
(7) 車を運転する方への質問 (Q7)

①運転への不安 (Q7-1)

車を運転する回答者の運転への不安は「②冬や長距離運転が不安」が56.0%と最も多く、次いで「③不安はない」が34.0%、「①時々不安」が6.2%の順となっています。

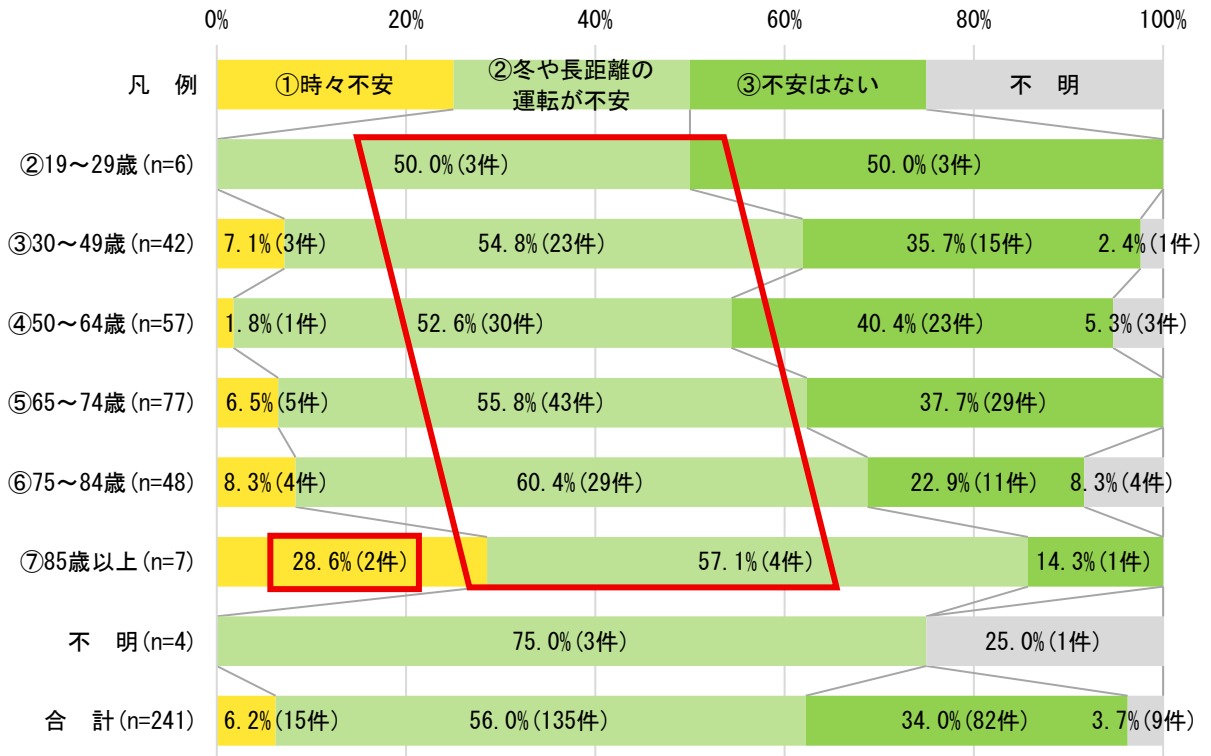
図表 2-11 運転への不安

項目	件数
①時々不安	15
②冬や長距離の運転が不安	135
③不安はない	82
不明	9
合計	241



【年齢別】

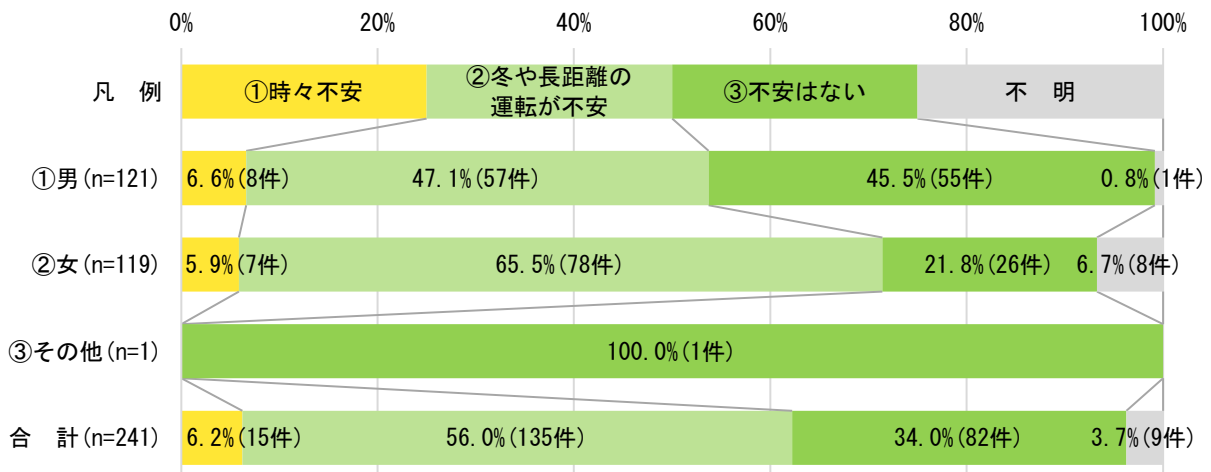
運転への不安を年齢別に見ると、全ての年齢で「②冬や長距離の運転が不安」が最も多くなっているほか、「⑦85歳以上」は「①時々不安」が他の年齢よりも多くなっています。



図表 2-12 運転への不安（年齢別）

【性別】

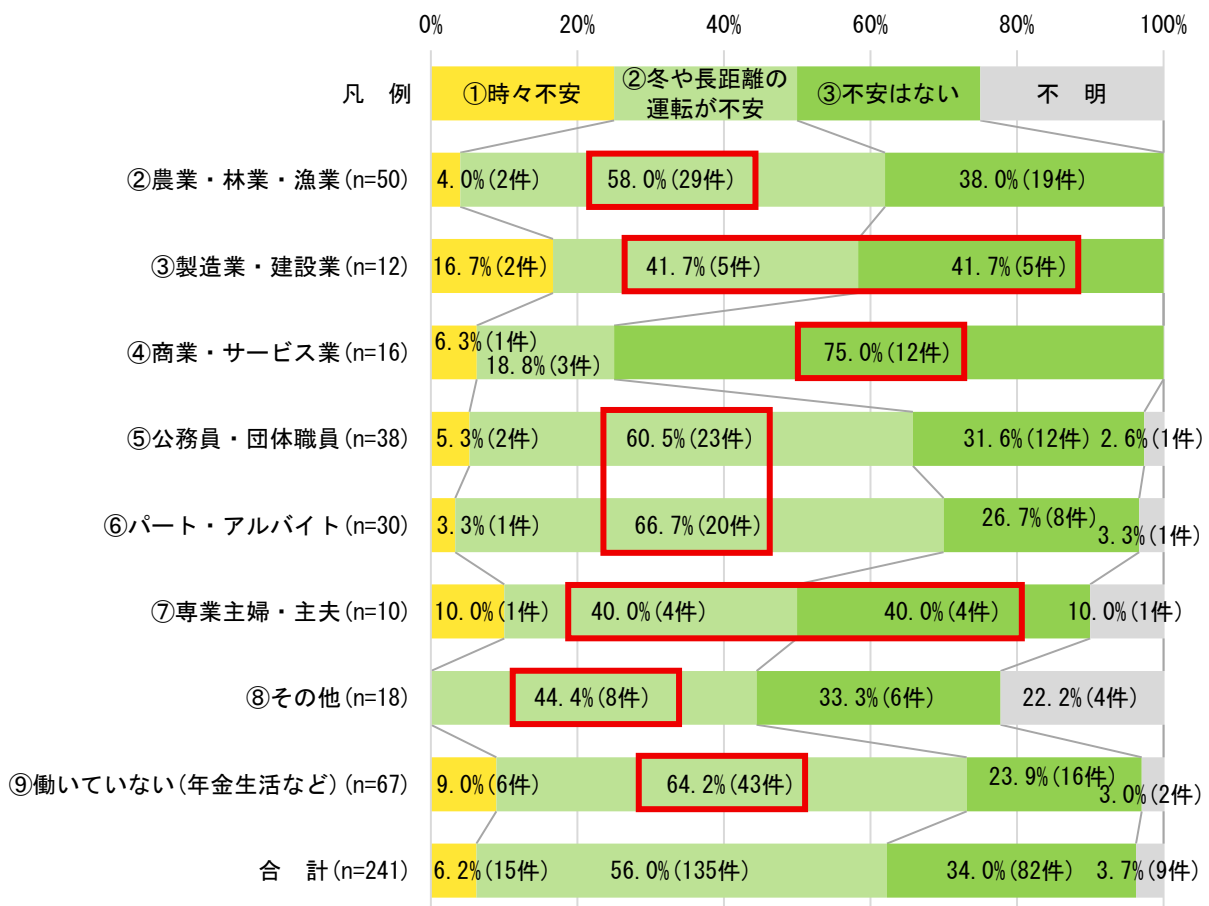
運転への不安を性別に見ると、「②冬や長距離の運転が不安」が男女とも最も多くなっています。



図表 2-13 運転への不安（性別）

【職業別】

運転への不安を職業別に見ると、「②農業・林業・漁業」、「⑤公務員・団体職員」、「⑥パート・アルバイト」、「⑧その他」及び「⑨働いていない」は「②冬や長距離の運転が不安」が最も多くなっています。また「③製造業・建設業」と「⑦専業主婦・主夫」は「②冬や長距離の運転が不安」と「③不安はない」が同数となっています。その他「④商業・サービス業」は「③不安はない」が最も多くなっています。



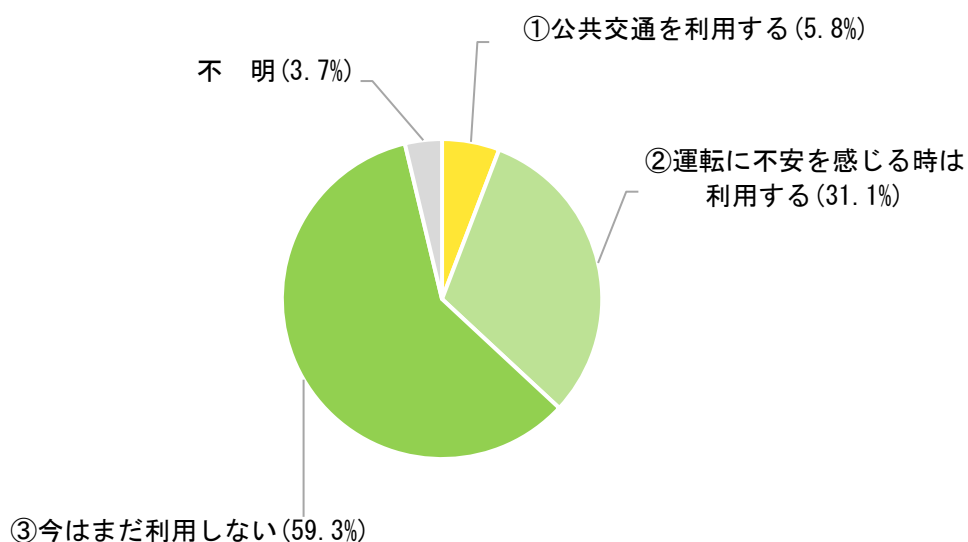
図表 2-14 運転への不安（職業別）

②自宅前まで行く便利な公共交通の利用（Q7-2）

車を運転する回答者の便利な公共交通の利用は「③今はまだ利用しない」が59.3%と最も多く、次いで「②運転に不安を感じる時は公共交通を利用する」が31.1%、「①公共交通を利用する」が5.8%の順となっています。

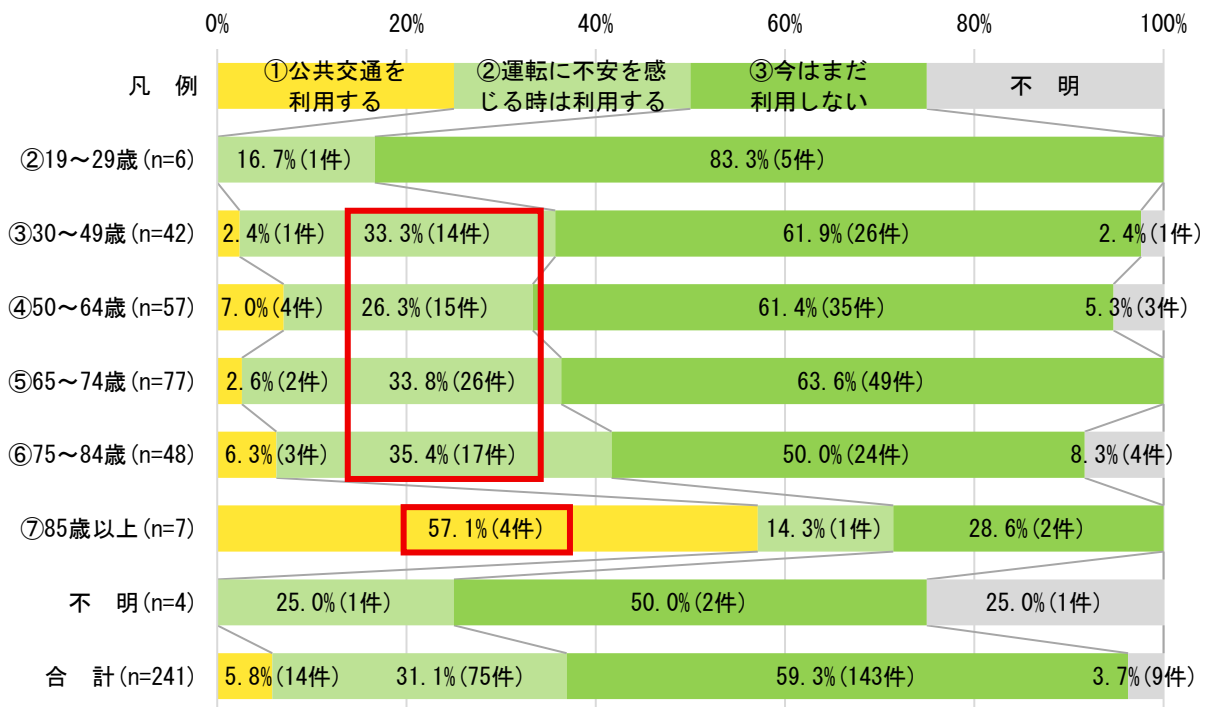
図表 2-15 車を運転する回答者の便利な公共交通の利用

項目	件数
①公共交通を利用する	14
②運転に不安を感じる時は公共交通を利用する	75
③今はまだ利用しない	143
不明	9
合計	241



【年齢別】

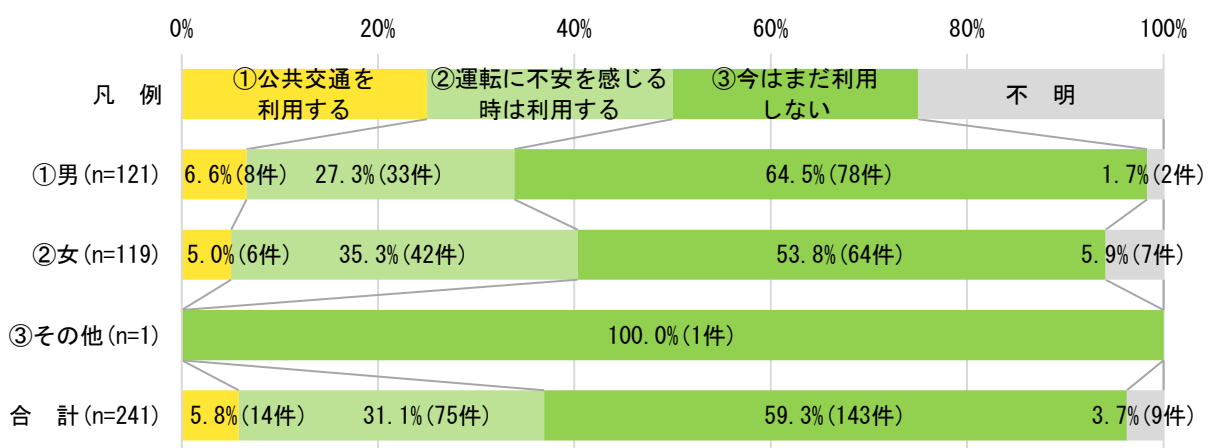
車を運転する回答者の便利な公共交通の利用を年齢別に見ると、「⑦85歳以上」では「①公共交通を利用する」が最も多く、「③30～49歳」から「⑥75～84歳」においては「②運転に不安を感じる時は利用する」が3割前後で回答しています。



図表 2-16 車を運転する回答者の便利な公共交通の利用（年齢別）

【性別】

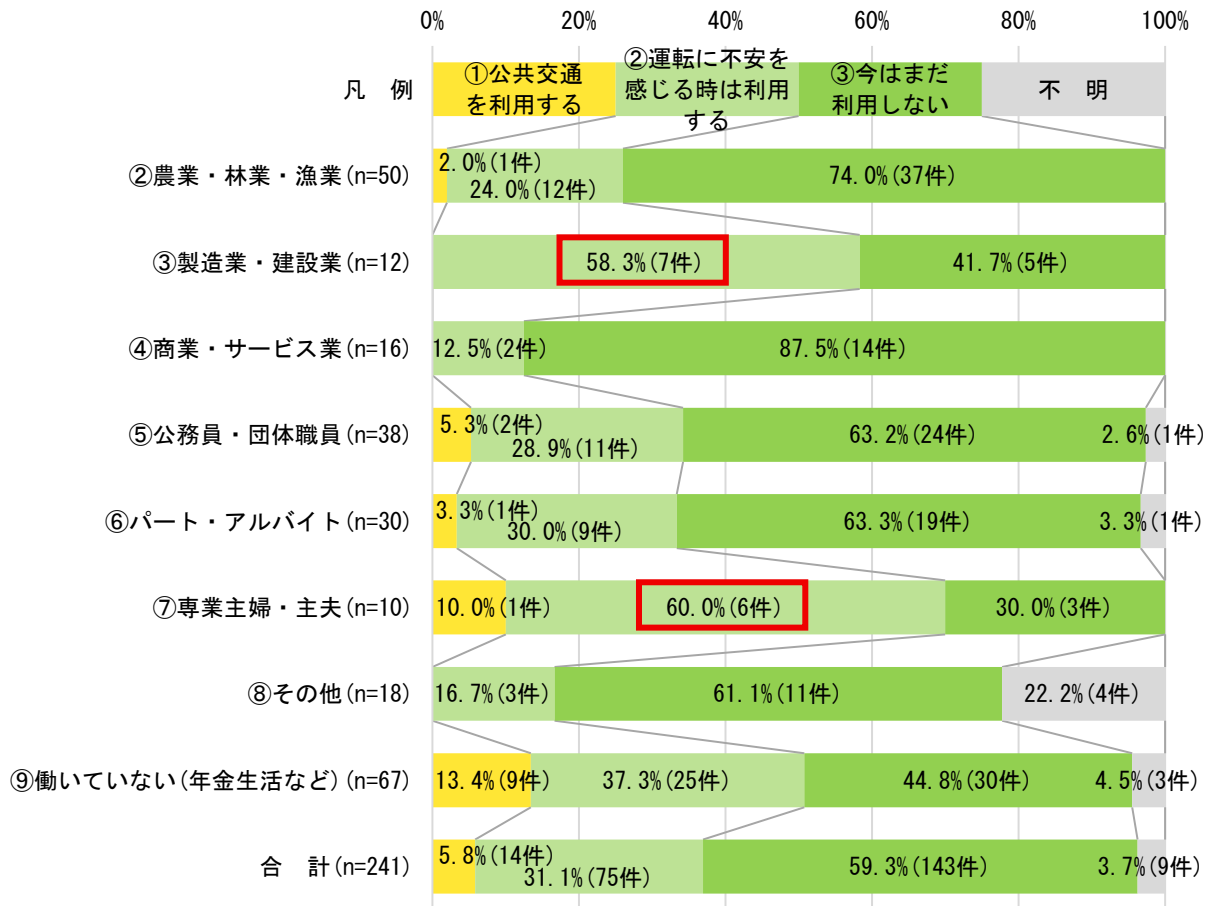
車を運転する回答者の便利な公共交通の利用を性別に見ると、男女とも全体と概ね同様の傾向となっています。



図表 2-17 車を運転する回答者の便利な公共交通の利用（性別）

【職業別】

車を運転する回答者の便利な公共交通の利用を職業別に見ると、「②運転に不安を感じる時は利用する」は「③製造業・建設業」と「⑦専業主婦・主夫」が最も多くなっています。他の職業は「③今はまだ利用しない」が最も多くなっています。



図表 2-18 車を運転する回答者の便利な公共交通の利用（職業別）

(8) 通信環境等 (Q8)

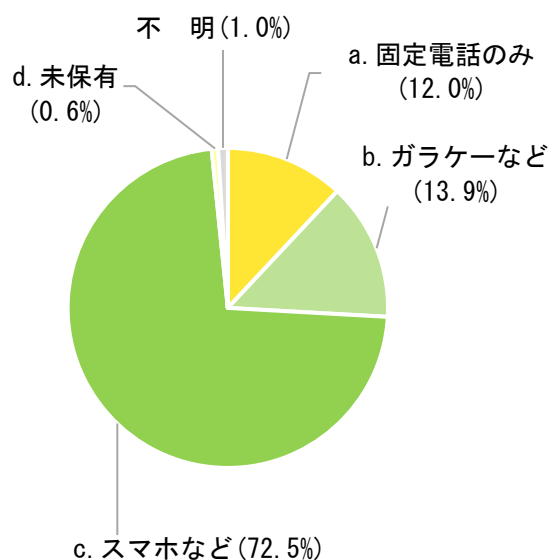
① 固定電話、携帯電話及びスマートフォンの保有状況

回答者の固定電話、携帯電話及びスマートフォンの保有状況は「c.スマホなど」が72.5%と最も多く、次いで「b.ガラケーなど」が13.9%、「a.固定電話のみ」が12.0%の順となっています。

仮に予約型の公共交通等を新たに運行する場合、外出先からの予約に対し「a.固定電話のみ」の方への対応を検討する必要があります。

図表 2-19 固定電話、携帯電話及びスマートフォンの保有状況

項目	件数
a.固定電話のみ	37
b.ガラケーなど	43
c.スマホなど	224
d.未保有	2
不明	3
合計	309



【再集計の方法】

再集計の選択肢	アンケートの回答
a.固定電話のみ	・「①世帯で固定電話を保有」のみ回答
b.ガラケーなど	・「①世帯で固定電話を保有」と「②ガラケーを保有」の両方を回答 ・「②ガラケーを保有」のみ回答
c.スマホなど	・「①世帯で固定電話を保有」、「②ガラケーを保有」及び「③スマホを保有」を全て回答 ・「①世帯で固定電話を保有」と「③スマホを保有」の両方を回答 ・「②ガラケーを保有」と「③スマホを保有有」の両方を回答 ・「③スマホを保有」のみ回答

【年齢別】

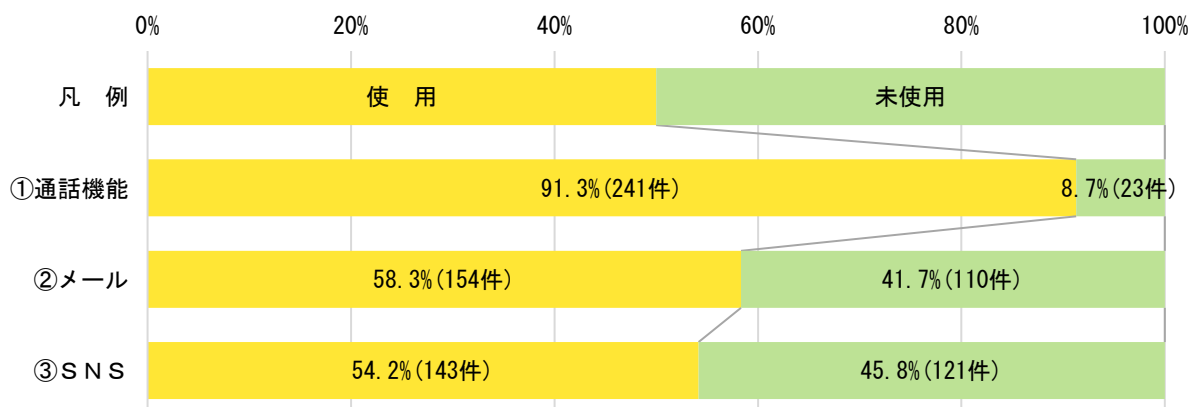
回答者の固定電話、携帯電話及びスマートフォンの保有状況を年齢別に見ると、「①16～18歳」から「④50～64歳」のほとんどは「c.スマホなど」を保有しているものの、「⑥75～84歳」と「85歳以上」は「a.固定電話のみ」と「b.ガラケーなど」が他の年齢よりも多くなっています。



図表 2-20 固定電話、携帯電話及びスマートフォンの保有状況（年齢別）

②携帯電話やスマートフォンの使用状況

携帯電話やスマートフォンを保有している方の使用状況は「①通話機能」の使用が 91.3%と最も多く、次いで「②メール」が 58.3%、「③SNS」が 54.2%の順となっています。



図表 2-21 携帯電話やスマートフォンの使用状況

2-2. 交通実態（問2）

(1) 公共交通等の利用状況等（Q9）

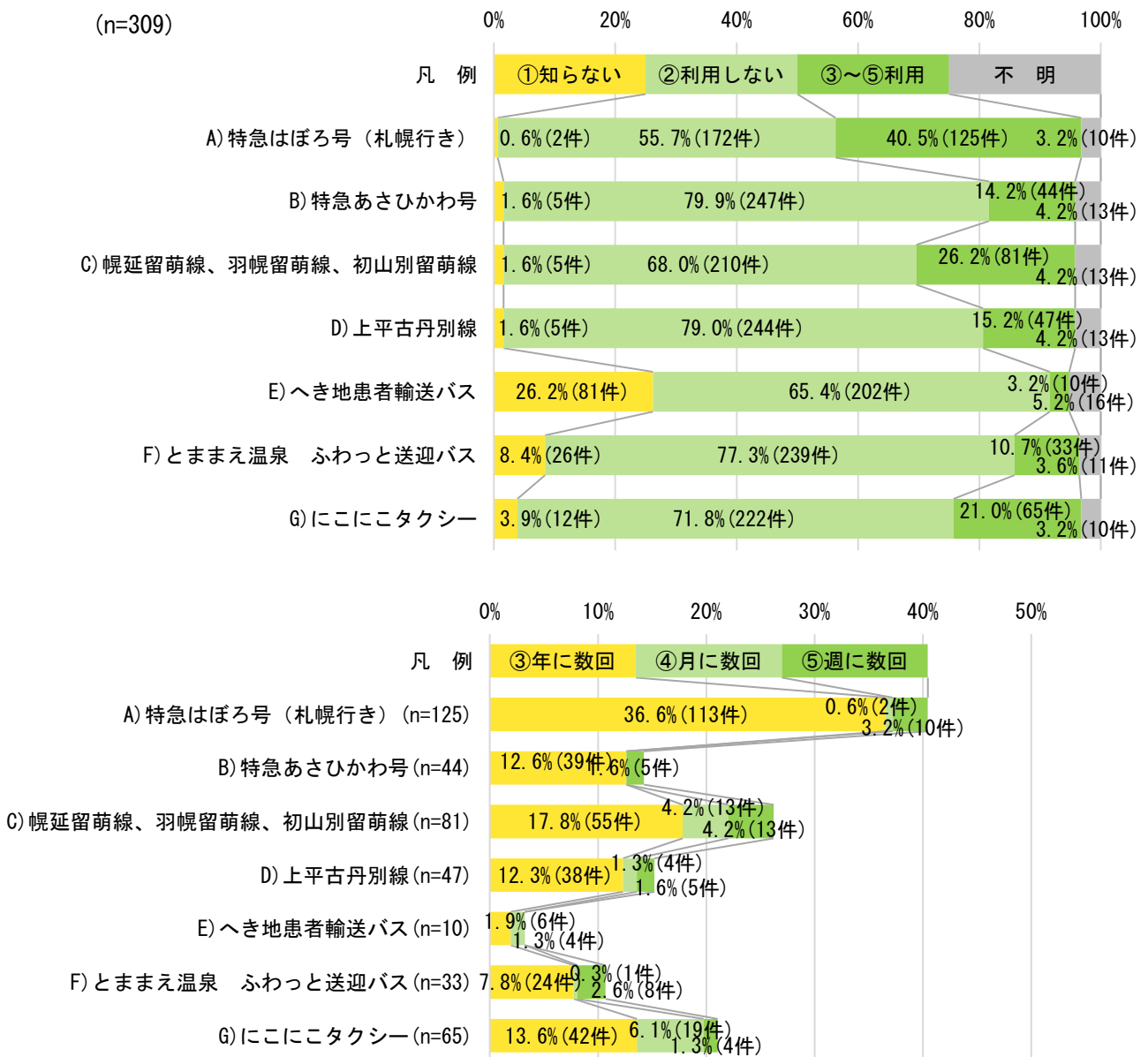
各公共交通等の周知状況と利用状況は、全ての交通手段において「②利用しない」が最も多く、このうち「E）へき地患者輸送バス」は26.2%が「①知らない」としています。

「③～⑤利用」は「A）特急はぼろ号」が40.5%と最も多く、次いで「C）幌延留萌線、羽幌留萌線、初山別留萌線」が26.2%、「G）にこにこタクシー」が21.0%の順となっています。

各公共交通等の利用頻度は「③年に数回」がほとんどで、「④月に数回」と「⑤週に数回」は数パーセントに止まります。

※「利用」は「③年に数回」、「④月に数回」及び「⑤週に数回」の合計

図表 2-22 公共交通等の利用等の状況



図表 2-23 公共交通等の利用頻度

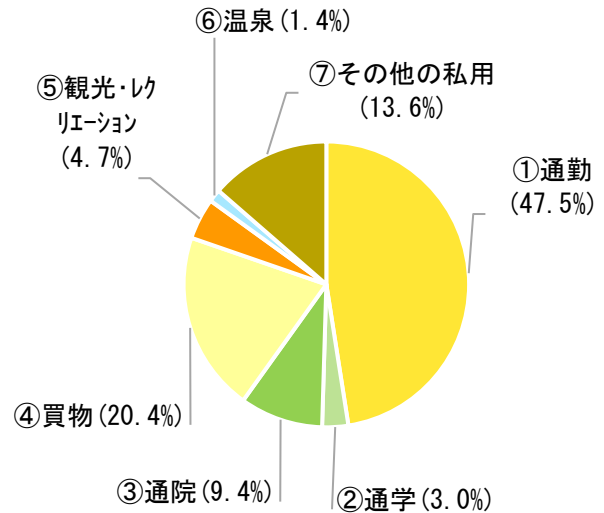
(2) 一週間の外出状況 (Q10)

①外出目的 (Q10-1)

一週間の外出目的は「①通勤」が 47.5%と最も多く、次いで「④買物」が 20.4%、「⑦その他の私用」が 13.6%の順となっています。

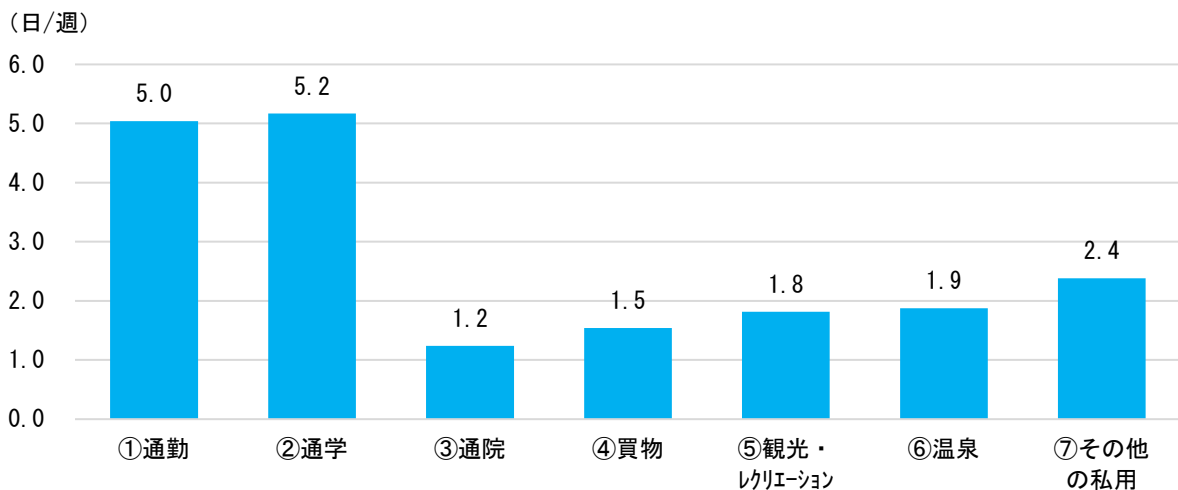
図表 2-24 外出目的

項目	件数
①通勤	499
②通学	31
③通院	99
④買物	214
⑤観光・レクリエーション (スポーツ・散歩等)	49
⑥温泉	15
⑦その他の私用(趣味、友人宅等)	143
合計	1,050



【一週間当たりの外出日数(目的別)】

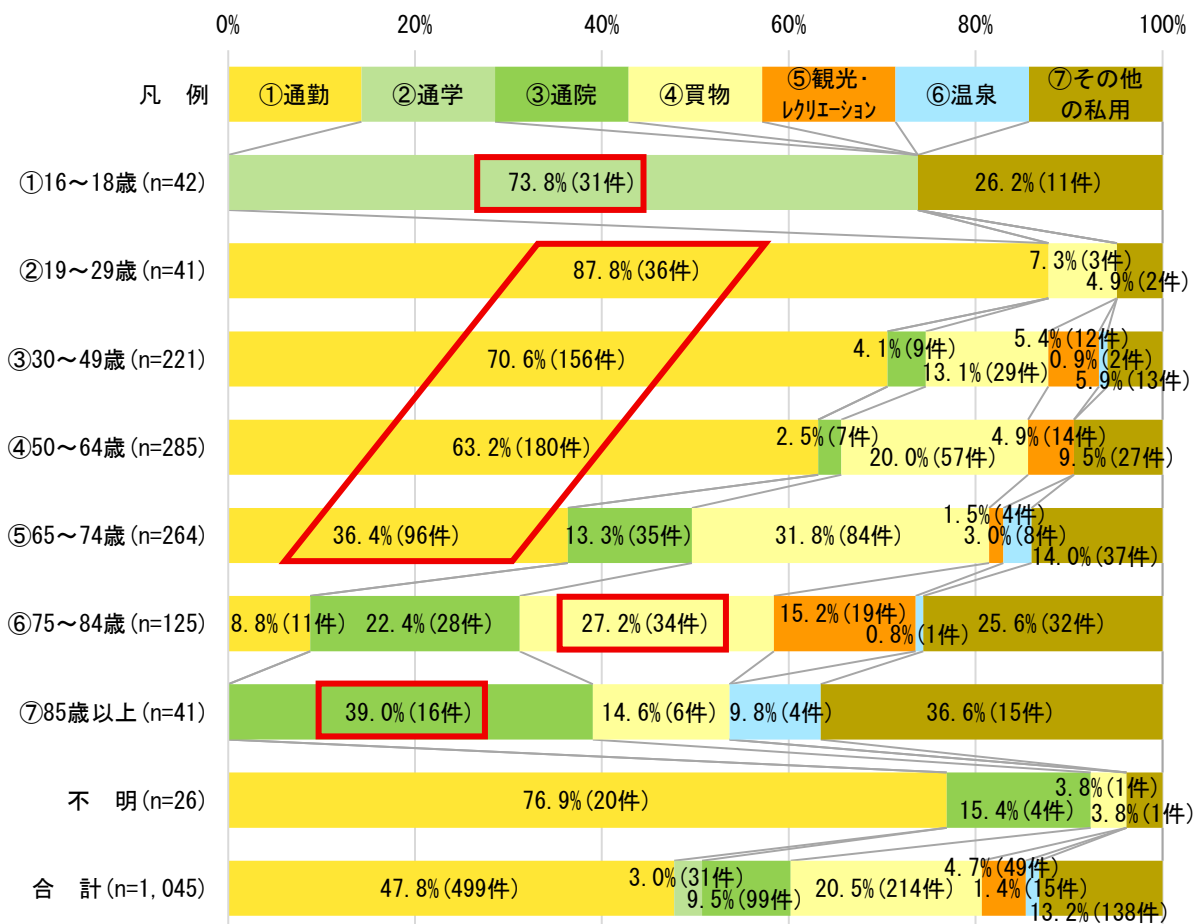
一週間当たりの外出日数を目的別に見ると、「②通学」が 5.2 日/週と最も多く、次いで「①通勤」が 5.0 日/週、「⑦その他の私用」が 2.4 日/週となっています。なお「③通院」と「④買物」はそれぞれ 1.2 日/週、1.5 日/週に止まります。



図表 2-25 一週間当たりの外出日数 (目的別)

【年齢別】

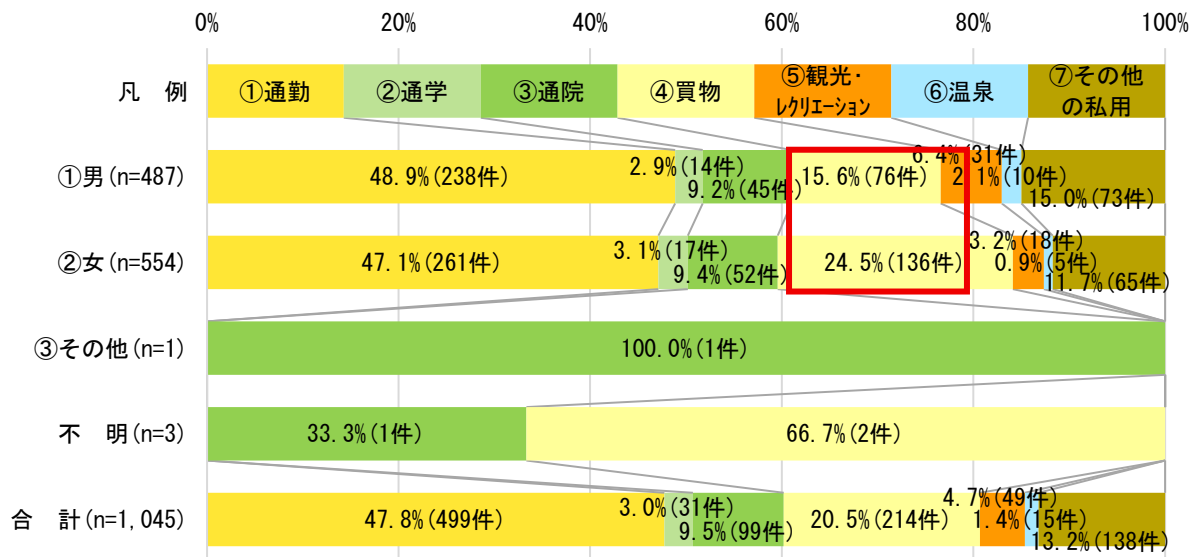
一週間の外出目的を年齢別に見ると、「①16～18歳」は「②通学」、「②19～29歳」から「⑤65～74歳」は「①通勤」が最も多くなっています。また「⑥75～84歳」は「④買物」、「⑦85歳以上」は「③通院」が最も多くなっています。



図表 2-26 外出目的（年齢別）

【性別】

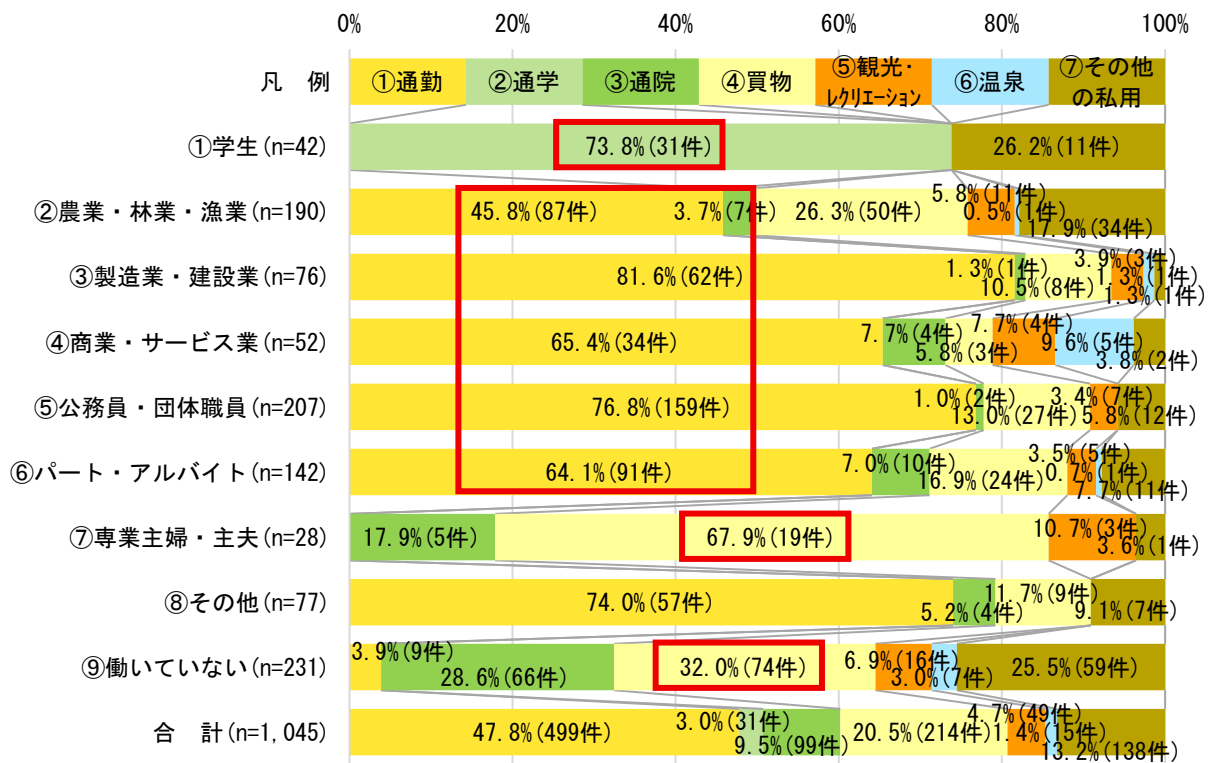
一週間の外出目的を性別に見ると、「②女性」は「①男性」と比較して「④買物」が多くなっています。



図表 2-27 性別

【職業別】

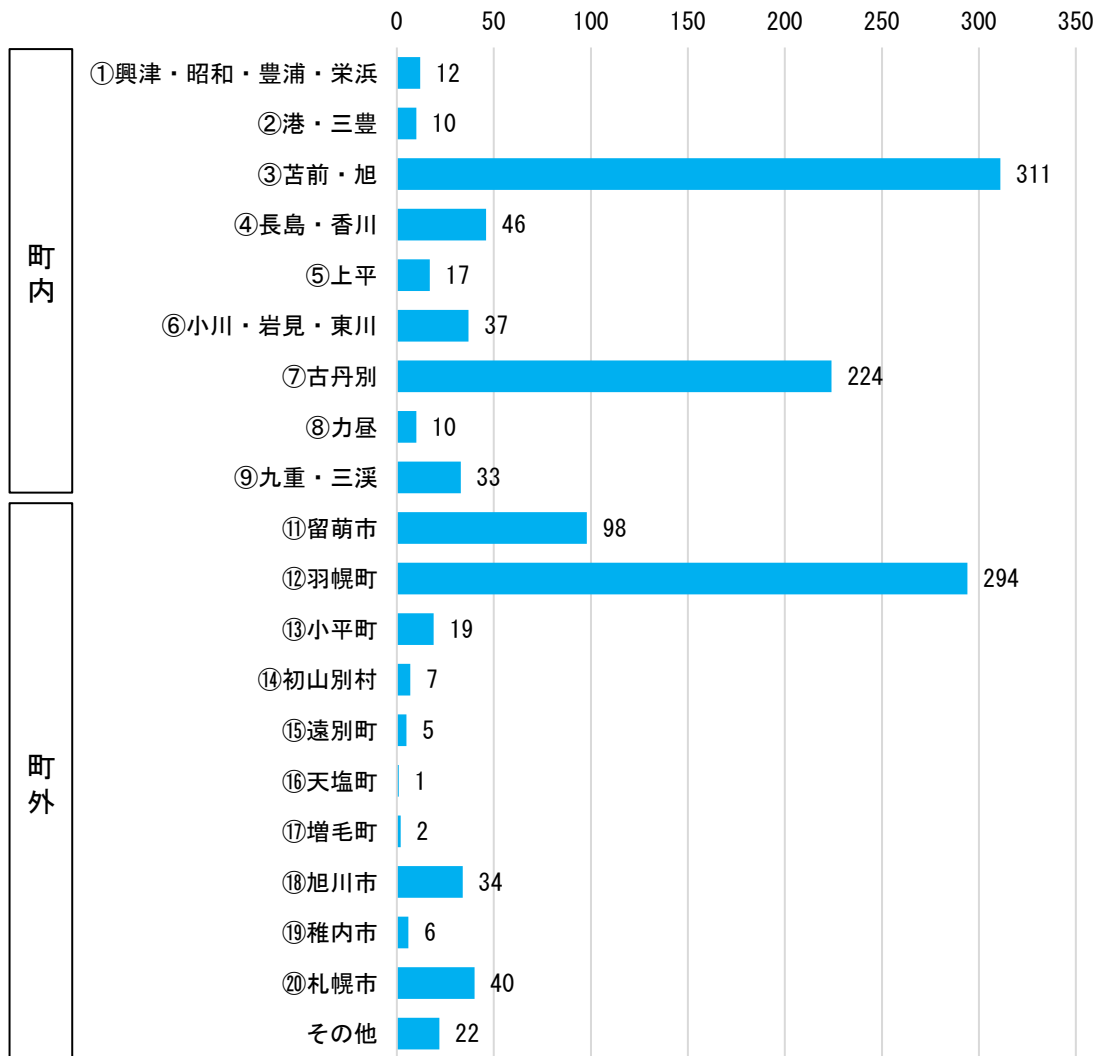
一週間の外出目的を職業別に見ると、「①学生」は「②通学」、「②農業・林業・漁業」から「⑥パート・アルバイト」の選択肢と「⑧その他」は「①通勤」が最も多くなっています。また「⑦専業主婦・主夫」と「⑨働いていない」は「④買物」が最も多くなっています。



図表 2-28 外出目的 (職業別)

②行き先 (Q10-2)

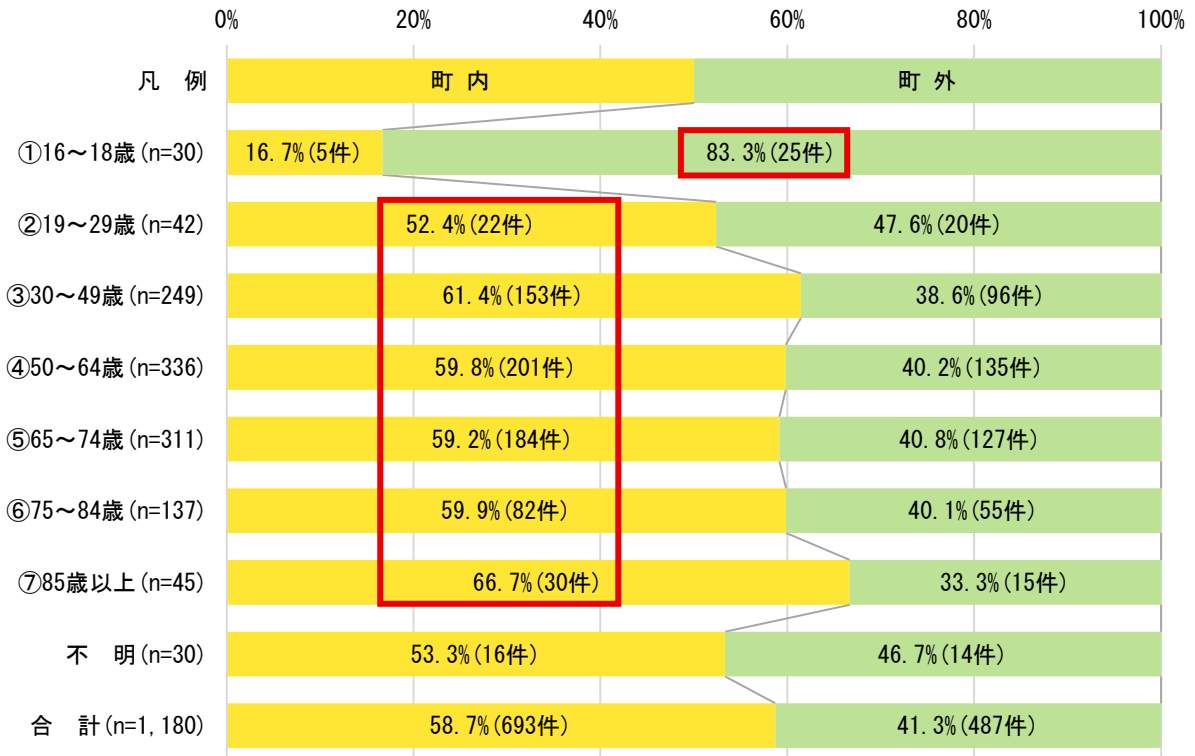
一週間の行き先は「③苫前・旭」が 311 件と最も多く、次いで「⑫羽幌町」が 294 件、「⑦古丹別」が 224 件の順となっています。



図表 2-29 行き先

【年齢別】

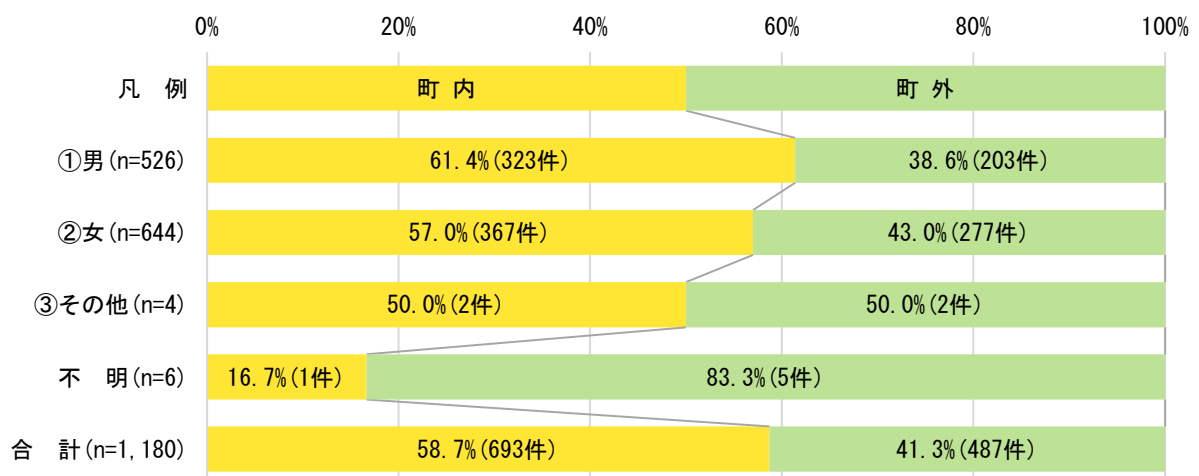
一週間の行先を町内・町外別で年齢別に見ると、「①16～18歳」は「町外」が83.3%で、他の年齢は「町内」が50%台から60%台となっています。



図表 2-30 町内・町外別の行先（年齢別）

【性別】

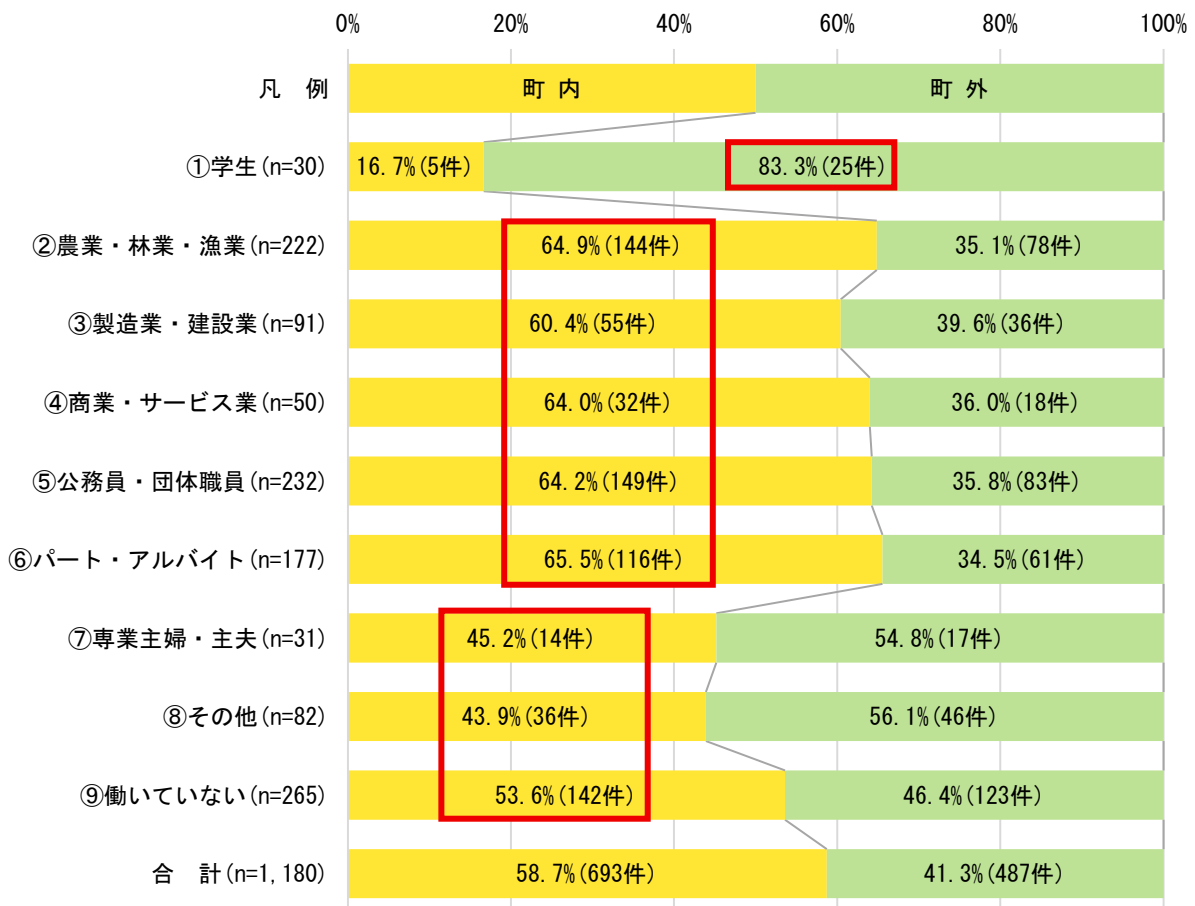
一週間の行先を町内・町外別で性別に見ると、「②女性」は「①男性」よりも「町外」に外出する比率が多くなっています。



図表 2-31 町内・町外別の行先（性別）

【職業別】

一週間の行先を町内・町外別で職業別に見ると、「①学生」は「町外」が 83.3%で、「②農業・林業・漁業」から「⑥パート・アルバイト」までの職業は「町内」が 60%台となっています。その他「⑦専業主婦・主夫」、「⑧その他」及び「⑨働いていない」は「町内」と「町外」の割合が 50%程度となっています。



図表 2-32 町内・町外別の行先（職業別）

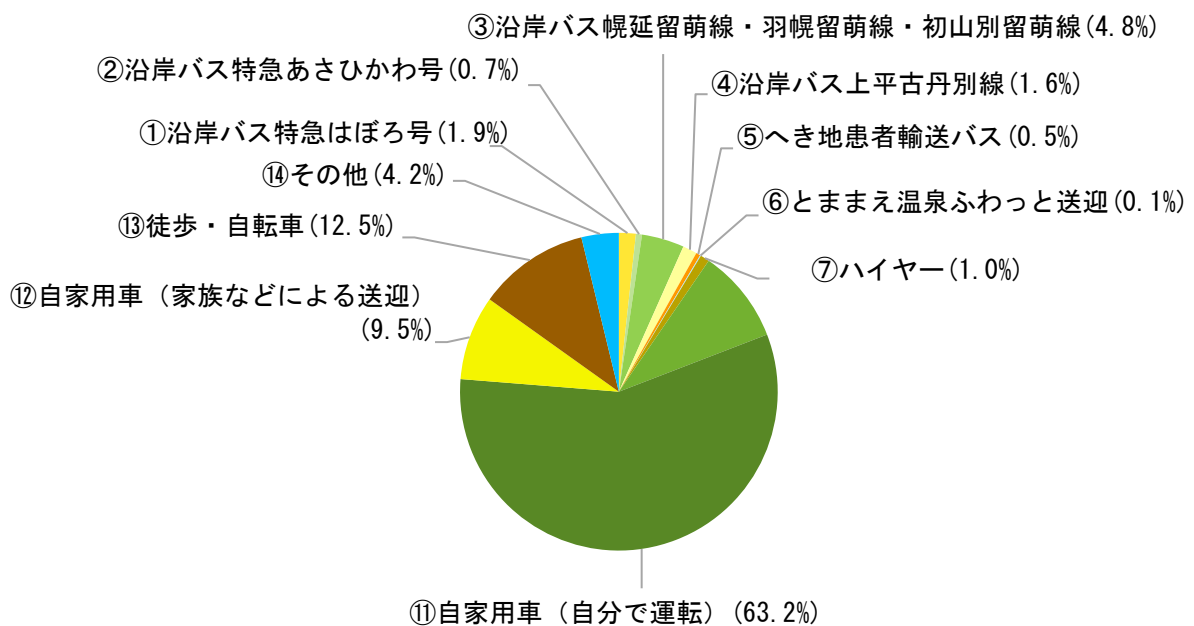
③交通手段（Q10-3）

一週間の交通手段は「⑪自家用車(自分で運転)」が 63.2%と最も多く、次いで「⑬徒歩・自転車」が 12.5%、「⑫自家用車(家族などによる送迎)」が 9.5%の順となっています。

公共交通等は「③沿岸バス幌延留萌線・羽幌留萌線・初山別留萌線」が 4.8%と最も多く、次いで「①沿岸バス特急はぼろ号」が 1.9%、「④沿岸バス上平古丹別線」が 1.6%の順となっています。

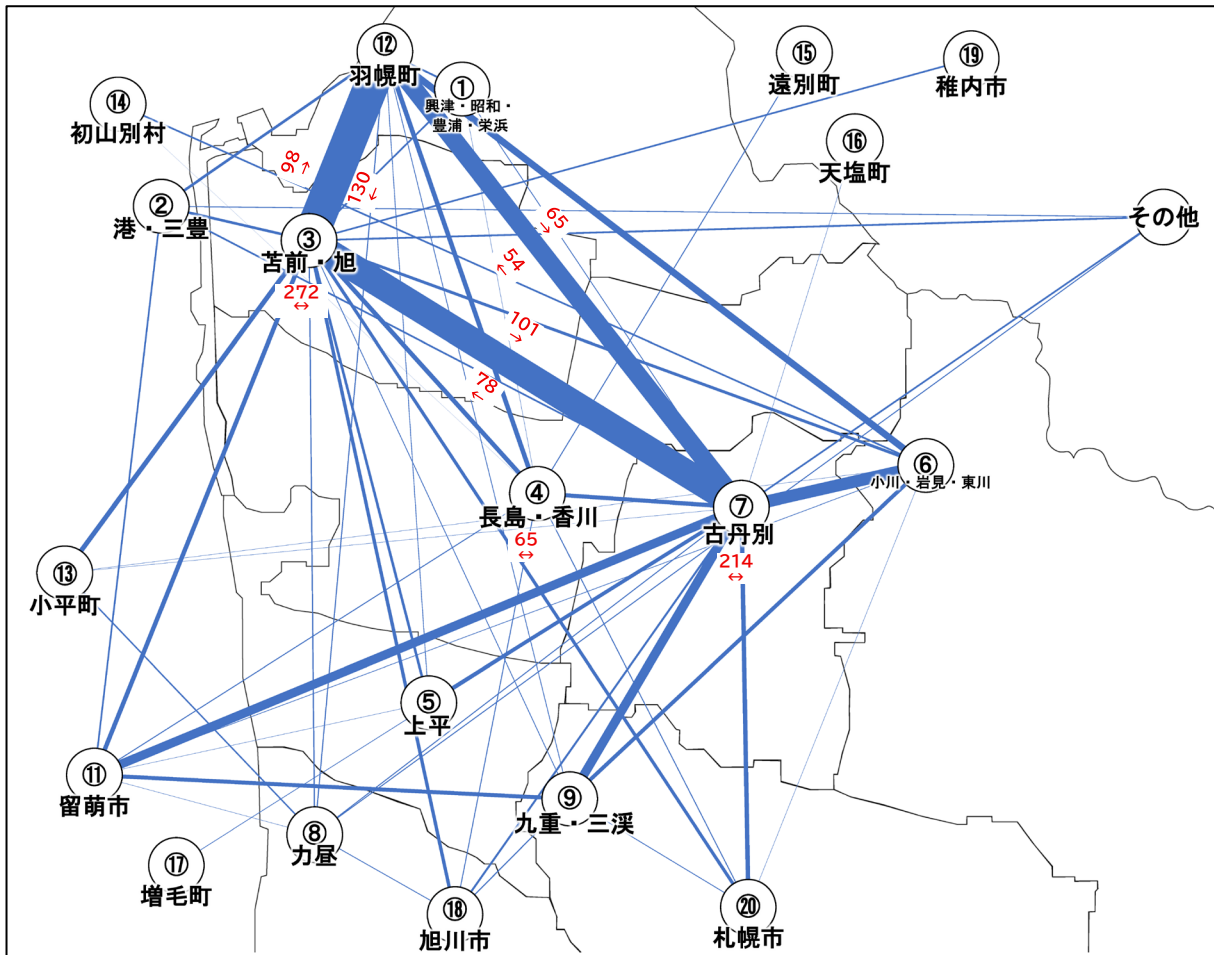
図表 2-33 交通手段

項目		件数
公共交通・無料送迎	①沿岸バス特急はぼろ号	39
	②沿岸バス特急あさひかわ号	14
	③沿岸バス幌延留萌線・羽幌留萌線・初山別留萌線	98
	④沿岸バス上平古丹別線	33
	⑤へき地患者輸送バス	10
	⑥とままえ温泉ふわっと送迎	2
	⑦ハイヤー	21
小計		217
公共交通以外	⑪自家用車(自分で運転)	657
	⑫自家用車(家族などによる送迎)	96
	⑬徒歩・自転車	138
	⑭その他	45
小計		1,833
合計		2,050



【地域間の移動状況(全交通手段)】一週間当たり移動人数

全交通手段の地域間移動は「③苫前・旭」内が 272 人と最も多く、次いで「⑦古丹別」内が 214 人、「⑫羽幌町」から「③苫前・旭」が 130 人、「③苫前・旭」から「⑦古丹別」が 101 人、「③苫前・旭」から「⑫羽幌町」が 98 人の順となっています。



D \ O	① 興津・昭和・豊浦・栄浜	② 港・三豊	③ 苫前・旭	④ 長島・香川	⑤ 上平	⑥ 小川・岩見・東川	⑦ 古丹別	⑧ 力屋	⑨ 九重・三溪	町内小計	⑩ 留萌市	⑫ 羽幌町	⑬ 小平町	⑭ 初山別村	⑮ 遠別町	⑯ 天塩町	⑰ 増毛町	⑱ 旭川市	⑲ 稚内市	⑳ 札幌市	その他	町外小計	集中量	発生集中量
① 興津・昭和・豊浦・栄浜	0	0	7	1	0	0	0	0	0	8	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	10	27
② 港・三豊	0	2	8	0	0	0	3	0	0	13	6	6	0	0	0	0	0	0	0	0	3	15	28	61
③ 苫前・旭	3	8	272	16	8	8	101	3	2	421	19	98	15	0	0	0	0	10	5	7	1	155	576	1,170
④ 長島・香川	1	0	12	65	0	0	9	0	0	87	4	9	0	0	0	0	0	3	0	2	0	18	105	236
⑤ 上平	0	0	8	0	0	0	7	0	0	15	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	17	45
⑥ 小川・岩見・東川	0	0	10	0	0	30	41	0	12	93	2	22	1	5	0	0	0	0	1	0	31	124	241	
⑦ 古丹別	4	7	78	17	16	38	214	3	31	408	34	54	0	0	0	1	1	6	0	5	5	106	514	1,045
⑧ 力屋	0	0	4	0	0	0	2	19	0	25	1	3	4	0	0	0	0	2	0	0	2	12	37	75
⑨ 九重・三溪	0	0	2	0	0	12	27	0	0	41	20	2	0	0	0	0	0	2	0	0	26	67	125	
町内小計	8	17	401	99	24	88	404	25	45	1,111	88	196	20	5	0	1	1	23	5	17	11	367	1,478	3,025
⑩ 留萌市	0	4	9	1	0	1	23	1	5	44	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	44	132	
⑫ 羽幌町	9	10	130	20	4	21	65	3	2	264	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	264	460	
⑬ 小平町	0	0	15	0	0	1	2	4	0	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22	42	
⑭ 初山別村	0	0	0	1	0	5	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	11	
⑮ 遠別町	0	0	0	5	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	5	
⑯ 天塩町	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	
⑰ 増毛町	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3	
⑱ 旭川市	0	0	11	2	0	0	6	2	4	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25	48	
⑲ 稚内市	0	0	5	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	10	
⑳ 札幌市	0	0	13	3	0	1	23	0	2	42	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	42	59	
その他	0	2	10	0	0	0	5	3	0	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	31	
町外小計	9	16	193	32	4	29	127	13	13	436	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	436	803	
発生量	17	33	594	131	28	117	531	38	58	1,547	88	196	20	5	0	1	1	23	5	17	11	367	1,914	3,828

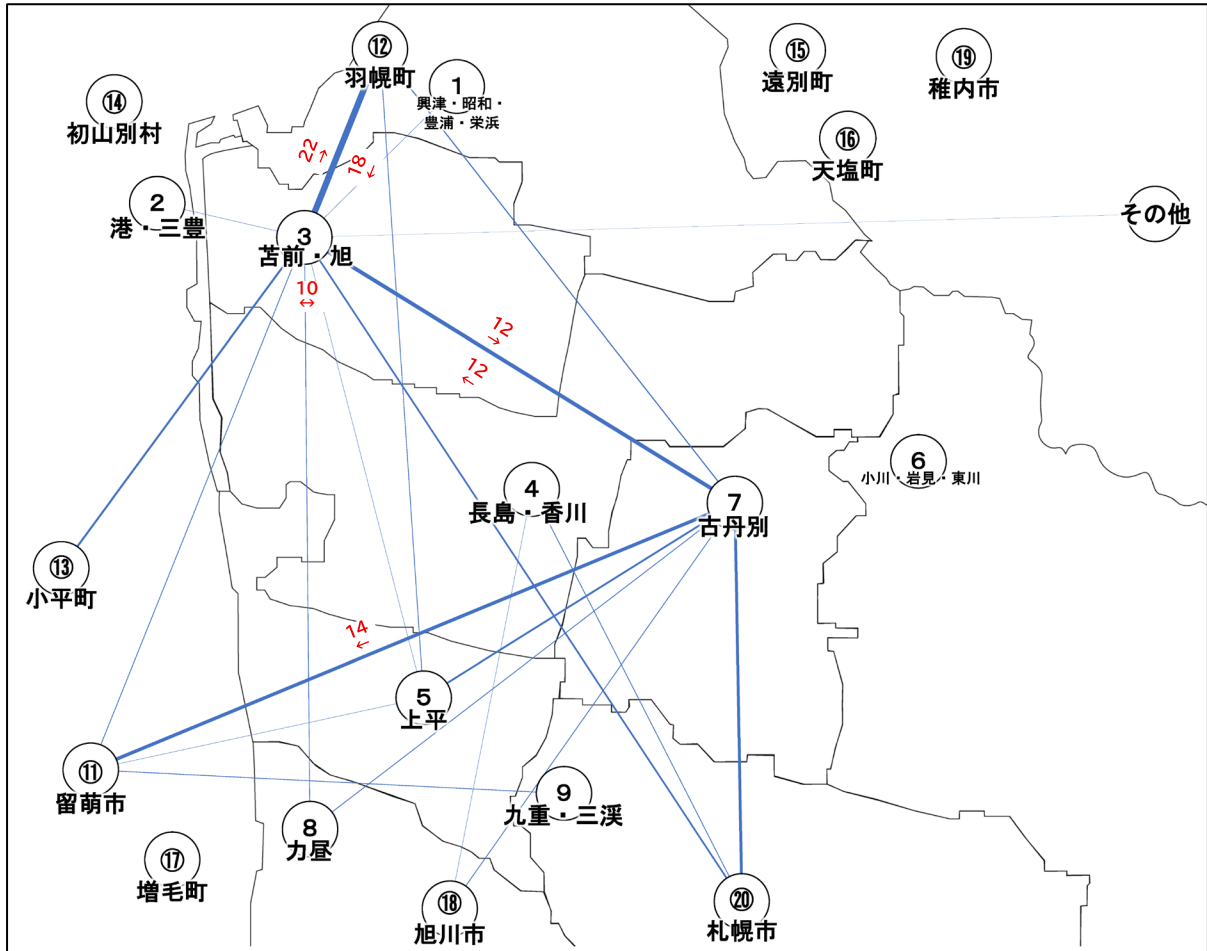
図表 2-34 地域間の移動状況(全交通手段)

【地域間の移動状況(公共交通※1+送迎交通※2)】

公共交通・送迎交通の地域間移動は「③苫前・旭」から「⑫羽幌町」が 22 人と最も多く、次いで「⑫羽幌町」から「③苫前・旭」が 18 人、「⑦古丹別」から「⑪留萌市」が 14 人の順となっています。

※1:沿岸バス特急はぼろ号・あさひかわ号・幌延留萌線・羽幌留萌線・初山別留萌線・上平古丹別線・ハイヤー

※2:へき地患者輸送バス・とままえ温泉ふわっと送迎

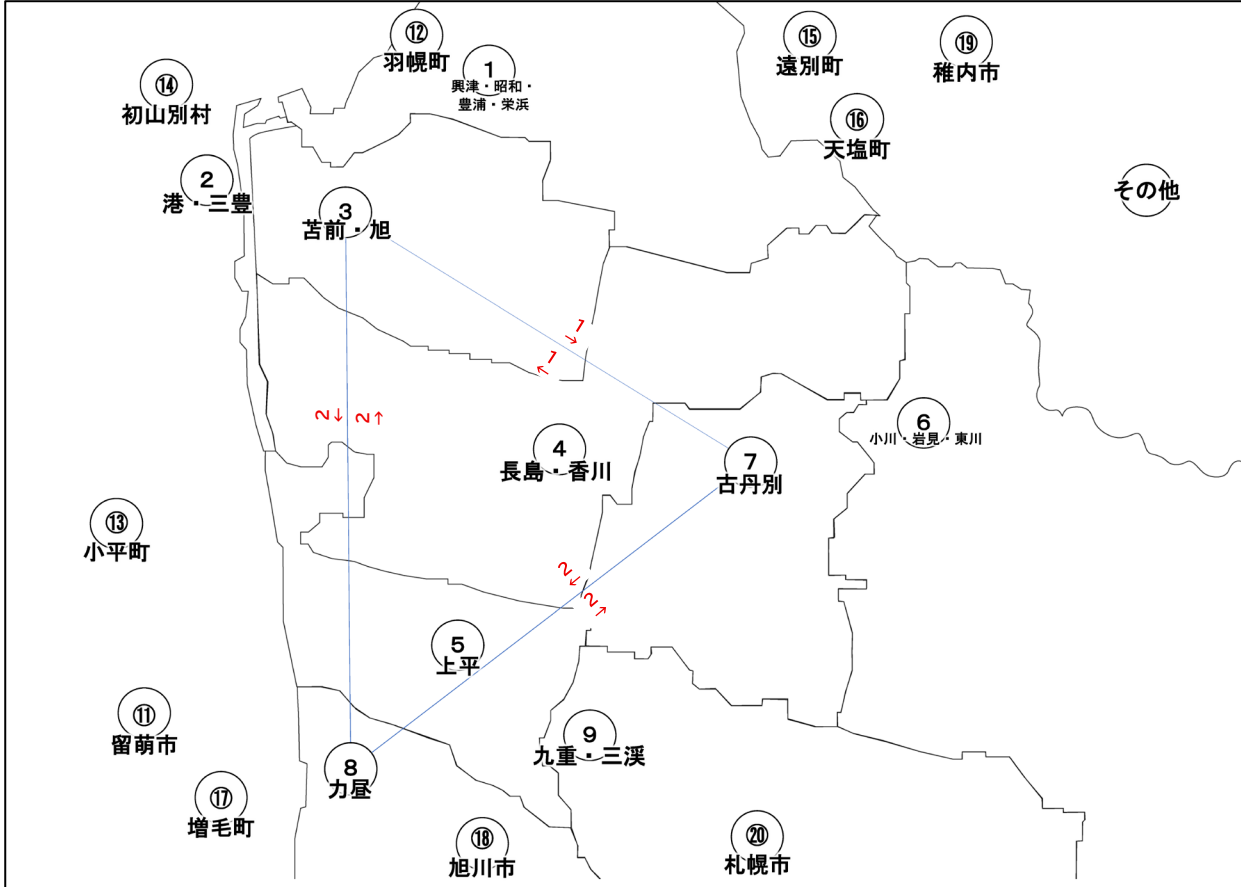


D O	D																				発生 集 中 量	発生 集 中 量		
	①興津・昭和・豊浦・栄浜	②港・三豊	③苫前・旭	④長島・香川	⑤上平	⑥小川・岩見・東川	⑦古丹別	⑧力屋	⑨九重・三溪	⑩留萌市	⑪留萌市	⑫羽幌町	⑬小平町	⑭初山別村	⑮遠別町	⑯天塩町	⑰増毛町	⑱旭川市	⑲稚内市	⑳札幌市			その他	町外小計
①興津・昭和・豊浦・栄浜	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
②港・三豊	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
③苫前・旭	1	1	10	0	0	0	12	2	0	26	2	22	6	0	0	0	0	0	5	0	35	61	121	
④長島・香川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	3	3	6	
⑤上平	0	0	2	0	0	1	0	0	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	5	19	
⑥小川・岩見・東川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
⑦古丹別	0	0	12	0	10	0	4	2	0	28	14	4	0	0	0	0	2	0	0	0	20	48	96	
⑧力屋	0	0	2	0	0	2	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	8	
⑨九重・三溪	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	4	
町内小計	1	1	28	0	10	0	19	4	0	63	22	26	6	0	0	0	4	0	6	0	64	127	258	
⑩留萌市	0	0	2	0	0	7	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	31
⑪留萌市	0	0	18	0	4	2	0	0	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24	50	
⑫羽幌町	0	0	6	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	12	
⑬小平町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
⑭初山別村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
⑮遠別町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
⑯天塩町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
⑰増毛町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
⑱旭川市	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	6	
⑲稚内市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
⑳札幌市	0	0	5	3	0	18	0	0	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26	32	
その他	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
町外小計	0	0	32	3	4	0	29	0	0	68	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	68	132	
発生量	1	1	60	3	14	0	48	4	0	131	22	26	6	0	0	0	0	6	0	64	195	390		

図表 2-35 地域間の移動状況 (公共交通+送迎交通)

【地域間の移動状況(無料送迎バス)】

へき地患者輸送バスととままえ温泉ふわっと送迎バスによる無料送迎バスの地域間移動は「③苫前・旭」と「⑦古丹別」及び「⑧力屋」の間で1人から2人の利用があります。

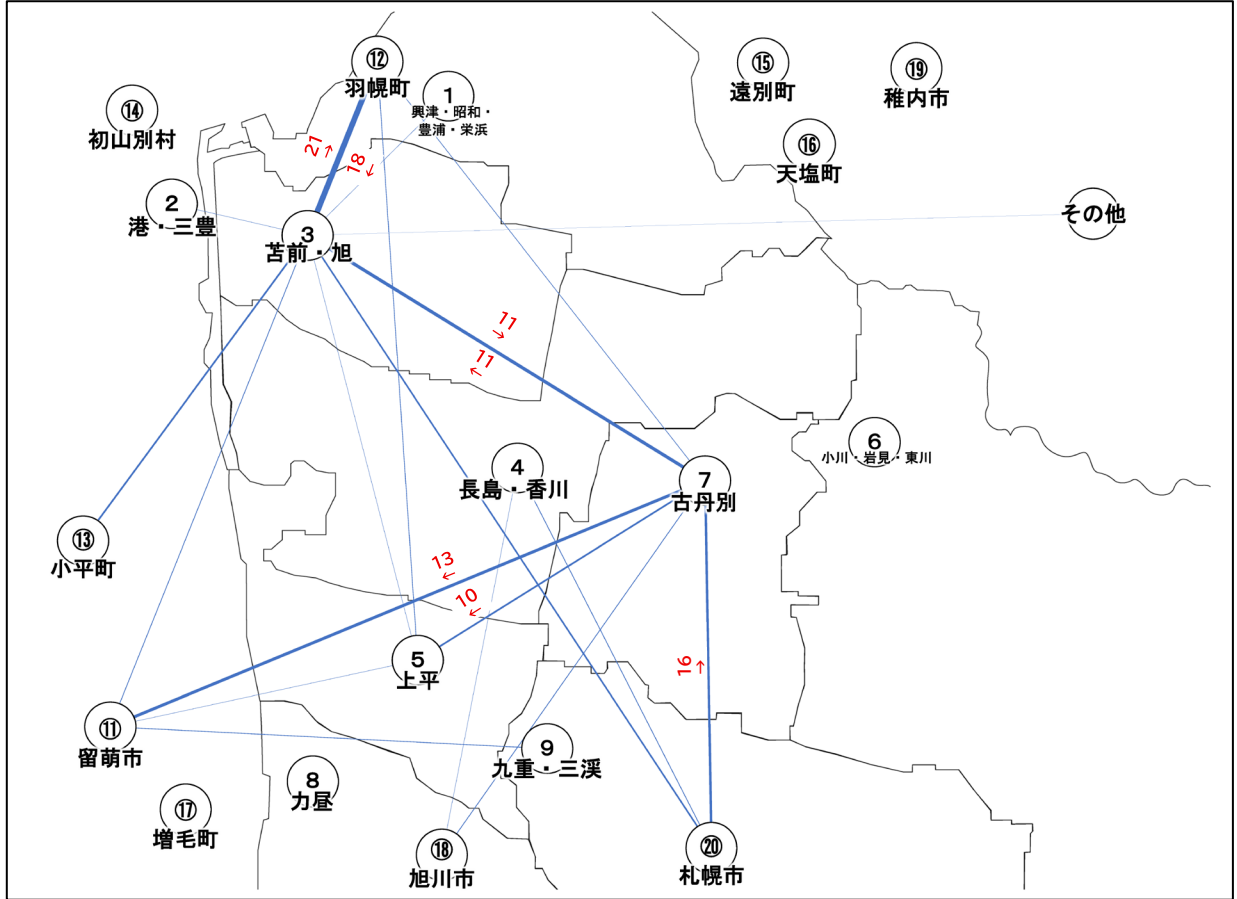


D \ O	① 興津・昭和・豊浦・栄浜	② 港・三豊	③ 苫前・旭	④ 長島・香川	⑤ 上平	⑥ 小川・岩見・東川	⑦ 古丹別	⑧ 力屋	⑨ 九重・三溪	町内小計	⑩ 留萌市	⑫ 羽幌町	⑬ 小平町	⑭ 初山別村	⑮ 遠別町	⑯ 天塩町	⑰ 増毛町	⑱ 旭川市	⑲ 稚内市	⑳ 札幌市	その他	町外小計	集中量	発生集中量
① 興津・昭和・豊浦・栄浜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
② 港・三豊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
③ 苫前・旭	0	0	0	0	0	0	1	2	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	6
④ 長島・香川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑤ 上平	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑥ 小川・岩見・東川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑦ 古丹別	0	0	1	0	0	0	0	2	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	6
⑧ 力屋	0	0	2	0	0	0	2	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	8
⑨ 九重・三溪	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
町内小計	0	0	3	0	0	0	3	4	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	20
⑩ 留萌市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑫ 羽幌町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑬ 小平町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑭ 初山別村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑮ 遠別町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑯ 天塩町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑰ 増毛町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑱ 旭川市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑲ 稚内市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑳ 札幌市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
町外小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
発生量	0	0	3	0	0	0	3	4	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	20

図表 2-36 地域間の移動状況(無料送迎バス)

【地域間の移動状況(沿岸バス)】

沿岸バス(特急はぼろ号、特急あさひかわ号、幌延留萌線、羽幌留萌線、初山別留萌線及び上平古丹別線)の地域間移動は「③苫前・旭」から「⑫羽幌町」が21人と最も多く、次いで「⑫羽幌町」から「③苫前・旭」が18人、「⑫札幌市」から「⑦古丹別」が16人、「⑦古丹別」から「⑪留萌市」が13人の順となっています。

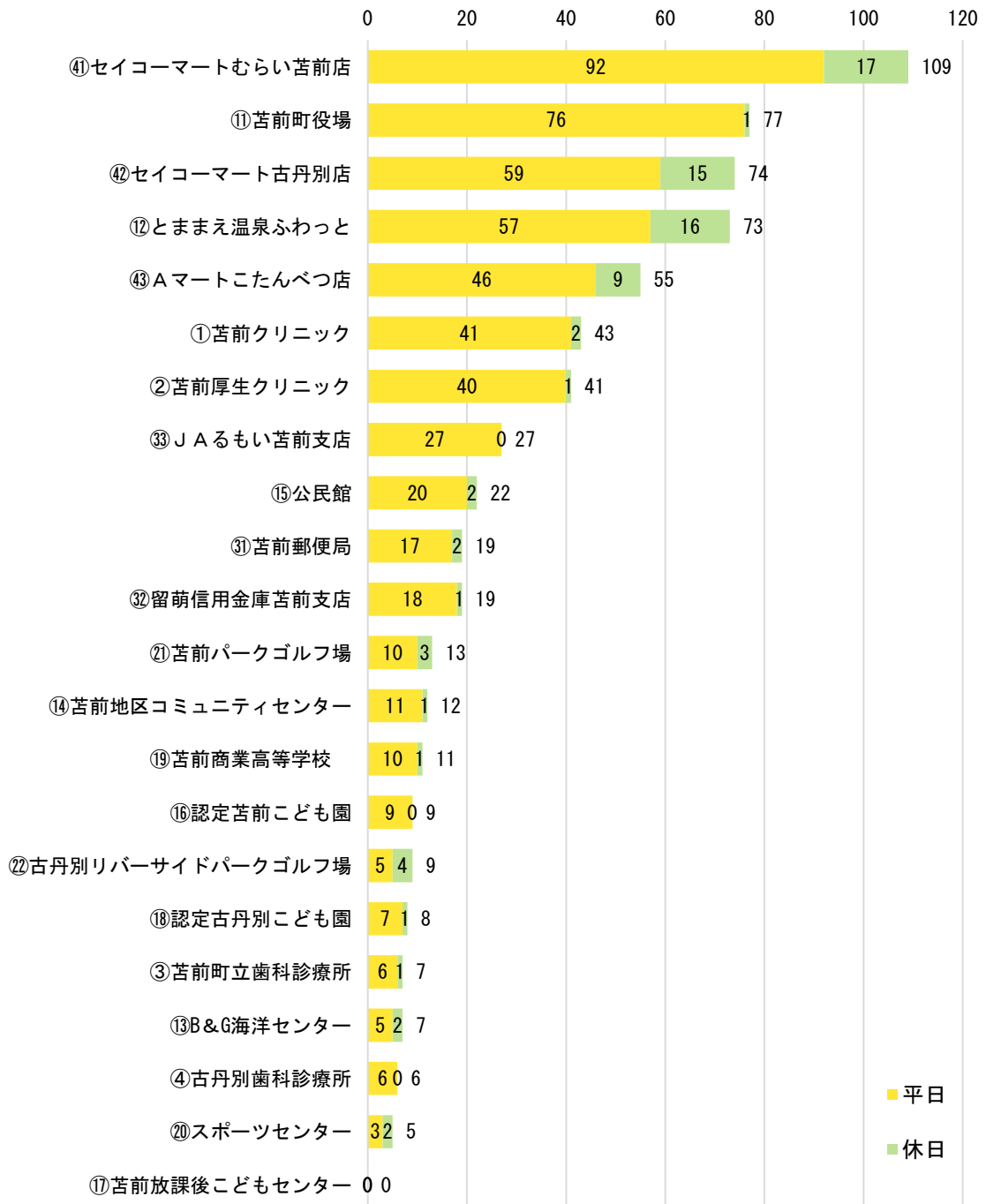


D \ O	① 興津・昭和・豊浦・栄浜	② 港・三豊	③ 苫前・旭	④ 長島・香川	⑤ 上平	⑥ 小川・岩見・東川	⑦ 古丹別	⑧ 力屋	⑨ 九重・三溪	町内小計	⑪ 留萌市	⑫ 羽幌町	⑬ 小平町	⑭ 初山別村	⑮ 遠別町	⑯ 天塩町	⑰ 増毛町	⑱ 旭川市	⑲ 稚内市	⑳ 札幌市	その他	町外小計	集中量	発生集中量
① 興津・昭和・豊浦・栄浜	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
② 港・三豊	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
③ 苫前・旭	1	1	6	0	0	0	11	0	0	19	2	21	6	0	0	0	0	0	0	5	0	34	53	105
④ 長島・香川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	3	3	6
⑤ 上平	0	0	2	0	0	0	1	0	0	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	5	19
⑥ 小川・岩見・東川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑦ 古丹別	0	0	11	0	10	0	3	0	0	24	13	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	17	41	82
⑧ 力屋	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑨ 九重・三溪	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	4
町内小計	1	1	21	0	10	0	15	0	0	48	21	23	6	0	0	0	0	4	0	6	0	60	108	220
⑪ 留萌市	0	0	2	0	0	0	7	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	30
⑫ 羽幌町	0	0	18	0	4	0	1	0	0	23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23	46	
⑬ 小平町	0	0	5	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	11	
⑭ 初山別村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑮ 遠別町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑯ 天塩町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑰ 増毛町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑱ 旭川市	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	6	
⑲ 稚内市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑳ 札幌市	0	0	5	3	0	0	16	0	0	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24	30	
その他	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
町外小計	0	0	31	3	4	0	26	0	0	64	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	64	124	
発生量	1	1	52	3	14	0	41	0	0	112	21	23	6	0	0	0	0	4	0	6	0	60	172	344

図表 2-37 地域間の移動状況 (沿岸バス)

④ 主要な公共・公益施設等へのアクセス（Q10-4）

一週間でアクセスした主要な公共・公益施設は「④セイコーマートむらい苦前店」が 109 件と最も多く、次いで「⑪苦前町役場」が 77 件、「④②セイコーマート古丹別店」が 74 件及び「⑫とままえ温泉ふわっと」が 73 件の順となっています。



図表 2-39 主要な公共・公益施設等への一週間のアクセス状況

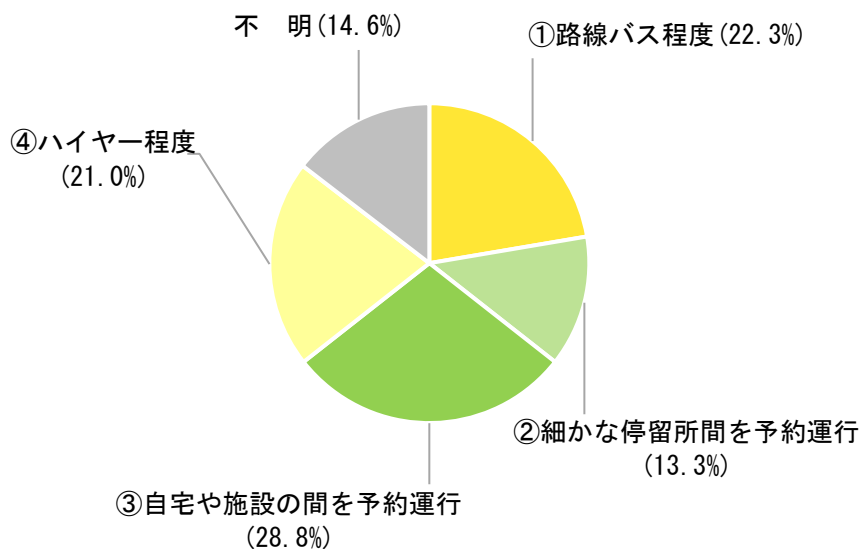
2-3. 今後の公共交通への要望（問3）

(1) 自家用車に頼らない生活を送る場合の公共交通サービス水準（Q11）

公共交通サービス水準は「③自宅や施設間を予約運行」が28.8%と最も多く、次いで「①路線バス程度」が22.3%、「④ハイヤー程度」が21.0%の順となっています。

図表 2-40 自家用車に頼らない生活を送る場合の公共交通サービス水準

項目	件数
① 現在の路線バスと同様に時刻表により停留所間を運行する公共交通 (運賃は路線バス程度:例えば 200 円)	69
② 利用は日中の時間帯に限られるが、路線バスよりは細かく配置された停留所間 を乗車予約のたびに運行する公共交通 (運賃は路線バスとタクシーの中間より安い :例えば 300 円)	41
③ 利用は日中の時間帯に限られるが、自宅前と主要な商業施設、医療施設及び 公共施設の間を乗車予約のたびに直接運行する公共交通 (運賃は路線バスとタクシーの中間:例えば 500 円)	89
④ 車を呼ぶと自分の好きな時間帯に自由に行きたいところに行ける公共交通 (運賃はタクシー程度)	65
不明	45
小計	309



【年齢別】

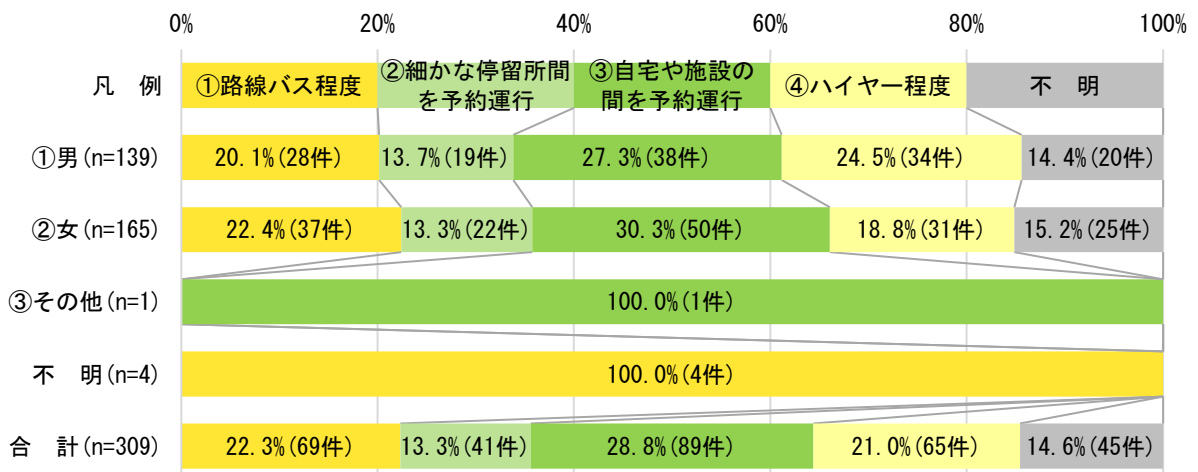
公共交通サービス水準を年齢別に見ると、「③自宅や施設の間を予約運行」が「③30～49歳」から「⑦85歳以上」の年齢の間で最も多くなっています。また「①路線バス程度」は「②19～29歳」と「⑥75～84歳」、「②細かな停留所間を予約運行」は「①16～18歳」が最も多くなっています。



図表 2-41 自家用車に頼らない生活を送る場合の公共交通サービス水準（年齢別）

【性別】

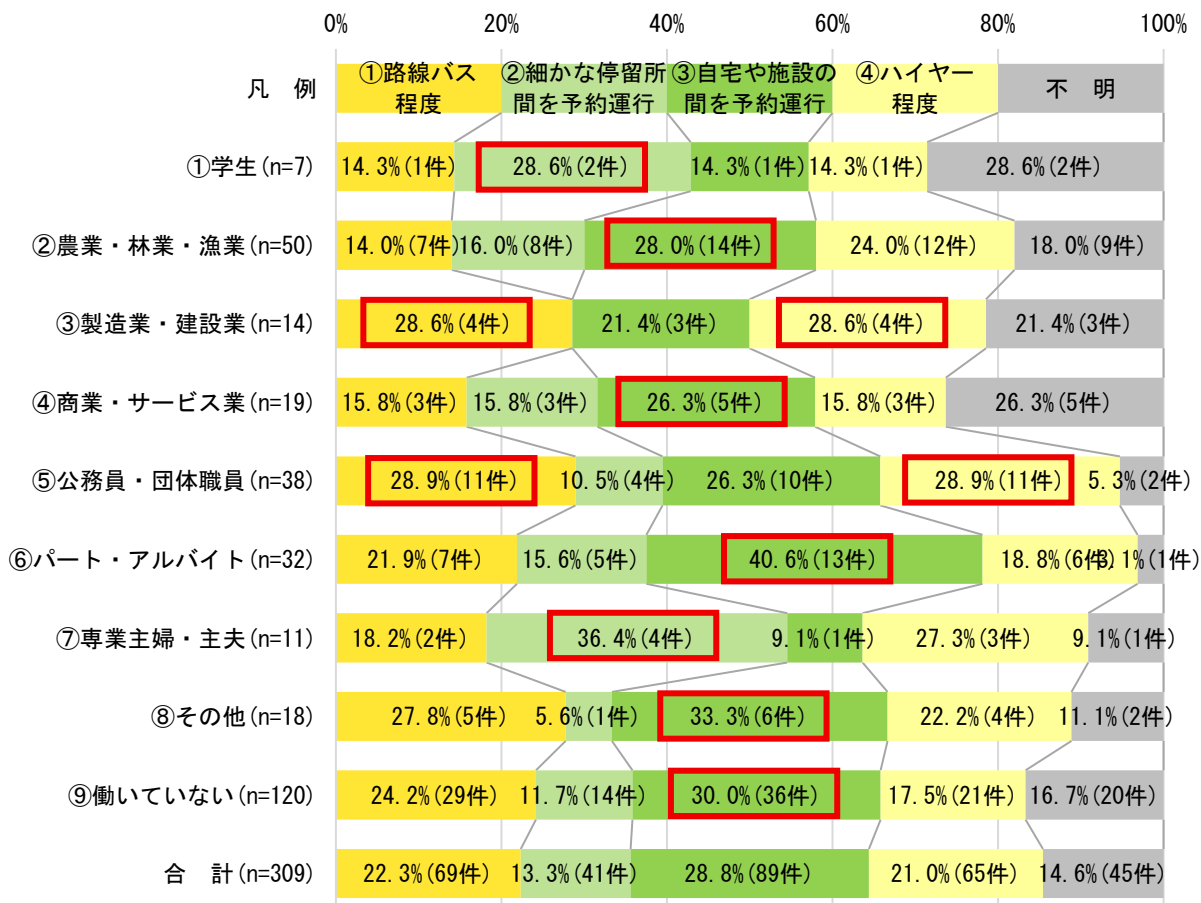
公共交通サービス水準を性別に見ると、男女とも概ね全体と同様の傾向となっています。



図表 2-42 自家用車に頼らない生活を送る場合の公共交通サービス水準（性別）

【職業別】

公共交通サービス水準を職業別に見ると、「③自宅や施設の間を予約運行」が「②農業・林業・漁業」、「④商業・サービス業」、「⑥パート・アルバイト」、「⑧その他」及び「⑨働いていない」が最も多くなっています。また「①路線バス程度」と「④ハイヤー程度」は「③製造業・建設業」と「⑤公務員・団体職員」、「②細かな停留所間を予約運行」は「①学生」が最も多くなっています。



図表 2-43 自家用車に頼らない生活を送る場合の公共交通サービス水準（職業別）

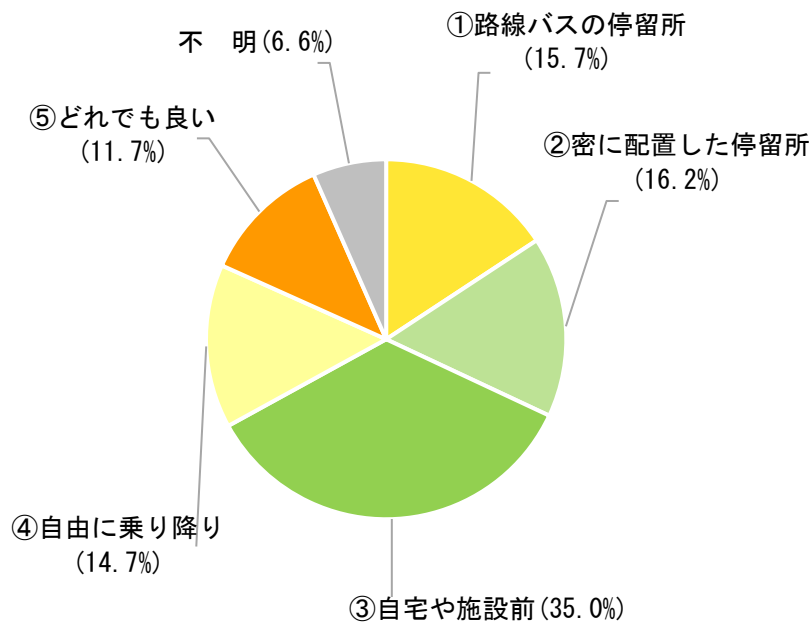
(2) 望まれる公共交通の内容 (Q12-1)

①乗り降りする場所

望まれる公共交通の乗り降りする場所は「③自宅や施設前」が35.0%と最も多く、次いで「②密に配置した停留所」が16.2%、「①路線バスの停留所」が15.7%の順となっています。

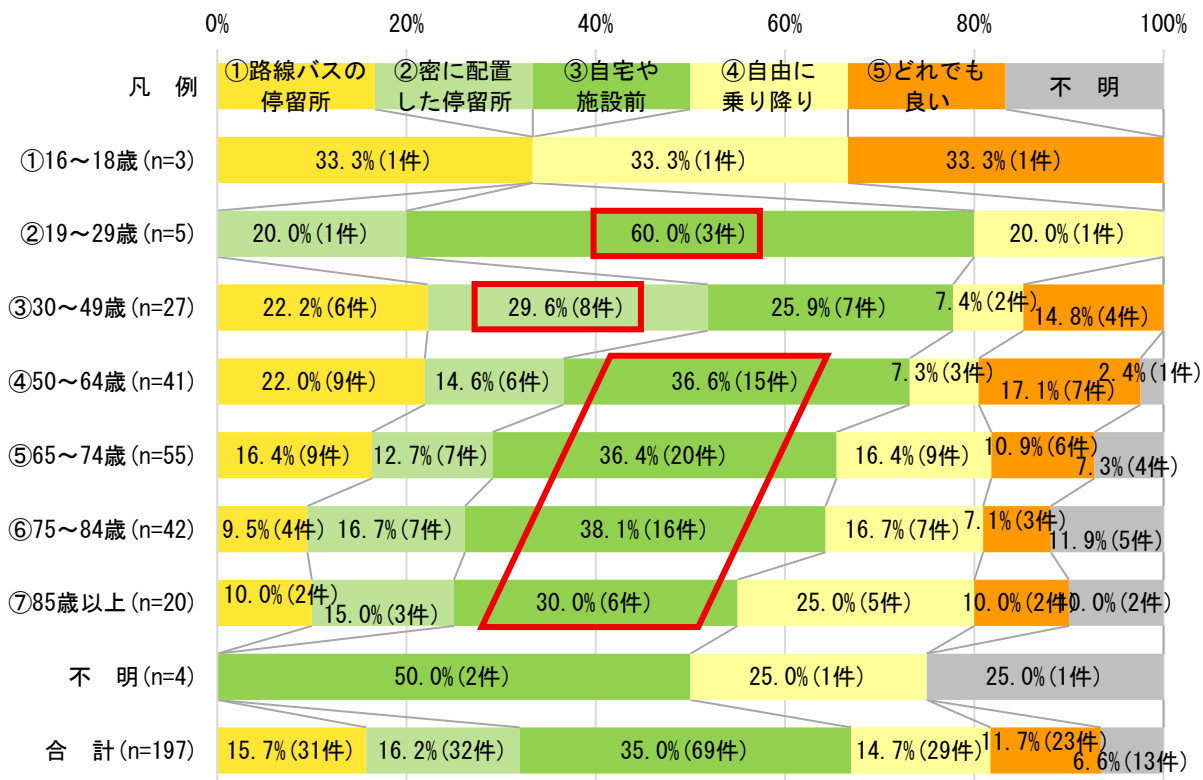
図表 2-44 望まれる公共交通の乗り降りする場所

項目	運賃イメージ	件数
①路線バスの停留所(300m以内)	200円前後	31
②密に配置した停留所(150m以内)	300円前後	32
③自宅と病院・スーパーなどの公共・公益施設の前	500円前後	69
④乗りたい所から降りたい所まで	ハイヤー運賃	29
⑤どれでもかまわない	—	23
不明	—	13
小計		197



【年齢別】

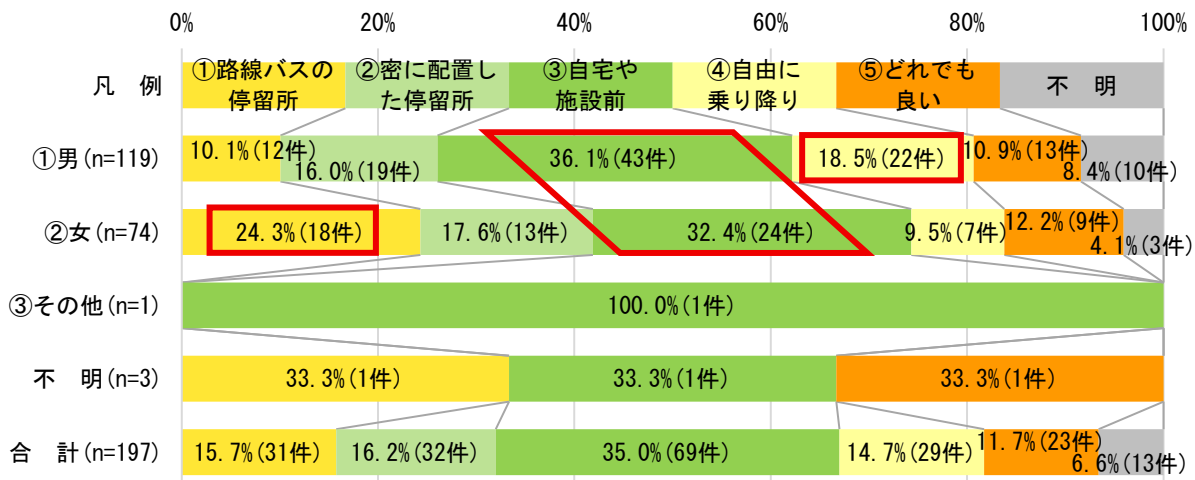
望まれる公共交通の乗り降りする場所を年齢別に見ると、「③自宅や施設前」が「②19～29歳」と「④50～64歳」から「⑦85歳以上」の年齢で最も多くなっています。また「②密に配置した停留所」は「③30～49歳」が最も多くなっています。



図表 2-45 望まれる公共交通の乗り降りする場所（年齢別）

【性別】

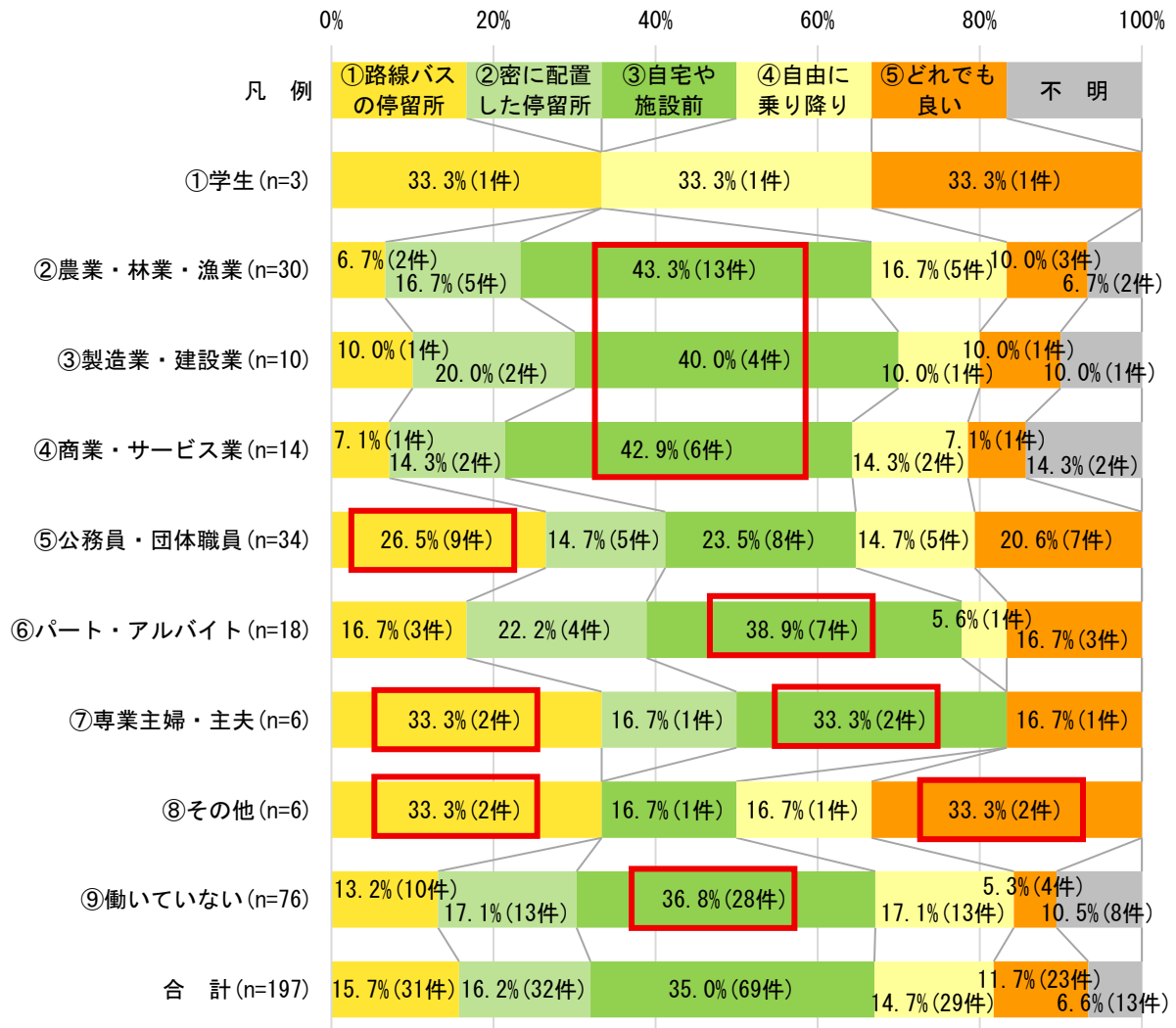
望まれる公共交通の乗り降りする場所を性別に見ると、男女とも「③自宅や施設前」が最も多くなっていますが、「①男性」は「④自由に乗り降り」、「②女性」は「①路線バスの停留所」が多くなっています。



図表 2-46 望まれる公共交通の乗り降りする場所（性別）

【職業別】

望まれる公共交通の乗り降りする場所を職業別に見ると、「③自宅や施設前」は「②農業・林業・漁業」、「③製造業・建設業」、「④商業・サービス業」、「⑥パート・アルバイト」、「⑦専業主婦・主夫」及び「⑨働いていない」が最も多くなっています。また「①路線バス程度の停留所」は「⑤公務員・団体職員」、「⑦専業主婦・主夫」及び「⑧その他」、「⑤どれでも良い」は「⑧その他」が最も多くなっています。



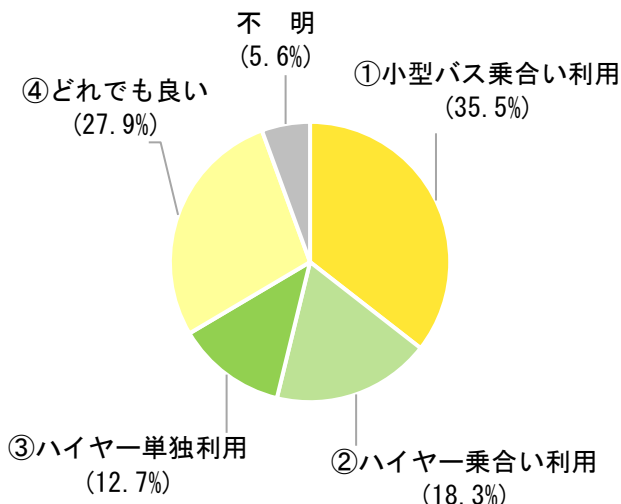
図表 2-47 望まれる公共交通の乗り降りする場所（職業別）

②車両の大きさと他人との乗車

望まれる公共交通の車両の大きさと他人との乗車は「①小型バス乗合い利用」が 35.5%と最も多く、次いで「④どれでも良い」が 27.9%、「②ハイヤー乗合い利用」が 18.3%の順となっています。

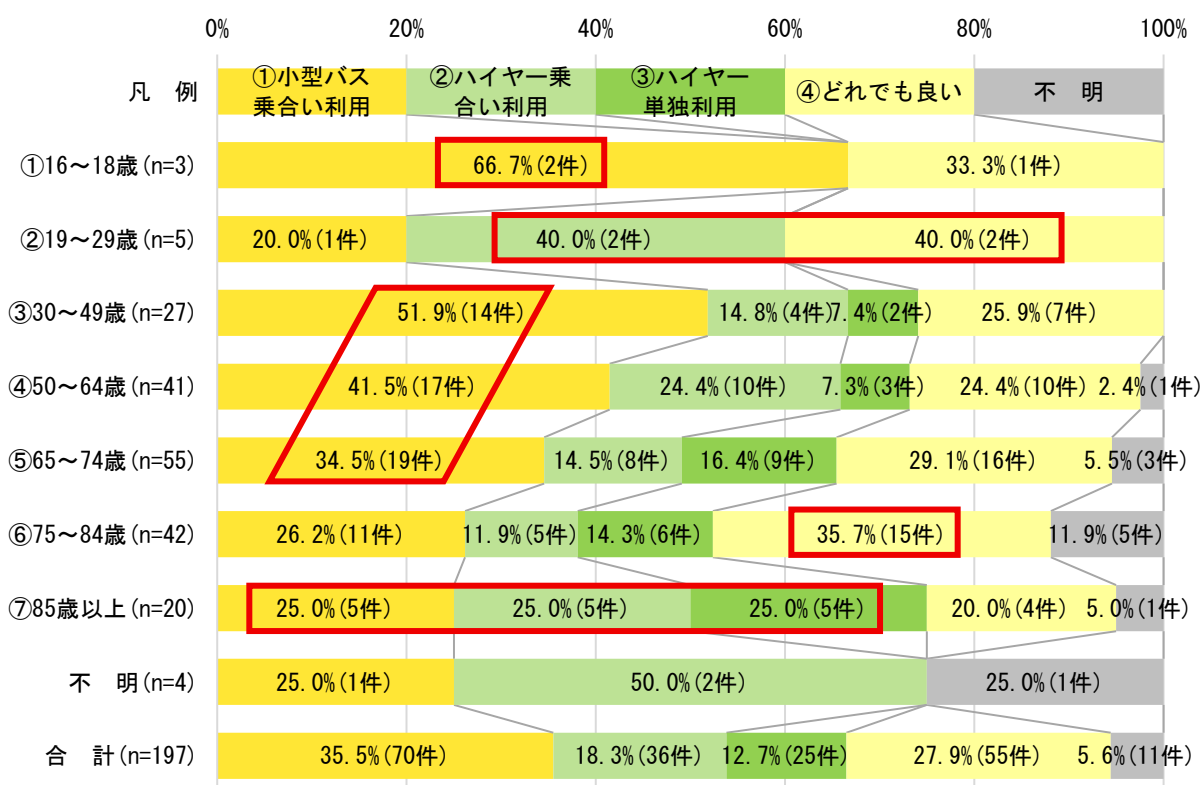
図表 2-48 望まれる公共交通の車両の大きさと他人との乗車

項目	運賃イメージ	件数
①小型のバス等(15人以下で乗り合い)	500円前後	70
②ハイヤーを他人と乗り合う(5人以下)		36
③ハイヤー(1人や家族で乗車)	ハイヤー運賃	25
④どれでもかまわない	-	55
不明	-	11
小計		197



【年齢別】

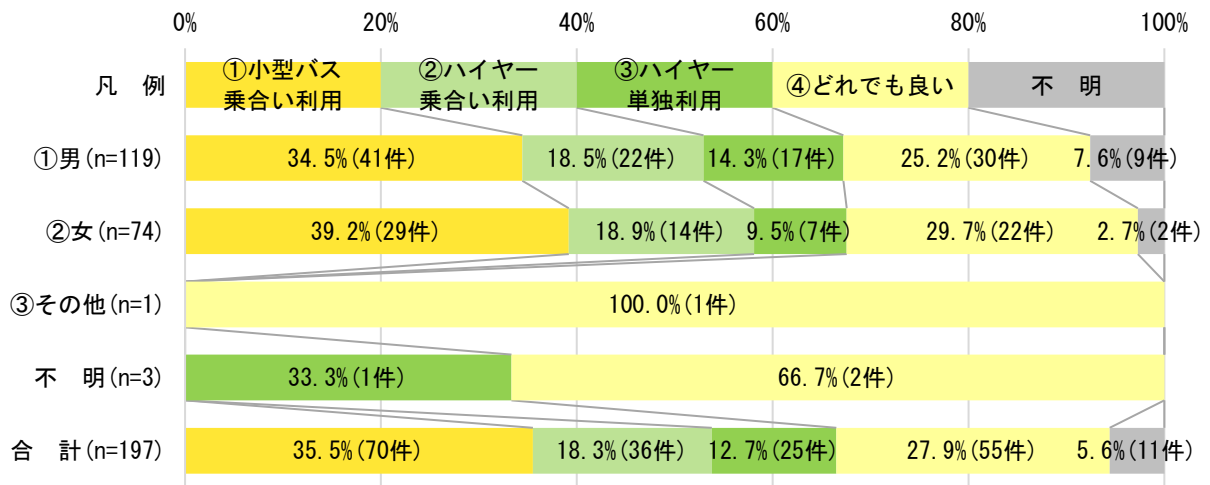
望まれる公共交通の車両の大きさと他人との乗車を年齢別に見ると、「①小型バス乗合い利用」は「①16～18歳」及び「③30～49歳」から「⑤65～74歳」の年齢で最も多くなっています。また「②19～29歳」は「②ハイヤー乗合い利用」と「④どれでも良い」、「⑦85歳以上」は「①小型バス乗合い利用」から「④どれでも良い」の全選択肢で回答が同率となっています。



図表 2-49 望まれる公共交通の車両の大きさと他人との乗車 (年齢別)

【性別】

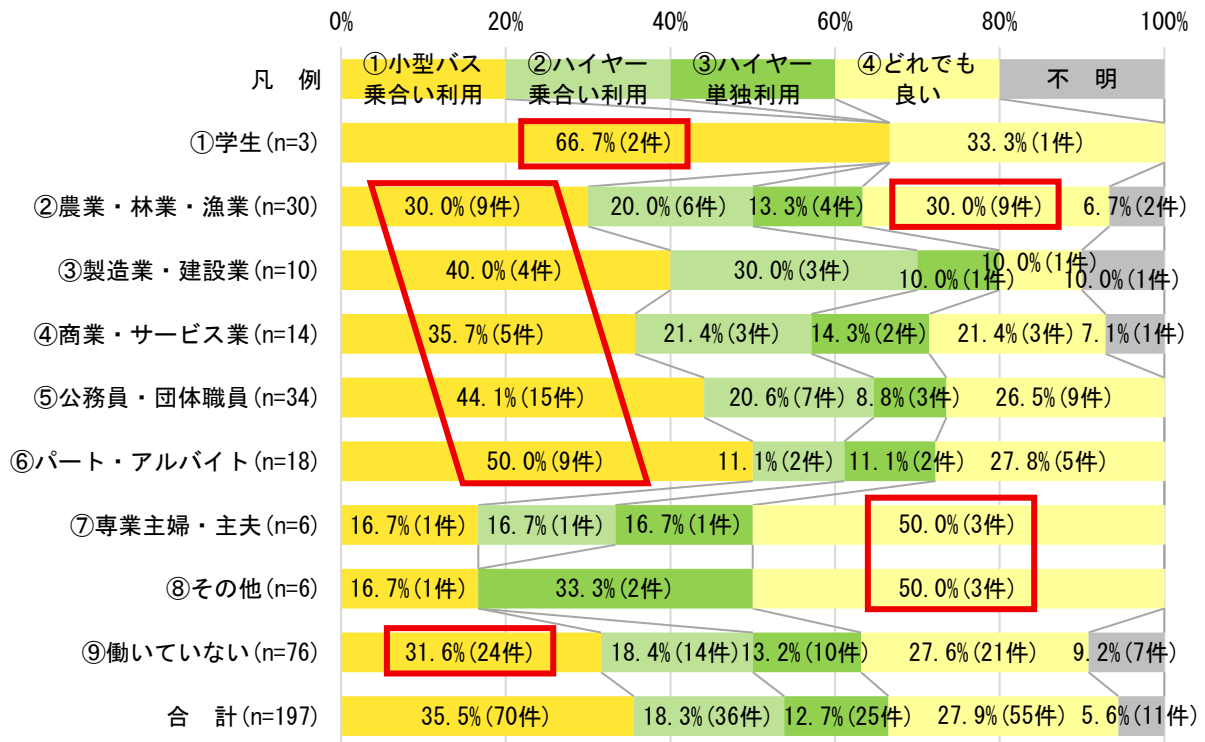
望まれる公共交通の車両の大きさや他人との乗車を性別に見ると、男女とも概ね全体と同様の傾向となっています。



図表 2-50 望まれる公共交通の車両の大きさや他人との乗車（性別）

【職業別】

望まれる公共交通の車両の大きさや他人との乗車を職業別に見ると、「①小型バスの乗合い利用」は「①学生」から「⑥パート・アルバイト」の職業と「⑨働いていない」が最も多くなっています。また「④どれでも良い」は「②農業・林業・漁業」と「⑦専業主婦・主夫」及び「⑧その他」で最も多くなっています。



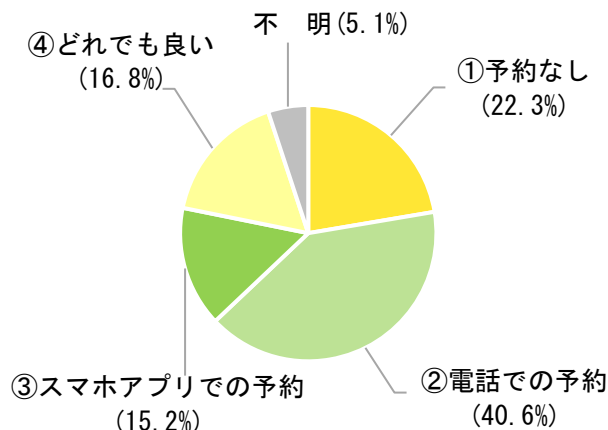
図表 2-51 望まれる公共交通の車両の大きさや他人との乗車（職業別）

③乗車（利用）方法

望まれる公共交通の乗車(利用)方法は「②電話での予約」が 40.6%と最も多く、次いで「①予約なし」が 22.3%、「④どれでも良い」が 16.8%の順となっています。

図表 2-52 望まれる公共交通の乗車（利用）方法

項目	乗車 (利用方法)	件数
①予約なし(停留所で乗車・降車)	停留所で乗車・降車	44
②電話での予約	自宅前 や目的 地の前	80
③スマホアプリでの予約		30
④どれでもかまわない		33
不明		10
小計		197



【年齢別】

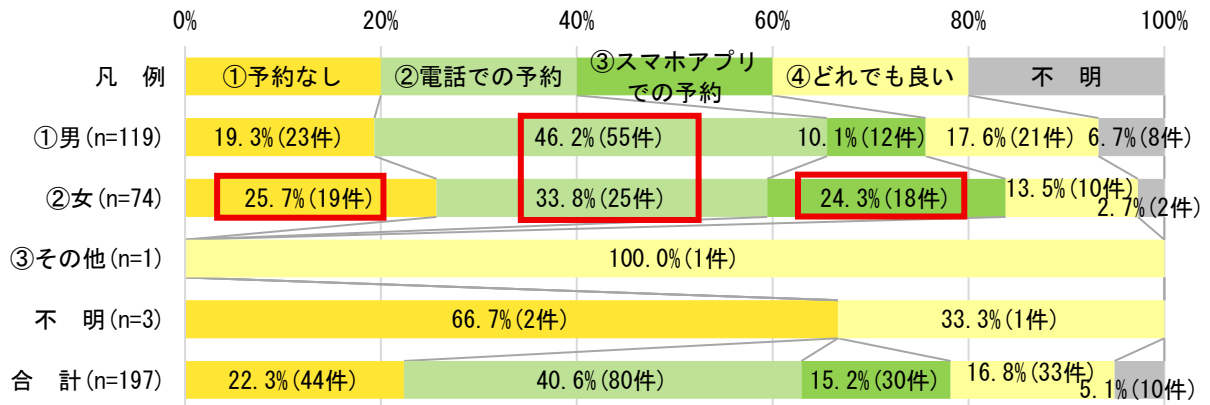
望まれる公共交通の乗車(利用)方法を年齢別に見ると、「②電話での予約」は「④50～64歳」から「⑦85歳以上」の年齢、「③スマホアプリでの予約」は「②19～29歳」と「③30～49歳」が最も多くなっています。



図表 2-53 望まれる公共交通の乗車（利用）方法（年齢別）

【性別】

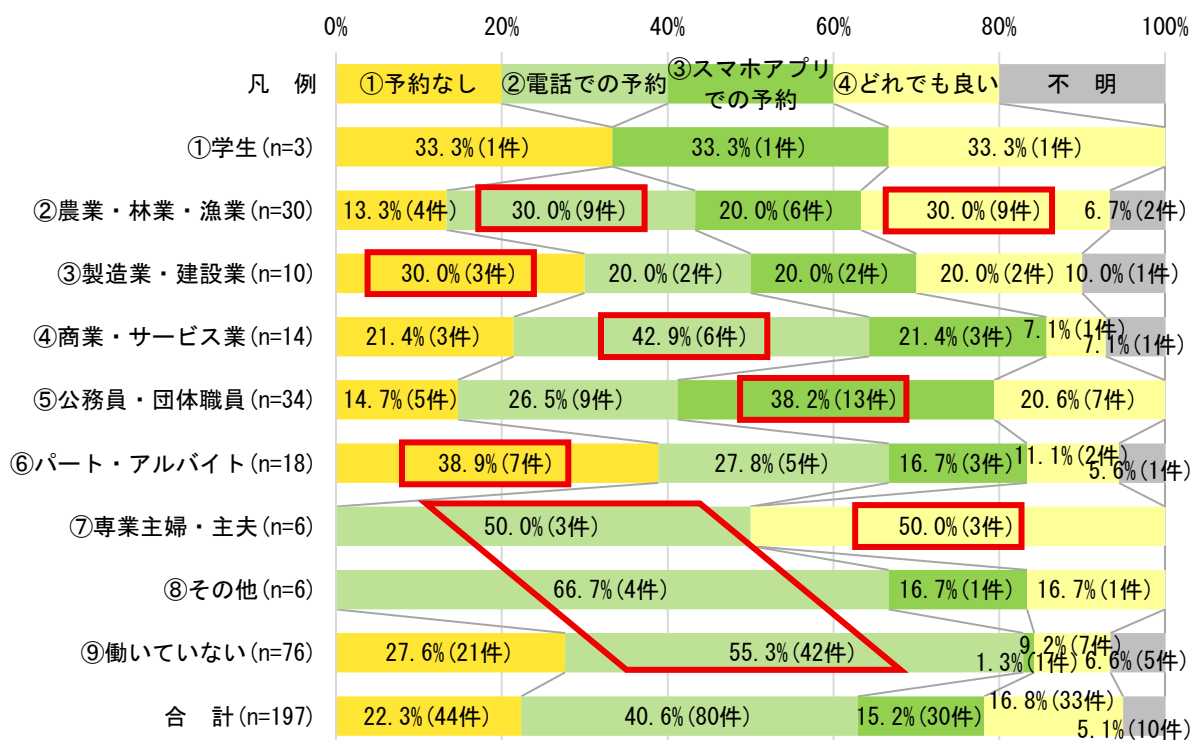
望まれる公共交通の乗車(利用)方法を性別に見ると、男女とも「②電話での予約」が多いものの、「②女性」は「①予約なし」と「③スマホアプリでの予約」が「①男性」よりも多くなっています。



図表 2-54 望まれる公共交通の乗車(利用)方法(性別)

【職業別】

望まれる公共交通の乗車(利用)方法を職業別に見ると、「②電話での予約」は「②農業・林業・漁業」と「④商業・サービス業」及び「⑦専業主婦・主夫」から「⑨働いていない」の職業が最も多くなっています。また「①予約なし」は「③製造業・建設業」と「⑥パート・アルバイト」、「③スマホアプリでの予約」は「⑤公務員・団体職員」、「④どれでも良い」は「②農業・林業・漁業」と「⑦専業主婦・主夫」が最も多くなっています。



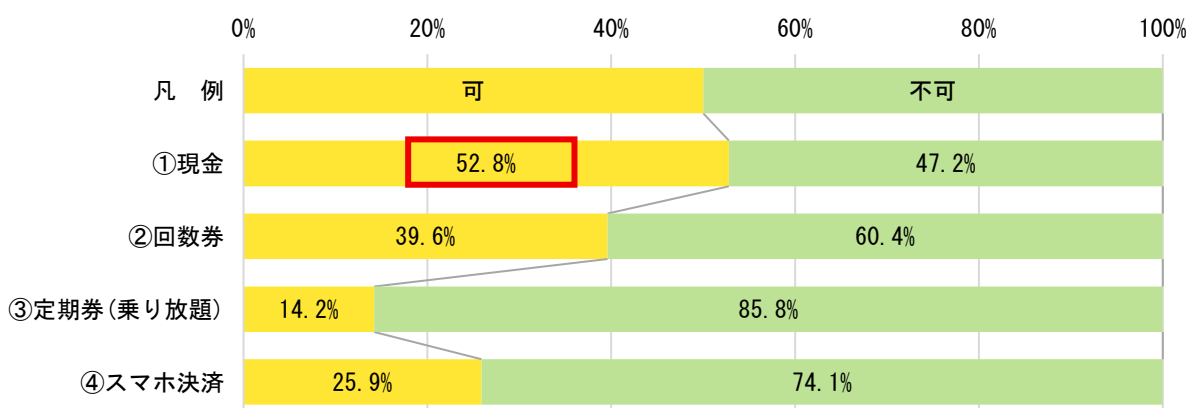
図表 2-55 望まれる公共交通の乗車(利用)方法(職業別)

④決済方法

望まれる公共交通の決済方法は「①現金」のみ「可」が52.8%と半数を超えています。

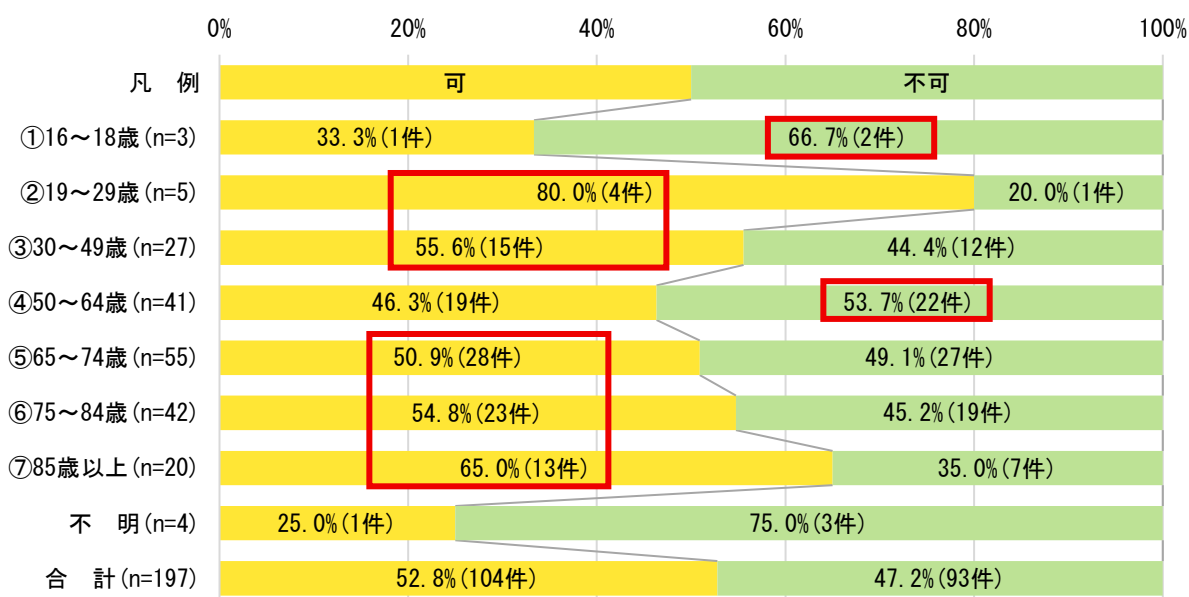
図表 2-56 望まれる公共交通の決済方法

項目	可	不可	合計
①現金	104	93	197
②回数券	78	119	197
③定期券(乗り放題)	28	169	197
④スマホ決済	51	146	197



【現金決済での年齢別の可否】

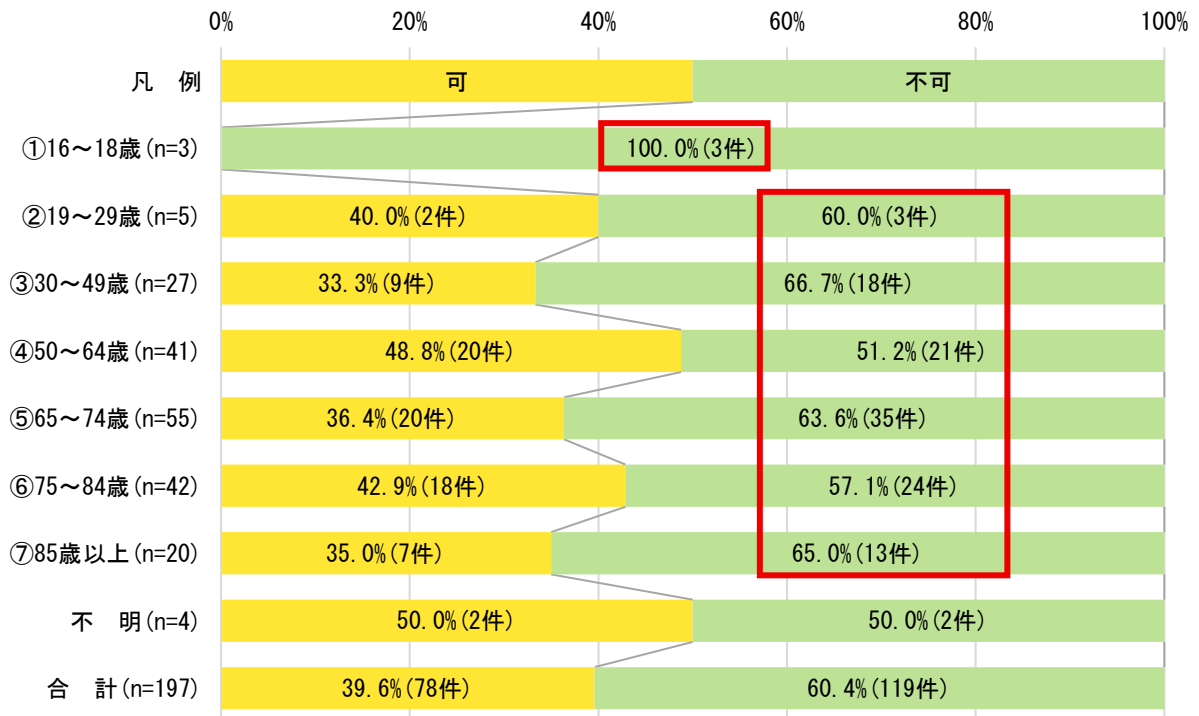
現金決済での年齢別の可否は、「②19～29歳」と「③30～49歳」、「⑤65～74歳」から「⑦85歳以上」の年齢で「可」が多くなっています。



図表 2-57 現金決済での年齢別の可否

【回数券決済での年齢別の可否】

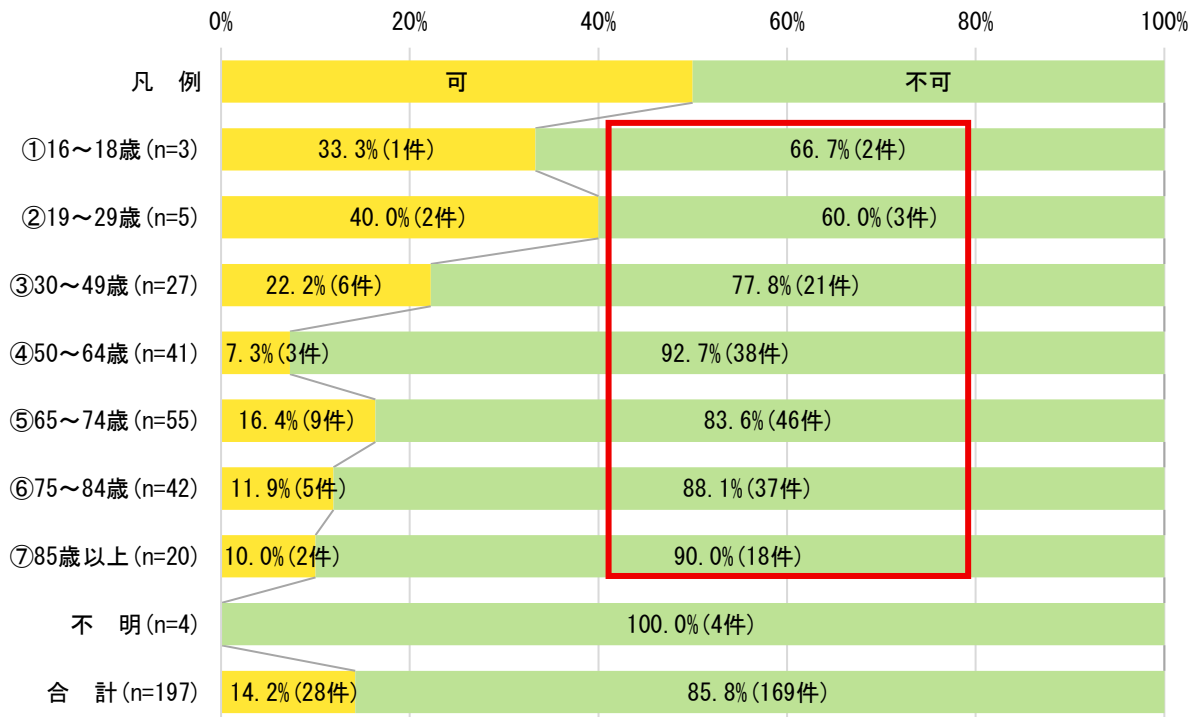
回数券決済での年齢別の可否は、全ての年齢で「不可」が多くなっています。



図表 2-58 回数券決済での年齢別の可否

【定期券決済での年齢別の可否】

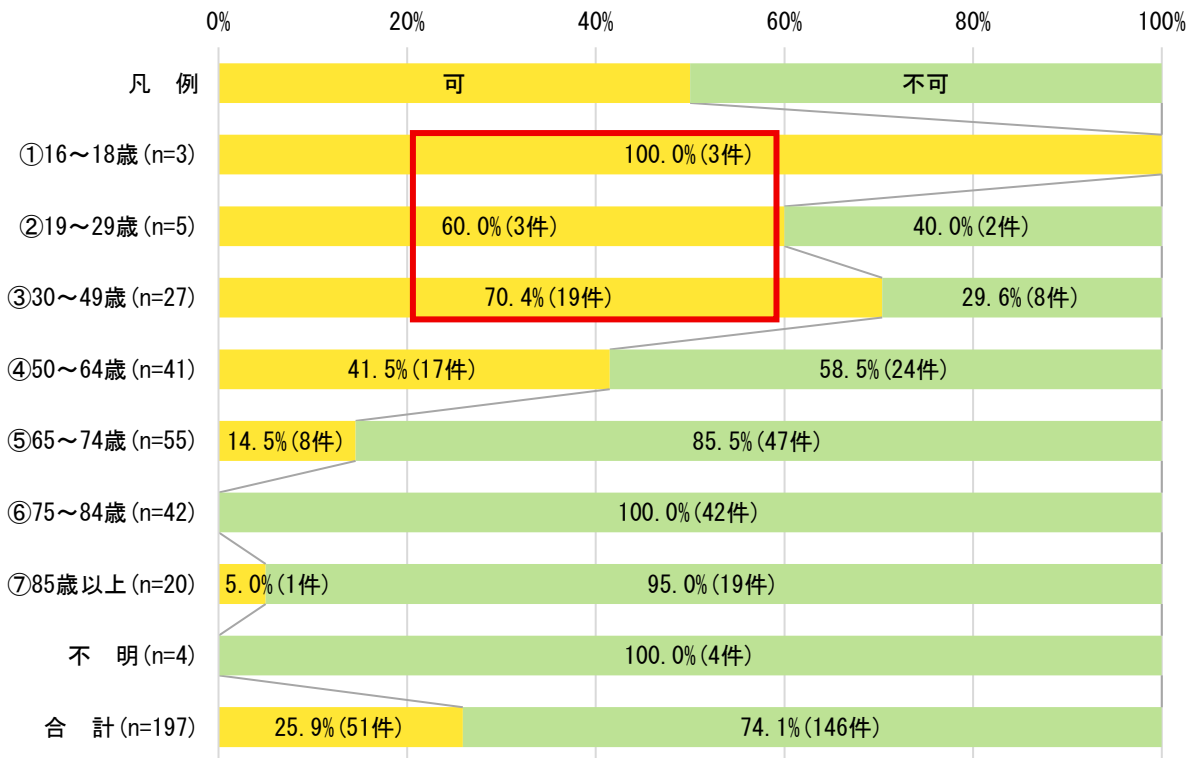
定期券決済での年齢別の可否は、全ての年齢で「不可」が多くなっています。



図表 2-59 定期券決済での年齢別の可否

【スマホ決済での年齢別の可否】

スマホ決済での年齢別の可否は、「①16～18歳」から「③30～49歳」の年齢で「可」が多くなっています。



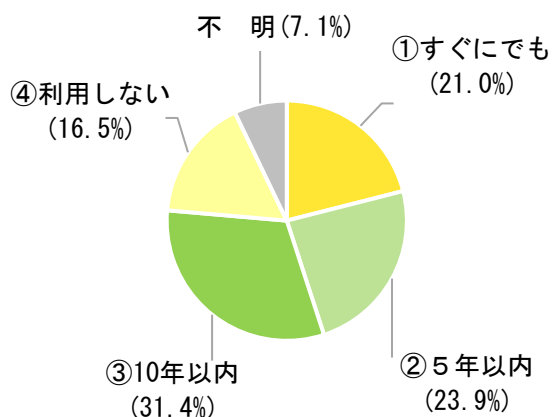
図表 2-60 スマホ決済での年齢別の可否

(3) 望まれる公共交通の利用時期 (Q12-2)

望まれる公共交通の利用時期は「③10年以内」が31.4%と最も多く、次いで「②5年以内」が23.9%、「①すぐにでも」が21.0%の順となっています。

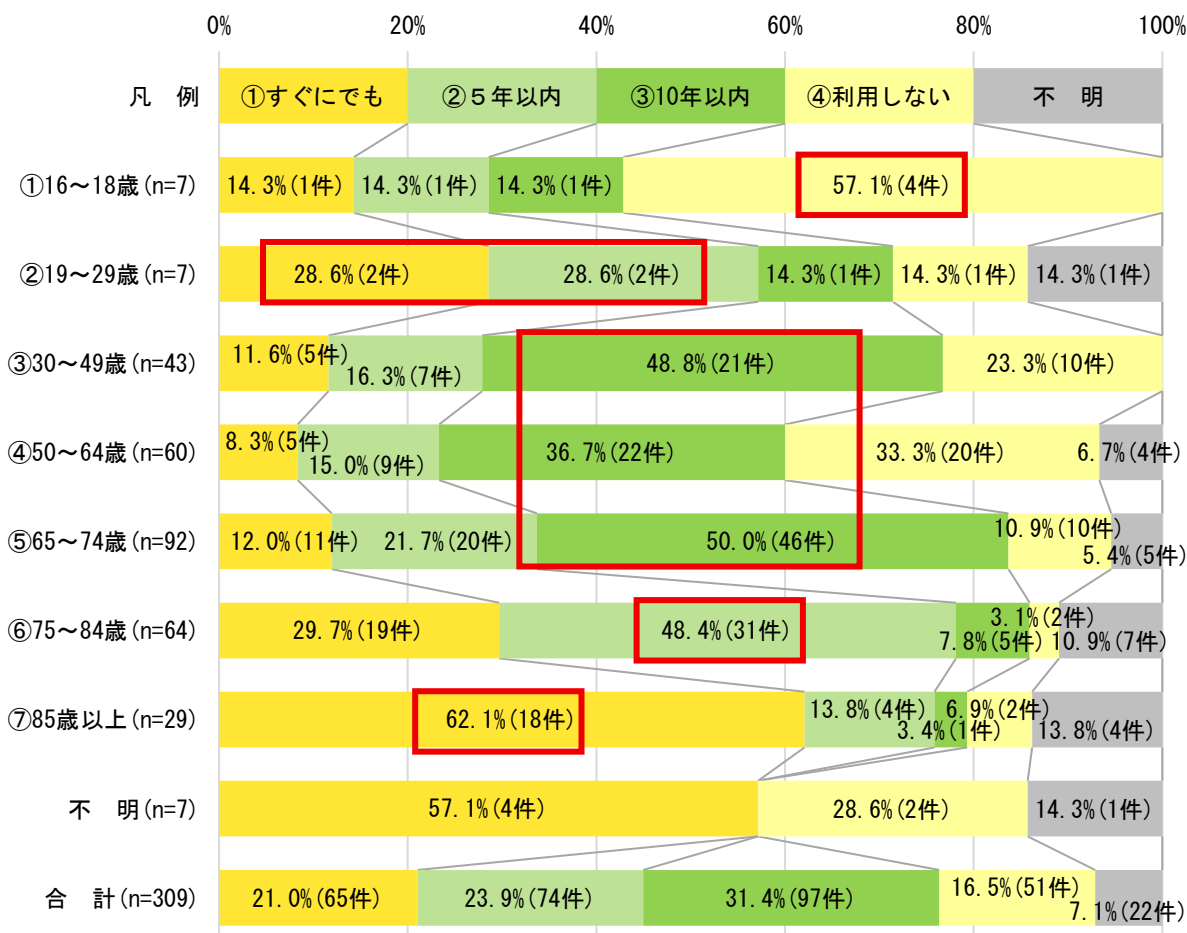
図表 2-61 望まれる公共交通の利用時期

項目	件数
①すぐにでも利用したい	65
②5年以内には利用する	74
③10年以内には利用する	97
④利用しない	51
不明	22
小計	309



【年齢別】

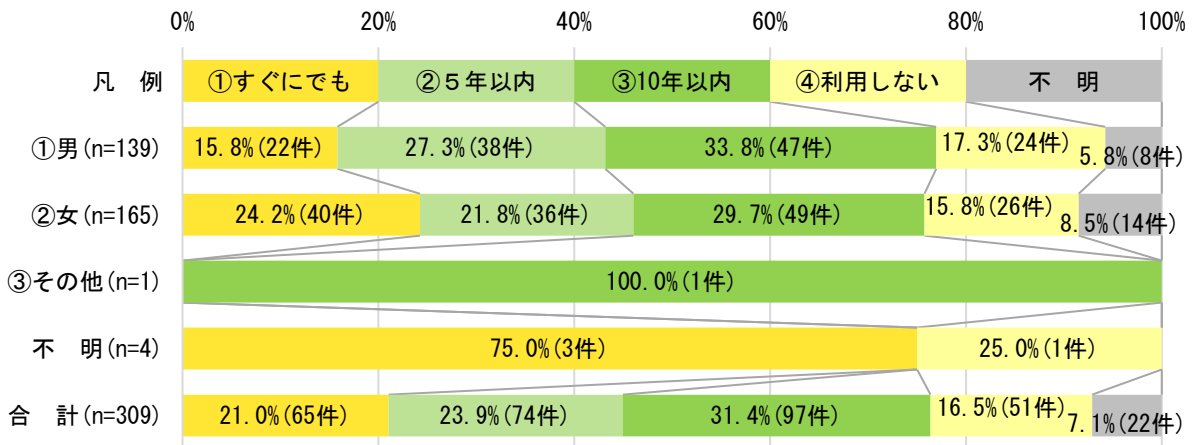
望まれる公共交通の利用時期を年齢別に見ると、「①すぐにでも」は「②19～29歳」と「⑦85歳以上」、「②5年以内」は「②19～29歳」と「⑥75～84歳」、「③10年以内」は「③30～49歳」から「⑤65～74歳」の年齢及び「④利用しない」は「①16～18歳」が最も多くなっています。



図表 2-62 望まれる公共交通の利用時期 (年齢別)

【性別】

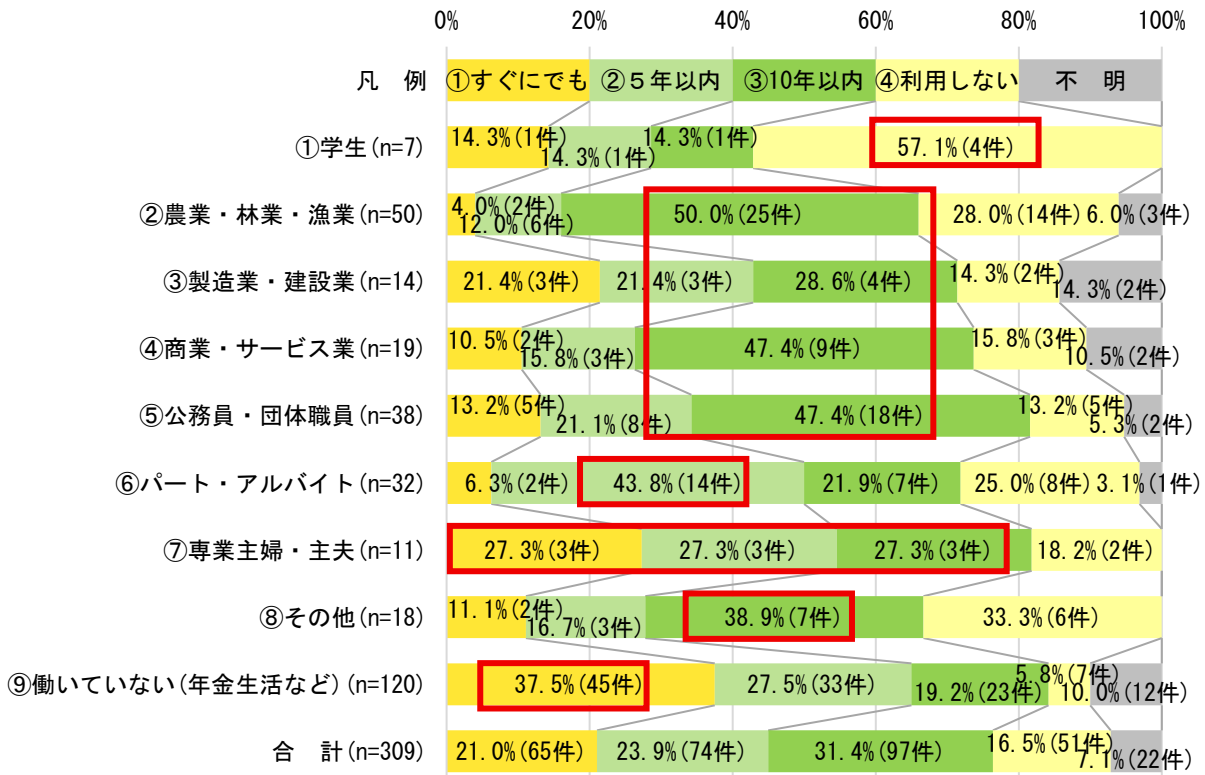
望まれる公共交通の利用時期を性別に見ると、男女とも概ね全体と同様の傾向となっています。



図表 2-63 望まれる公共交通の利用時期（性別）

【職業別】

望まれる公共交通の利用時期を職業別に見ると、「①すぐにでも」は「⑦専業主婦・主夫」と「⑨働いていない」、「②5年以内」は「⑥パート・アルバイト」と「⑦専業主婦・主夫」、「③10年以内」は「②農業・林業・漁業」から「⑤公務員・団体職員」の職業及び「⑦専業主婦・主夫」と「⑧その他」で最も多くなっています。



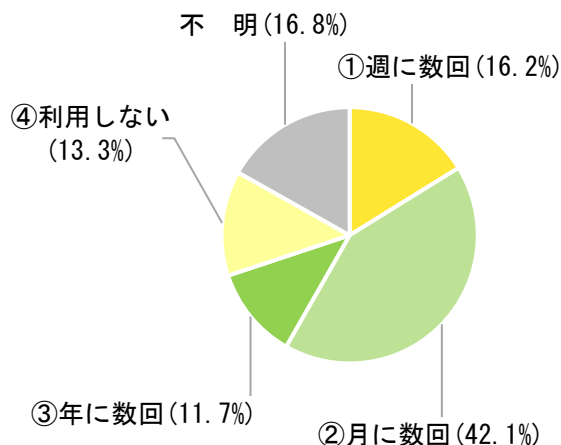
図表 2-64 望まれる公共交通の利用時期（職業別）

(4) 望まれる公共交通の利用頻度 (Q12-3)

望まれる公共交通の利用頻度は「②月に数回」が42.1%と最も多く、次いで「①週に数回」が16.2%、「③年に数回」が11.7%の順となっています。

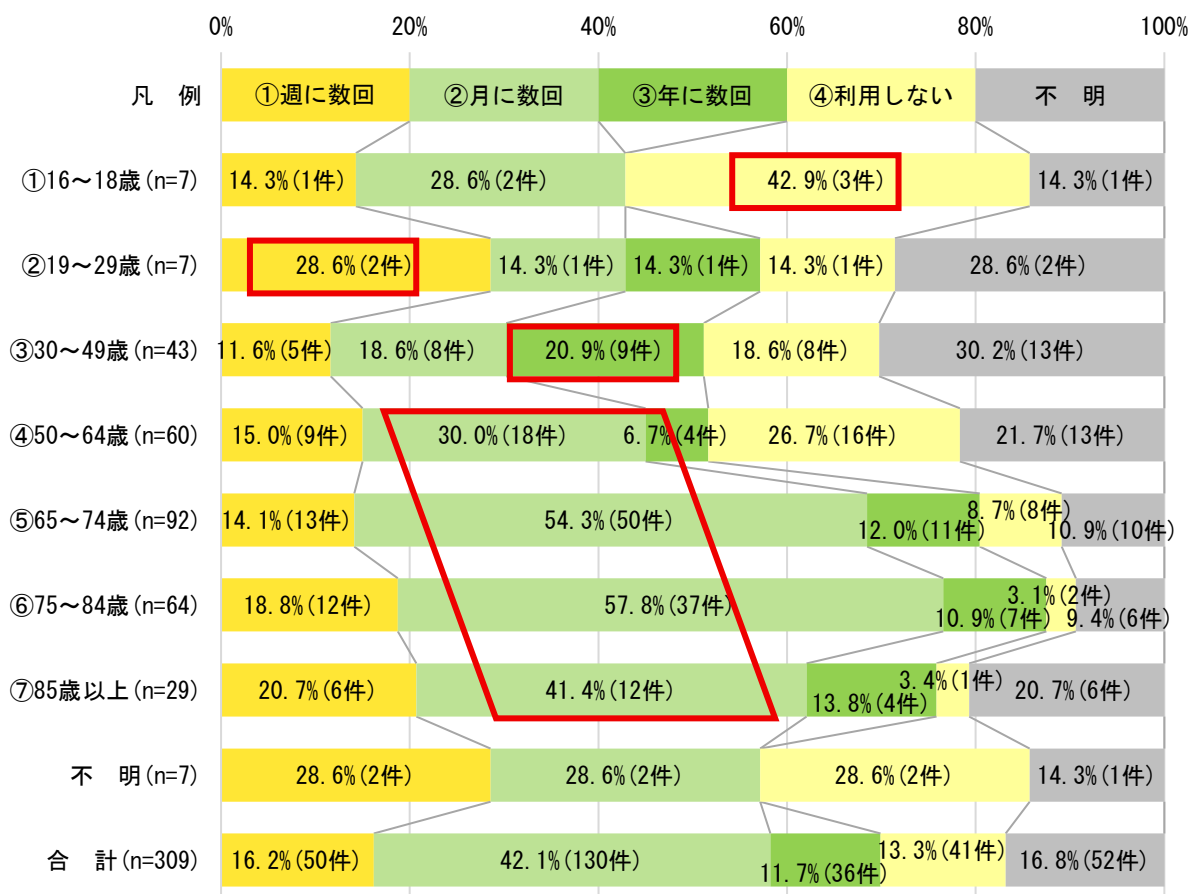
図表 2-65 望まれる公共交通の利用頻度

項目	件数
①週に数回	50
②月に数回	130
③年に数回	36
④利用しない	41
不明	52
小計	309



【年齢別】

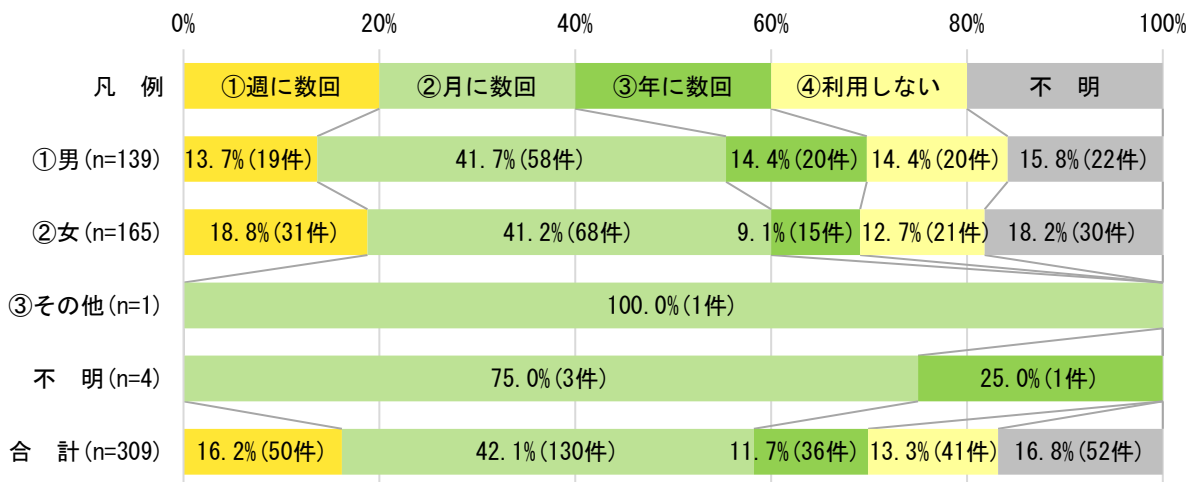
望まれる公共交通の利用頻度を年齢別に見ると、「①週に数回」は「②19～29歳」、「②月に数回」は「④50～64歳」から「⑦85歳以上」の年齢、「③年に数回」は「③30～49歳」及び「④利用しない」は「①16～18歳」で最も多くなっています。



図表 2-66 望まれる公共交通の利用頻度 (年齢別)

【性別】

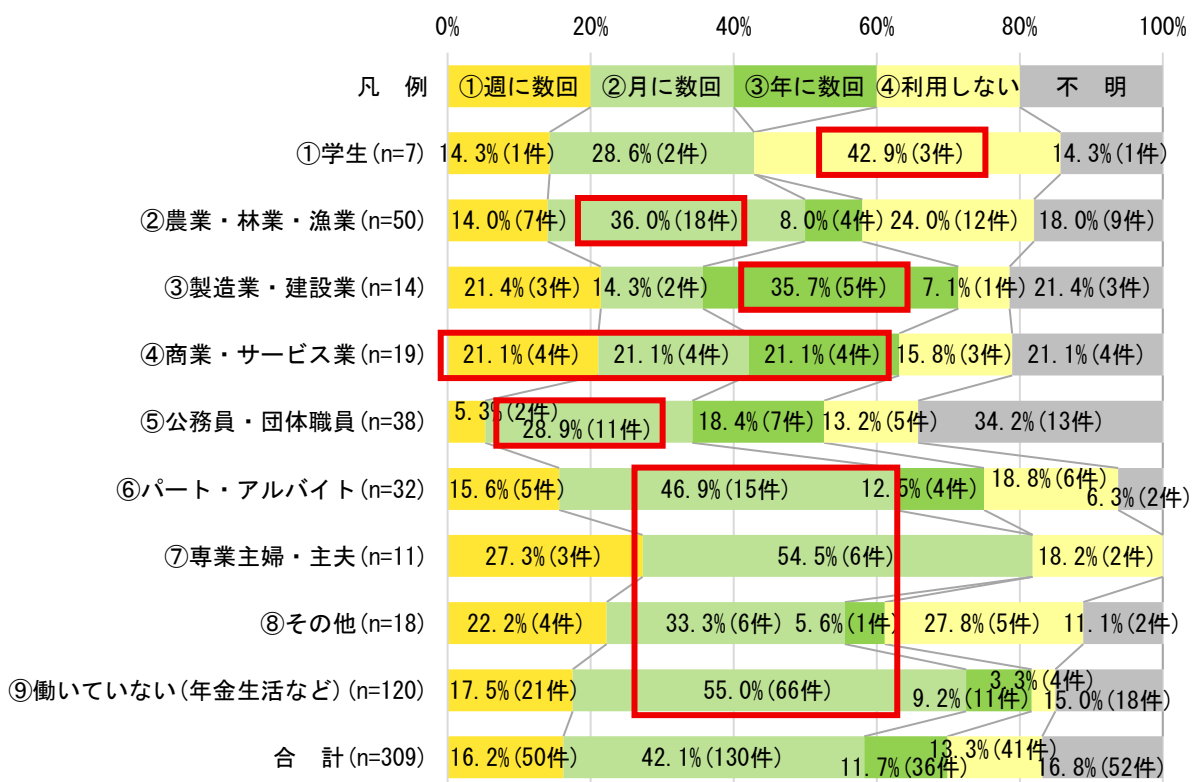
望まれる公共交通の利用頻度を性別に見ると、男女とも全体と同様の傾向となっています。



図表 2-67 望まれる公共交通の利用頻度（性別）

【職業別】

望まれる公共交通の利用頻度を職業別に見ると、「①週に数回」は「④商業・サービス業」、「②月に数回」は「②農業・林業・漁業」と「④商業・サービス業」から「⑨働いていない」の職業が最も多くなっています。また「③年に数回」は「③製造業・建設業」と「④商業・サービス業」、「④利用しない」は「①学生」が最も多くなっています。



図表 2-68 望まれる公共交通の利用頻度（職業別）

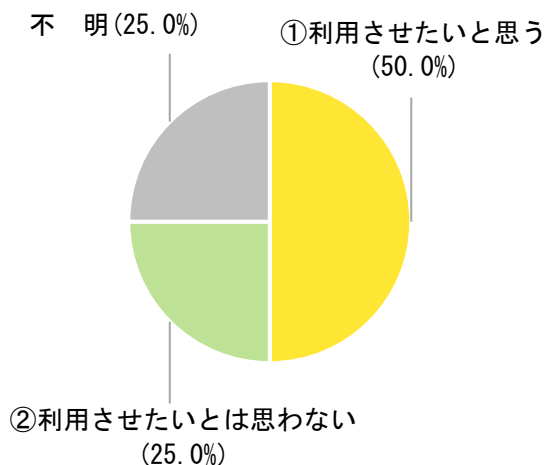
(5) 中学生以下の子どもの利用 (Q 1 2 - 4)

①中学生以下の子どもの利用可否 (Q 1 2 - 4 - 1)

望まれる公共交通について中学生以下の子どもの利用可否は、「①利用させたいと思う」が50.0%と「②利用させたいとは思わない」の25.0%を上回っています。

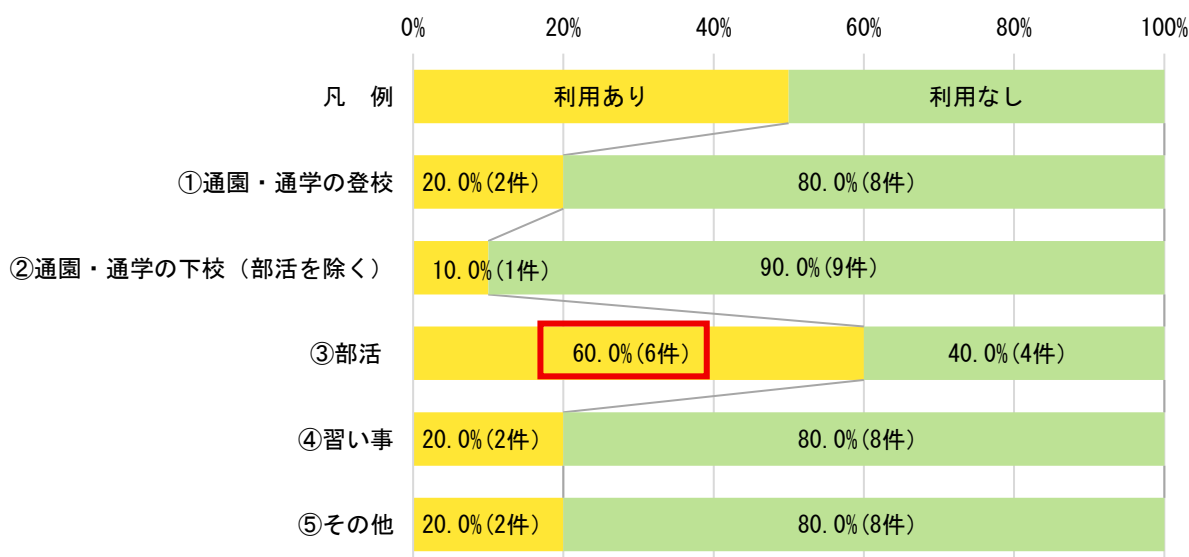
図表 2-69 望まれる公共交通について中学生以下の子どもの利用可否

項目	件数
①利用させたいと思う	10
②利用させたいとは思わない	5
不明	5
小計	20



②中学生以下の子どもの利用目的 (Q 1 2 - 4 - 2)

望まれる公共交通について中学生以下の子どもの利用目的は「③部活」が60.0%と最も多く、他の目的は10.0%か20.0%の利用に止まります。



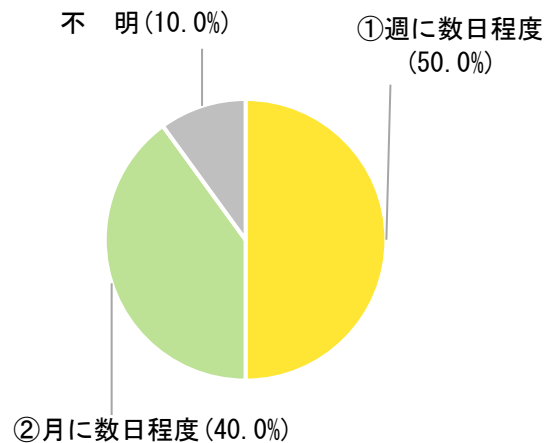
図表 2-70 望まれる公共交通について中学生以下の子どもの利用可否

③中学生以下の子どもの利用頻度（Q 1 2 - 4 - 3）

望まれる公共交通について中学生以下の子どもの利用頻度は、「①週に数日程度」が50.0%と「②月に数日程度」の40.0%を上回っています。

図表 2-71 望まれる公共交通について中学生以下の子どもの利用頻度

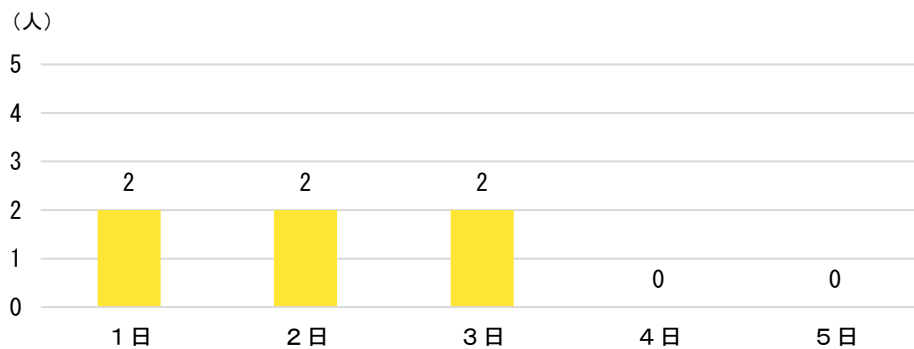
項目	件数
①週に数日程度	5
②月に数日程度	4
③年に数日程度	0
不明	1
小計	10



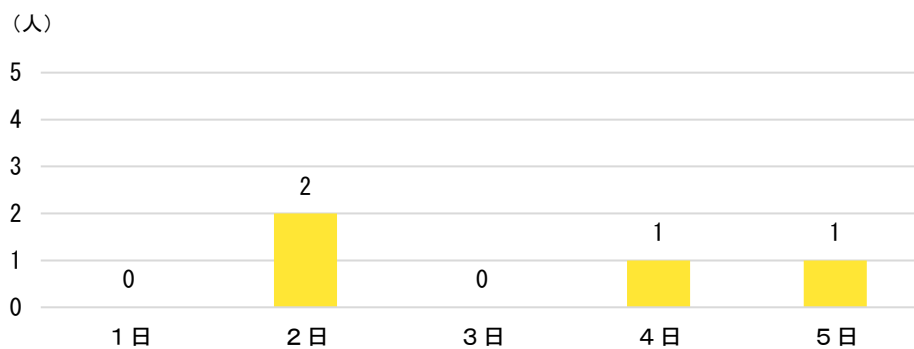
【週と月の利用日数】

「週に数日程度」の利用に数は「1日」から「3日」が2件ずつとなっています。

「月に数日程度」の利用に数は「2日」が2件、「4日」と「5日」が1件となっています。



図表 2-72 週の利用日数



図表 2-73 月の利用日数

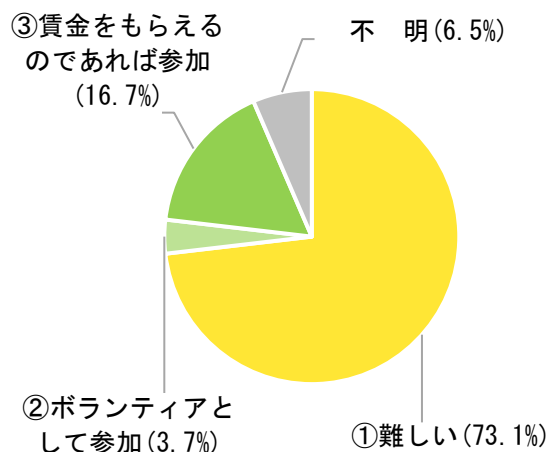
(6) 町民自らが支える公共交通

町民自らが支える公共交通への住民ドライバーとしての参加は「①難しい」が73.1%と最も多く、次いで「③賃金をもらえるのであれば参加」が16.7%、「②ボランティアとして参加」は3.7%の順となっています。

「③賃金をもらえるのであれば参加」と「②ボランティアとして参加」の回答者数は44人となっています。

図表 2-74 町民自らが支える公共交通への住民ドライバーとしての参加

項目	件数
①参加・協力は難しい	158
②ボランティアとして参加可能	8
③賃金をもらえるのであれば参加可能	36
不明	14
小計	216

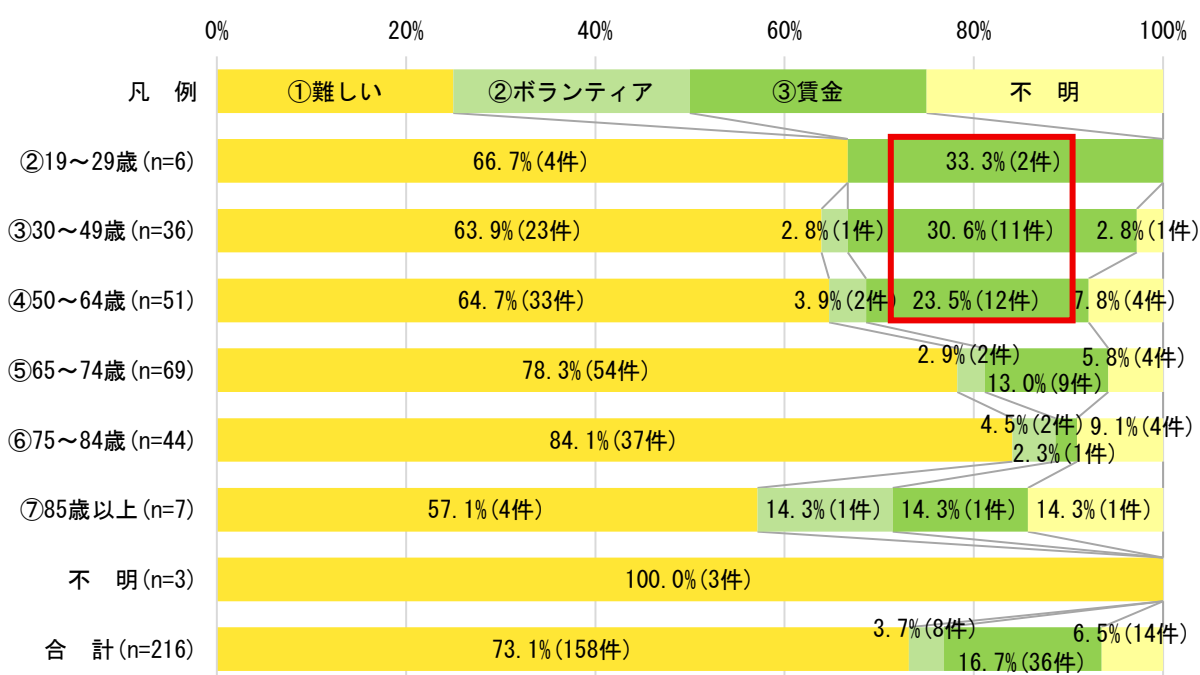


※③:例えば1,000円/時、8,000円/日(8時間就業)など

【年齢別】

住民ドライバーとしての参加を年齢別に見ると、全年齢とも「①難しい」が最も多いものの、「②19～29歳」から「④50～64歳」は「③賃金をもらえるのであれば参加」が3割前後回答しています。

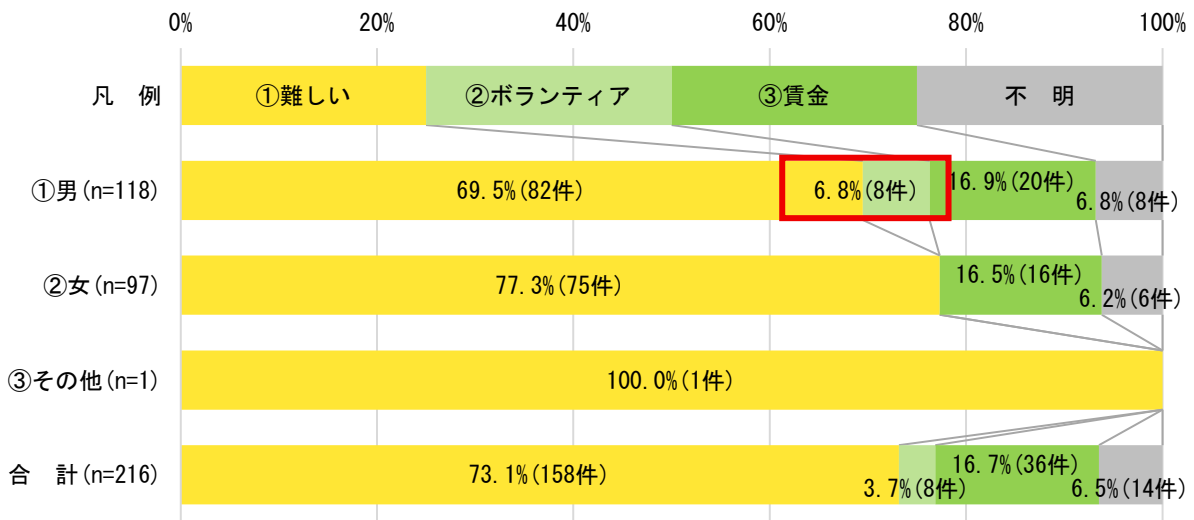
「②19～29歳」から「⑤65～74歳」の「②ボランティア」と「③賃金」の回答者数は39人となっています。



図表 2-75 町民自らが支える公共交通への住民ドライバーとしての参加 (年齢別)

【性別】

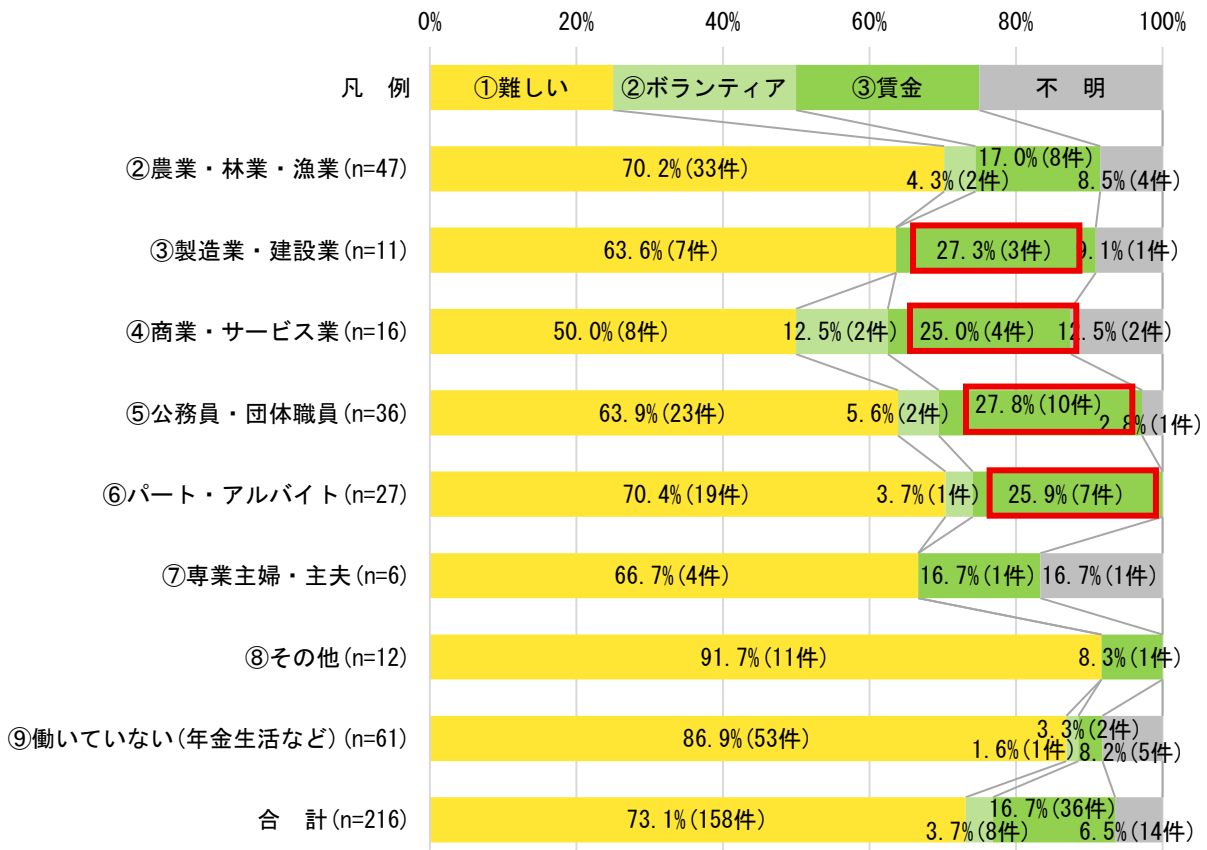
住民ドライバーとしての参加を年齢別に見ると、「①男性」で「②ボランティア」を数名回答しているほかは、男女とも概ね同様の傾向となっています。



図表 2-76 町民自らが支える公共交通への住民ドライバーとしての参加（性別）

【職業別】

住民ドライバーとしての参加を職業別に見ると、「③製造業・建設業」から「⑥パート・アルバイト」の職業で 30%弱が「③賃金」と回答しています。



図表 2-77 町民自らが支える公共交通への住民ドライバーとしての参加（職業別）

(7) その他の公共交通についての意見

○沿岸バス(10件)

【上平古丹別線と特急はぼろ号等の円滑な乗継】(6件)

- ・上平古丹別線と特急はぼろ号や特急あさひかわ号の接続が合うように運行時間を調整してほしい。(2件)
- ・月に2、3回ですが、上平古丹別線と特急はぼろ号をセットで利用する住民がいることをぜひわかっていただきたいです。
- ・上平古丹別線と特急はぼろ号や特急あさひかわ号の接続が合うようになると苫前商業高校の生徒が増えると思う。
- ・特急はぼろ号や特急あさひかわ号と接続できるように上平古丹別線を増便してほしい。
- ・特急はぼろ号の最終便と上平古丹別線の接続時間の間が開きすぎる。札幌発最終便発車時刻が18:00~18:30を希望します。

【その他】(4件)

- ・バスの便数を増便してほしい。(3件)
- ・沿岸バスの減便で通院が不便になっていくので、住民の足の確保に取り組んでほしい。
- ・特急あさひかわ号は1日1往復なので大変不便である。

○公共交通全般(9件)

【苫前と古丹別の直接アクセス】(3件)

- ・スポーツセンター、プール、とままえ温泉ふわっと、公民館、診療所、A マートなどが2地区に分散しているので、苫前と古丹別間の往来をしやすくすることで地域内消費につながればいいと思う。
- ・子どもを上平で待たせるのは不安なので、予約運行でいいので苫前と古丹別を結ぶ公共交通を運行してほしい。
- ・古丹別中学校が苫前中学校に統合したのに移動手段がなく不便。

【交通空白の解消】

- ・バス停まで2キロぐらい歩かなければならないので、高齢者は利用することができないと思う。

【その他】(5件)

- ・へき地患者輸送バスやにこにこタクシーと公共交通をうまく組み合わせて地域交通の充実を図ってほしい。
- ・年齢による交通事故を心配して免許を返納しましたが、現状の公共交通に満足している。
- ・車の運転ができなくなったら公共交通の利用を考えなければならない。
- ・全体的に公共交通の利便性が悪いので、事情が許されるなら転居したいと思うくらいで、公共交通の利便性が悪い地域は人口減少がさらに進むと思います。
- ・交通手段を確保するためには車両費や人件費がかかると思うが、町に住み続けられるように頑張ってください。

○にこにこタクシー(7件)

【運賃負担の軽減】(2件)

- ・にこにこタクシーの実費を400円から200円に値下げしてほしい。
- ・にこにこタクシーで道立羽幌病院に通院すると往復1,600円かかるので、年金生活者には痛い出費です。

<p>【制度に対する感謝】(2 件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・にこにこタクシーには大変助けられているので今後も続けてください。 ・通院ににこにこタクシーを利用できてとても助かっています。 <p>【帰りの道立病院以外の乗車場所の増設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道立羽幌病院の帰りでにこにこタクシーに乗車する場所について、ツルハやホクレンショップを増やしてほしい <p>【営業台数の増加】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・にこにこタクシーを呼んでもなかなか来ないとよく耳にする。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハイヤーの運転手の接客力を向上してほしい。
<p>○買物のための公共交通(3 件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・週に2日ほど買物のために公共交通を利用したい ・高齢者にとって買物は大変で、特に日用品はかさばるので乗合バス等を月に2日程度でいいので運行してほしい。 ・不便で買物ができない。
<p>○デマンドバス(2 件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当日や前日に利用予約して自宅から近いところで乗車できる小型車両を運行してほしい。 ・家の近くで乗降できるようになれば利用する可能性は高くなるが、元気で運転できているうちは利用は少ないと思う。
<p>○無料送迎(2 件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・週2回のへき地患者輸送バスには助けられているので今後も続けてください。 ・できればへき地患者輸送バスは週2回から3回に増やしてほしい。
<p>○住民ドライバー(2 件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民ドライバーは都合と雇用条件が合えば参加可能です。 ・70 歳以上となると町民が安心して利用することができないので大変難しい問題です。
<p>○移動手段の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・免許証返納者に対して、電動自転車やバイク等の購入に補助金を出し、近間は個人で移動してもらうので良いと思う。
<p>○コミュニティバス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・100 円の巡回バスがあると便利と思う。
<p>○早朝の交通手段</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特急あさひかわ号で日赤病院に通院したいが、早朝のためバス停までの交通手段がないので交通手段を確保してほしい。

3. アンケート調査票

苫前町の地域公共交通等に関する利用動向調査

■利用動向調査へのご協力をお願い

皆様には、日頃から町政の推進にご理解とご協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

苫前町では、住民皆様へ地域の公共交通等に関するご意見をお聞きし、今後の計画を検討・策定するため、利用動向調査を行うことといたしました。

皆様におかれましては、本調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力をお願い申し上げます。

アンケートへの回答は、**調査用紙に記入後、同封の封筒に入れ郵便ポストへ投函**するか、右のQRコードからオンラインでご回答ください。

なお、**回答期限：9月26日（金）まで**となっております。



◆お問合せ先◆ 苫前町役場 総合政策室総合政策係 Tel 0164-64-2040

■調査票への記入にあたって

■ご回答いただきたい人数

- ・この調査は16歳(高校生)以上の方を対象に、最大3名までの回答をお願いします。
- ・もし、16歳以上のご家族が4名以上いる場合は、路線バス、町内の無料送迎バスをご利用している方、またはご利用を検討されている方、運転免許に不安がある時がある考えの方等から3名の回答者をお決めください。

■設問の回答者の人数

- ・調査票は、「世帯で1つ回答する」質問と、「ご家族一人ひとり3人まで回答する」質問があります。

■オンライン回答する場合

- ・回答は1人ずつ行ってください。(16歳(高校生)以上が対象です)

■調査用紙を使って回答する場合

- ・この調査用紙で回答される場合、鉛筆またはボールペンで該当番号を○で囲む、もしくは回答欄に数字を記入してください。
- ・ご回答にあたって「指定数を超えて選択」されると、貴重なご回答が「無効」となりますのでご注意ください。

問 1 ご自身、ご家族のことについてお答えください。

Q 1. 居住地域をお答えください。 (一つに○)

①興津・昭和・豊浦・栄浜	②港・三豊	③苫前・旭	④長島・香川	⑤上平
⑥小川・岩見・東川	⑦古丹別	⑧力昼	⑨九重・三溪	

Q2. 中学生以下のお子様の「人数」をお答えください。 (人数を記入)

未就学児※()人	小学生()人	中学生()人
-----------	---------	---------

※小学生未満のお子様

以下の質問からお一人ずつお答えください。

Q3. 「年齢」をお答えください。 (一つに○)

一人目の方	二人目の方	三人目の方
①16～18歳* ②19～29歳	①16～18歳* ②19～29歳	①16～18歳* ②19～29歳
③30～49歳 ④50～64歳	③30～49歳 ④50～64歳	③30～49歳 ④50～64歳
⑤65～74歳 ⑥75～84歳	⑤65～74歳 ⑥75～84歳	⑤65～74歳 ⑥75～84歳
⑦85歳以上	⑦85歳以上	⑦85歳以上

「中学生以下の方」は本アンケートの対象外です。

※高校生の方は「①16～18歳」をお答えください。

Q 4. 「性別」をお答えください。 (一つに○)

一人目の方	二人目の方	三人目の方
①男 ②女 ③その他	①男 ②女 ③その他	①男 ②女 ③その他

Q 5. 職業をお答えください。 (一つに○)

一人目の方	二人目の方	三人目の方
①学生	①学生	①学生
②農業・林業・漁業	②農業・林業・漁業	②農業・林業・漁業
③製造業・建設業	③製造業・建設業	③製造業・建設業
④商業・サービス業	④商業・サービス業	④商業・サービス業
⑤公務員・団体職員	⑤公務員・団体職員	⑤公務員・団体職員
⑥パート・アルバイト	⑥パート・アルバイト	⑥パート・アルバイト
⑦専業主婦・主夫	⑦専業主婦・主夫	⑦専業主婦・主夫
⑧その他	⑧その他	⑧その他
⑨働いていない(年金生活など)	⑨働いていない(年金生活など)	⑨働いていない(年金生活など)

Q 6. 自動車運転免許証と普段運転できる車の保有状況をお答えください。 (一つに○)

一人目の方	二人目の方	三人目の方
①免許証と車とも持っている	①免許証と車とも持っている	①免許証と車とも持っている
②免許証は持っているが車は持っていない	②免許証は持っているが車は持っていない	②免許証は持っているが車は持っていない
③免許証は持っていない	③免許証は持っていない	③免許証は持っていない
④免許証は返却した	④免許証は返却した	④免許証は返却した

Q 7. 車を運転される方への質問です(運転されない方はQ 8. にお進みください)。

Q 7-1. 運転が不安な時がありますか。 (一つに○)

一人目の方	二人目の方	三人目の方
①時々不安	①時々不安	①時々不安
②冬や長距離の運転が不安	②冬や長距離の運転が不安	②冬や長距離の運転が不安
③不安はない	③不安はない	③不安はない

Q 7-2. 自宅前まで行く便利な公共交通が運行する場合、利用しますか。 (一つに○)

一人目の方	二人目の方	三人目の方
①公共交通を利用する	①公共交通を利用する	①公共交通を利用する
②運転に不安を感じる時は公共交通を利用する	②運転に不安を感じる時は公共交通を利用する	②運転に不安を感じる時は公共交通を利用する
③今はまだ利用しない	③今はまだ利用しない	③今はまだ利用しない

Q 8. 通信環境等について、以下の質問にお答えください。

Q 8-1. 固定電話、携帯電話(ガラケー)、スマートフォン(スマホ)をお持ちですか。(複数回答可)

一人目の方	二人目の方	三人目の方
① 世帯で固定電話を保有	① 世帯で固定電話を保有	① 世帯で固定電話を保有
② ガラケーを保有	② ガラケーを保有	② ガラケーを保有
③ スマホを保有	③ スマホを保有	③ スマホを保有
④ いずれも保有していない	④ いずれも保有していない	④ いずれも保有していない

Q 8-2. 「Q8-1」で②、③を回答した方にお聞きします。

携帯電話(ガラケー)、スマートフォン等はどのくらい使用しますか。 (複数回答可)

一人目の方	二人目の方	三人目の方
①通話機能を使用	①通話機能を使用	①通話機能を使用
②メールを使用	②メールを使用	②メールを使用
③SNS(Twitter・LINE 等)を使用	③SNS(Twitter・LINE 等)を使用	③SNS(Twitter・LINE 等)を使用

問2. 公共交通などによる日常的な外出についてお答えください。

Q 9. 以下の公共交通手段の利用状況等をお答えください。

(一つに○)

公共交通手段	一人目の方	二人目の方	三人目の方
A) 沿岸バス 特急はぼろ号 (札幌行き)	①知らない ②知っているが利用なし ③年に数回 ④月に数回 ⑤週に数回	①知らない ②知っているが利用なし ③年に数回 ④月に数回 ⑤週に数回	①知らない ②知っているが利用なし ③年に数回 ④月に数回 ⑤週に数回
B) 沿岸バス 特急 あさひかわ号	①知らない ②知っているが利用なし ③年に数回 ④月に数回 ⑤週に数回	①知らない ②知っているが利用なし ③年に数回 ④月に数回 ⑤週に数回	①知らない ②知っているが利用なし ③年に数回 ④月に数回 ⑤週に数回
C) 沿岸バス 幌延留萌線 羽幌留萌線 初山別留萌線	①知らない ②知っているが利用なし ③年に数回 ④月に数回 ⑤週に数回	①知らない ②知っているが利用なし ③年に数回 ④月に数回 ⑤週に数回	①知らない ②知っているが利用なし ③年に数回 ④月に数回 ⑤週に数回
D) 沿岸バス 上平古丹別線	①知らない ②知っているが利用なし ③年に数回 ④月に数回 ⑤週に数回	①知らない ②知っているが利用なし ③年に数回 ④月に数回 ⑤週に数回	①知らない ②知っているが利用なし ③年に数回 ④月に数回 ⑤週に数回
E) 無料送迎 へき地患者 輸送バス	①知らない ②知っているが利用なし ③年に数回 ④月に数回 ⑤週に数回	①知らない ②知っているが利用なし ③年に数回 ④月に数回 ⑤週に数回	①知らない ②知っているが利用なし ③年に数回 ④月に数回 ⑤週に数回
F) 無料送迎 とままえ温泉 ふわっと送迎 バス	①知らない ②知っているが利用なし ③年に数回 ④月に数回 ⑤週に数回	①知らない ②知っているが利用なし ③年に数回 ④月に数回 ⑤週に数回	①知らない ②知っているが利用なし ③年に数回 ④月に数回 ⑤週に数回
G) 大衆ハイヤー にこにこ タクシー	①知らない ②知っているが利用なし ③年に数回 ④月に数回 ⑤週に数回	①知らない ②知っているが利用なし ③年に数回 ④月に数回 ⑤週に数回	①知らない ②知っているが利用なし ③年に数回 ④月に数回 ⑤週に数回

Q10. 「先週1週間」、あるいは「これから1週間」の外出状況について、お答えください。

※外出していない日は、何も書かないでください

Q10-1. 「外出目的」について該当する外出目的の番号を選んで回答欄に記入してください。

(複数回答可。複数回答する場合は、主な目的を先に記入してください。)

「③通院」の帰りに「④買物」した

	月	火	水	木	金	土	日
回答例	③④	④			④⑦		⑥
回答欄	一人目の方						
	二人目の方						
	三人目の方						

番号を選んで記載

●選択肢(選択肢から番号を選んで回答欄に記入してください。)

- ①通勤 ②通学 ③通院 ④買物
 ⑤観光・レクリエーション(スポーツ・散歩等) ⑥温泉
 ⑦その他の私用(趣味、友人宅等)

Q10-2. 「行き先」について該当する外出先の番号を選んで回答欄に記入してください。

(複数回答可。複数回答する場合は、行った順に記入してください。)

「⑫羽幌町」の次に「③苫前・旭」に寄った

	月	火	水	木	金	土	日
回答例	⑫③	③			③		⑪
回答欄	一人目の方						
	二人目の方						
	三人目の方						

番号を選んで記載

【町内】

- ①興津・昭和・豊浦・栄浜 ②港・三豊 ③苫前・旭 ④長島・香川 ⑤上平
 ⑥小川・岩見・東川 ⑦古丹別 ⑧力昼 ⑨九重・三溪

【町外】

- ⑩留萌市 ⑫羽幌町 ⑬小平町 ⑭初山別村 ⑮遠別町 ⑯天塩町 ⑰増毛町
 ⑱旭川市 ⑲稚内市 ⑳札幌市

その他(上記選択肢に該当しない場合は、回答欄に直接市町村名をお書きください)

Q10-3. 「交通手段」について次の質問にお答えください。

Q10-3-1. 「行き」(最初に行った行先へ)は、どの交通手段を利用しましたか。

利用した順に交通手段の番号を回答欄に記入してください。

「⑦ハイヤー」と「①はぼろ号」を使って目的地に行った。

	月	火	水	木	金	土	日
回答例	⑦①	⑫			⑫		⑫
回答欄	一人目の方						
	二人目の方						
	三人目の方						

番号を選んで記載

●選択肢(選択肢から番号を選んで回答欄に記入してください。)

【公共交通・無料送迎】

- ①沿岸バス特急はぼろ号 ②沿岸バス特急あさひかわ号
 ③沿岸バス幌延留萌線・羽幌留萌線・初山別留萌線 ④沿岸バス上平古丹別線
 ⑤へき地患者輸送バス ⑥とままえ温泉ふわっと送迎 ⑦ハイヤー

【公共交通以外】

- ⑪自家用車(自分で運転) ⑫自家用車(家族などによる送迎)
 ⑬徒歩・自転車 ⑭その他

Q10-3-2. 「帰り」(最後に行った行先からご自宅へ)は、どの交通手段を利用

しましたか。利用した順に交通手段の番号を回答欄に記入してください。

「①はぼろ号」と「④上平古丹別線」を使って自宅に帰った。

	月	火	水	木	金	土	日
回答例	①④	⑫			⑫		⑫
回答欄	一人目の方						
	二人目の方						
	三人目の方						

番号を選んで記載

●選択肢(選択肢から番号を選んで回答欄に記入してください。)

【公共交通・無料送迎】

- ①沿岸バス特急はぼろ号 ②沿岸バス特急あさひかわ号
 ③沿岸バス幌延留萌線・羽幌留萌線・初山別留萌線 ④沿岸バス上平古丹別線
 ⑤へき地患者輸送バス ⑥とままえ温泉ふわっと送迎 ⑦ハイヤー

【公共交通以外】

- ⑪自家用車(自分で運転) ⑫自家用車(家族などによる送迎)
 ⑬徒歩・自転車 ⑭その他

Q10-4. 町内の公共施設や医療機関、商業施設等に行かれた方は、該当する番号を回答欄に記入してください。 選択肢に施設名称が無い場合は、何も書かないでください。

「②苫前厚生クリニック」の後、「④Aマート」に行った

	月	火	水	木	金	土	日
記入例	②③	④			①③		②
回答欄	一人目の方						
	二人目の方						
	三人目の方						

番号を選んで記載

●選択肢(選択肢から番号を選んで回答欄に記入してください。)

【医療施設】	①苫前クリニック	②苫前厚生クリニック	③苫前町立歯科診療所	④古丹別歯科診療所
【公共施設】	①苫前町役場	②とままえ温泉ふわっと	③B&G海洋センター	
	④苫前地区コミュニティセンター	⑤公民館	⑥認定苫前こども園	
	⑦苫前放課後こどもセンター	⑧認定古丹別こども園	⑨苫前商業高等学校	
	⑩スポーツセンター	⑪苫前パークゴルフ場	⑫古丹別リバーサイドパークゴルフ場	
【郵便局・金融機関】	⑬苫前郵便局	⑭留萌信用金庫苫前支店	⑮JAるもい苫前支店	
【商業施設】	⑯セイコーマートむらい苫前店	⑰セイコーマート古丹別店	⑱Aマートこたんべつ店	

問3. 今後の公共交通への要望等についてお答えください。

Q11. 自家用車に頼らない生活を送る時、公共交通はどうあって欲しいですか。選択肢から番号を選んで回答欄にお書きください。(一つ選んで番号を記入)

	一人目の方	二人目の方	三人目の方
回答欄			

番号を選んで記載

●選択肢(選択肢から番号を選んで回答欄に記入してください。)

- ① 現在の路線バスと同様に時刻表により停留所間を運行する公共交通
(運賃は路線バス程度:例えば 200 円)
- ② 利用は日中の時間帯に限られるが、路線バスよりは細かく配置された停留所間を乗車予約のたびに運行する公共交通
(運賃は路線バスとタクシーの中間より安い:例えば 300 円)
- ③ 利用は日中の時間帯に限られるが、自宅前と主要な商業施設、医療施設及び公共施設の間を乗車予約のたびに直接運行する公共交通
(運賃は路線バスとタクシーの中間:例えば 500 円)
- ④ 車を呼ぶと自分の好きな時間帯に自由に行きたいところに行ける公共交通
(運賃はタクシー程度)

注) 運賃はイメージであり、この金額に決定しているわけではありません。

Q12. 町内で新たな公共交通を運行する場合の質問です。

Q12-1. 新たな公共交通を運行する場合、各項目に対して希望する(計4つ)サービスをお答えください。(ご家族等で相談してお答えください)

【項目1:乗り降りする場所】

要望されるサービスをお答えください。 (一つに〇)

サービス	①	②	③	④	⑤
乗り降りする場所	路線バスの停留所 (300m以内)	密に配置した停留所 (150m以内)	自宅と病院・スーパーなどの公共・公益施設の前	乗りたい所から降りたい所まで	どれでもかまわない
運賃イメージ	200 円前後	300 円前後	500 円前後	ハイヤー運賃	—

注) 運賃はイメージであり、この金額に決定しているわけではありません。

【項目2:車両の大きさ・他の人との乗車】

要望されるサービスをお答えください。 (一つに〇)

サービス	①	②	③	④
車両の大きさ・他の人との乗車	小型のバス等 (15 人以下で乗り合い)	ハイヤーを他人と乗り合う(5 人以下)	ハイヤー (1 人や家族で乗車)	どれでもかまわない
運賃イメージ	500 円前後	500 円前後	ハイヤー運賃	—

注) 運賃はイメージであり、この金額に決定しているわけではありません。

【項目3:乗車(利用)方法】

要望されるサービスをお答えください。 (一つに〇)

サービス	①	②	③	④
乗車 (利用方法)	予約なし (停留所で乗車・降車)	電話での予約 自宅や目的地の前で乗車・降車	スマホアプリでの予約	どれでもかまわない

【項目4:支払方法】

要望されるサービスをお答えください。 (複数回答可)

サービス	①	②	③	④
支払方法	現金	回数券	定期券(乗り放題)	スマホ決済

Q12-2. Q12-1.で選択したサービスが実現した場合の利用時期をお答えください。

(一つに〇)

一人目の方	二人目の方	三人目の方
①すぐにでも利用したい	①すぐにでも利用したい	①すぐにでも利用したい
②5年以内には利用する	②5年以内には利用する	②5年以内には利用する
③10年以内には利用する	③10年以内には利用する	③10年以内には利用する
④利用しない	④利用しない	④利用しない

Q12-3. Q12-1.でお答えした公共交通が運行した場合の利用頻度をお答えください。
(一つに○)

一人目の方	二人目の方	三人目の方
① 週に数回 ②月に数回 ③ 年に数回 ④利用しない	① 週に数回 ②月に数回 ③ 年に数回 ④利用しない	① 週に数回 ② 月に数回 ③ 年に数回 ④ 利用しない

Q12-4. 中学生以下のお子様がいいらっしゃる世帯の方へ、Q12-1.でお答えした公共交通が運行した場合の質問です。(中学生以下のお子様がない方はQ13へ)

Q12-4-1. 中学生以下のお子様を利用させたいと思いますか。(一つに○)

①利用させたいと思う ②利用させたいとは思わない(Q13へお進みください)

Q12-4-2. 「Q12-4-1」で「①利用させたいと思う」を回答された方への質問です。
中学生以下のお子様を利用する場合の「目的」をお答えください。(複数回答可)

①通園・通学の登校 ②通園・通学の下校(部活を除く) ③部活 ④習い事
⑤その他()

Q12-4-3. 「Q12-4-1」で「①利用させたいと思う」を回答された方への質問です。
想定される利用頻度をお答えください。(一つに○、日数を記入)

①週に()日程度 ②月に()日程度 ③年に()日程度

Q13. 町民自らが支える公共交通についてお答えください。
自家用車をお持ちの方で、普段運転されている方に質問です。(該当しない方はQ14へ)
仮に地域の方を送迎する運転業務がある場合、あなたはドライバーとして参加・協力したいと思いますか。該当するものをお答えください。(一つに○)

一人目の方	二人目の方	三人目の方
① 参加・協力は難しい ② ボランティアとして参加可能 ③ 賃金 [*] をもらえるのであれば参加可能	① 参加・協力は難しい ② ボランティアとして参加可能 ③ 賃金 [*] をもらえるのであれば参加可能	① 参加・協力は難しい ② ボランティアとして参加可能 ③ 賃金 [*] をもらえるのであれば参加可能

※例えば1,000円/時、8,000円/日(8時間就業)など

Q14. その他、公共交通についてご意見等がありましたら、お書きください。